高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査結果報告書】

令和５年 10 月

洞爺湖町

目次

1 調査の概要 1
（1）調査目的 1
（2）調査対象及び調査方法 1
（3）配布数及び回収結果 1
（4）数値の基本的な取扱いについて 2
2 調査結果 3
■調査票を記入された方 3
■ご本人の性別 3
■ご本人の年齢 3
■要支援・事業対象者に該当するか 4
（1）家族や生活状況について 5
1-1．家族構成 5
1-2．介護・介助の必要 5
1-2．①介護・介助が必要になった主な原因 6
1-2．②介護・介助を受けている相手 6
1-3．経済的な状況 7
1-4．住宅の状況 8
（2）からだを動かすことについて 9
2-1．階段を手すり等をつたわらずに昇れるか 9
2-2．椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか 10
2-3．15 分位続けて歩いているか 11
2-4．過去 1 年間に転んだ経験があるか 12
2-5．転倒に対する不安は大きいか 13
2-6．週に 1 回以上は外出しているか 14
2-7．外出の減少 15
2-8．外出を控えているか 16
2-8．①外出を控えている理由 17
2-9．外出する際の移動手段 18
（3）食べることについて 19
3-1．身長・体重 19
3-2．固いものが食べにくくなったか 20
3-3．お茶等でむせることがあるか 21
3-4．口の渇きが気になるか 22
3-5．歯磨きを毎日するか 23
3-6．歯の数と入れ歯の利用状況 24
3-6．①噛み合わせは良いか 25
3-7．体重減少があったか 27
3-8．共食の機会 28
（4）毎日の生活について 29
4-1．物忘れが多いと感じるか 29
4-2．自分で電話をかけられるか 30
4-3．今日が何月何日かわからない時があるか 31
4-4．バスや電車を使って 1 人で外出しているか 32
4-5．自分で買物をしているか 33
4-6．自分で食事の用意をしているか 34
4-7．自分で請求書の支払いをしているか 35
4-8．自分で預貯金の出し入れをしているか 36
4-9．年金などの書類が書けるか 37

4-10. 新聞を読んでいるか 38
4-11. 本や雑誌を読んでいるか 39
4-12. 健康についての記事や番組に関心があるか 40
4-13. 友人の家を訪ねているか 41
4-14. 家族や友人の相談にのっているか 42
4-15. 病人を見舞うことができるか 43
4-16. 若い人に自分から話しかけることがあるか 44
4-17. 趣味はあるか 45
4-17. ①趣味の内容（一部抜粋） 45
4-18. 生きがいはあるか 46
4-18. ①生きがいの内容（一部抜粋） 46
（5）地域での活動について 47
5-1. ボランティア活動やサークル、町会・自治会などへの参加 47
5-2. 健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者としての参加意思 55
5-3. 健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営としての参加意思 56
（6）たすけあいについて 57
6. あなたとまわりの人の「たすけあい」について 57
（7）健康について 65
7-1. 健康状態 65
7-2. 幸福度 66
7-3. 気分が沈んだりすることがあったか 67
7-4. 興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか 68
7-5. 飲酒 69
7-6. 喫煙 70
7-7. 治療中、または後遺症のある病気 71
（8）認知症にかかる相談窓口の把握について 72
8-1. 自身や家族に認知症の症状があるか 72
8-2. 認知症に関する相談窓口を知っているか 73
（9）健康福祉センターからの追加調査について 74
9-1. いつまでも元気ではつらつと暮らすために興味のあること 74
9-2. 運動する習慣はあるか 75
9-2. ①運動する習慣（一部抜粋） 75
9-3. 食事を1日3回食べる習慣があるか 76
9-4. 間食はするか 77
9-4. ①間食の内容（一部抜粋） 77
（10）介護保険制度に関して、意見・要望 78
10. 介護保険制度に関して、意見・要望（一部抜粋） 78
3 調査のまとめ 82

Ⅰ 調査の概要

（１）調査目的

洞爺湖町では、町民の皆様が介護保険制度などについて、どのような感想等をお持ちかをお伺いして、令和６年度から始まる第９期洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたしました。

（２）調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	65 歳以上の一般高齢者及び要支援１・２の高齢者
配布数	１種　1,200 票
調査方法	郵送法
抽出方法	無作為抽出
調査時期	令和５年１月～３月

（３）配布数及び回収結果

配布数	1,200
有効回収数	729
有効回収率	60.8%

（４）数値の基本的な取扱いについて

・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下２位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が 100%を上下する場合もあります。

・基数となるべき実数は、“ｎ＝〇〇〇”として掲載し、各比率はｎを 100%として算出しています。

・質問の終わりに【複数回答】とある問は、１人の回答者が２つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。

・文中、グラフ中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化する場合があります。

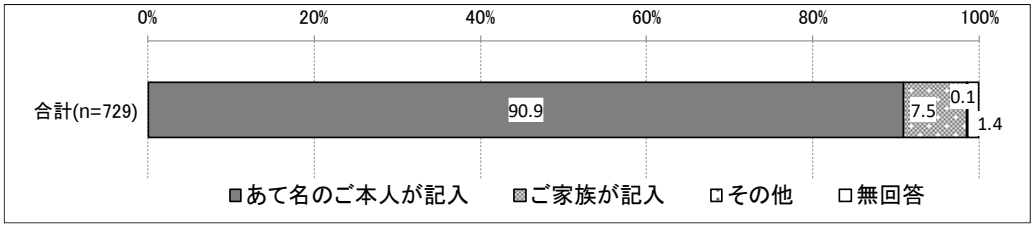
・今回の回答で、「95～99 歳」（５人）及び「100 歳以上」（２人）の実数が少なかったため、クロス集計には表していますが、参考程度としての取り扱いとしています。

2 調査結果

■調査票を記入された方

■この調査票を記入されたのはどなたですか。（○は１つ）

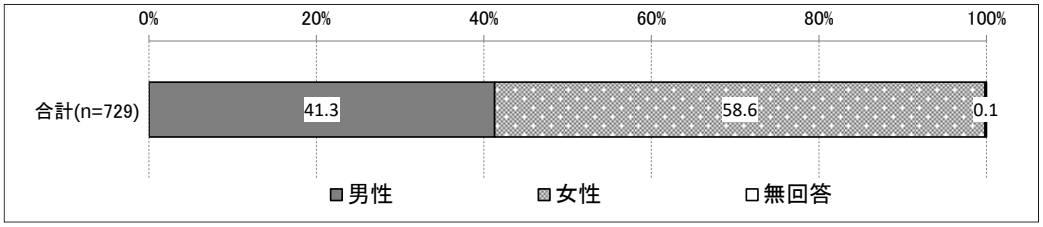
「あて名のご本人が記入」が 90.9%と最も高くなっています。



■ご本人の性別

■ご本人の性別に○をつけてください。（○は１つ）

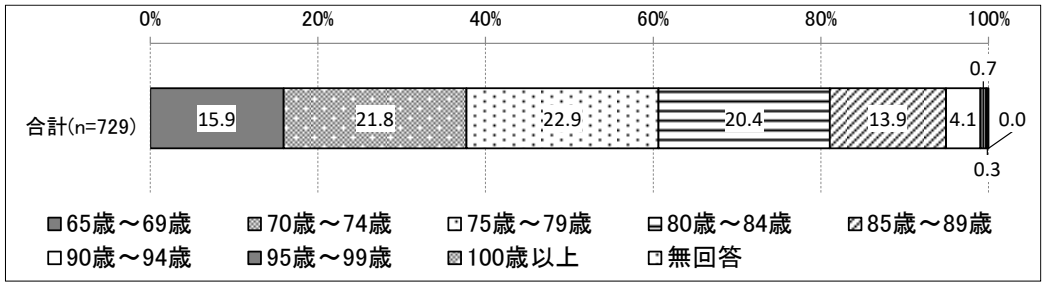
「女性」が 58.6%、「男性」が 41.3%となっています。



■ご本人の年齢

■ご本人の年齢に○をつけてください。（○は１つ）

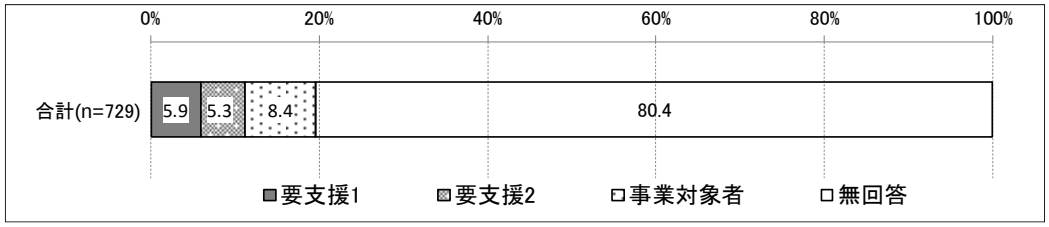
「75～79 歳」が 22.9%と最も高く、次いで「70～74 歳」が 21.8%、「80～84 歳」が 20.4%となっています。



■要支援・事業対象者に該当するか

■ご本人がいずれかに該当する場合○をつけてください。（○は１つ）

「事業対象者」が8.4%と最も高く、次いで「要支援１」が5.9%となっています。

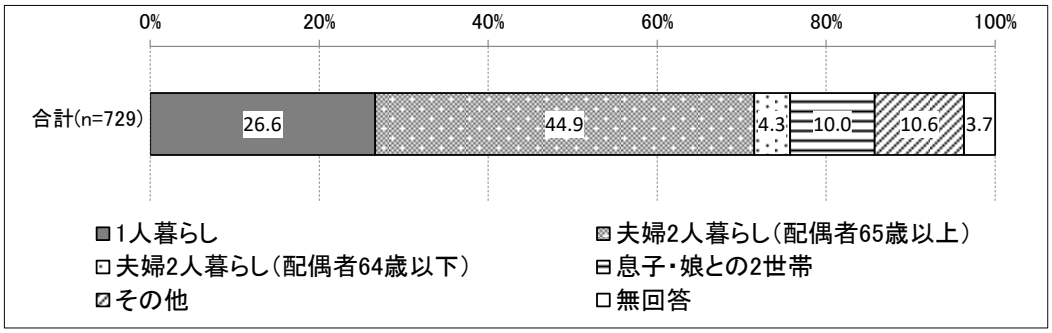


（１）家族や生活状況について

１－１．家族構成

問１：家族構成をお教えください。（○は１つ）

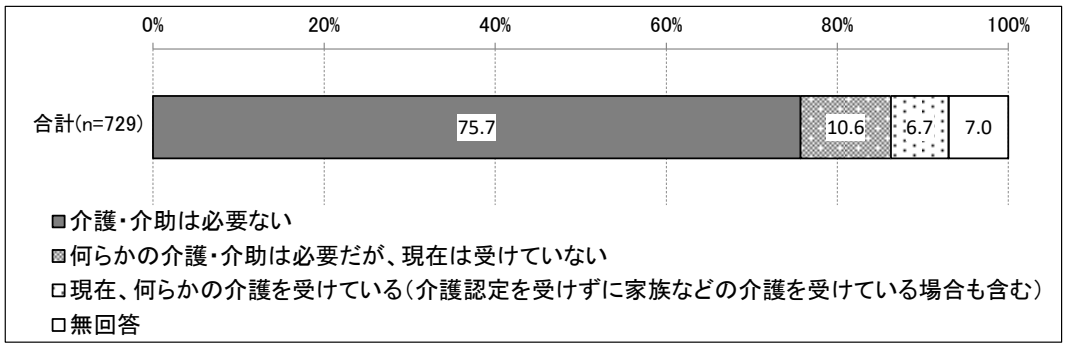
「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 44.9%と最も高く、次いで「1 人暮らし」が 26.6%となっています。



１－２．介護・介助の必要

問１-2：あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は１つ）

「介護・介助は必要ない」が 75.7%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 10.6%となっています。

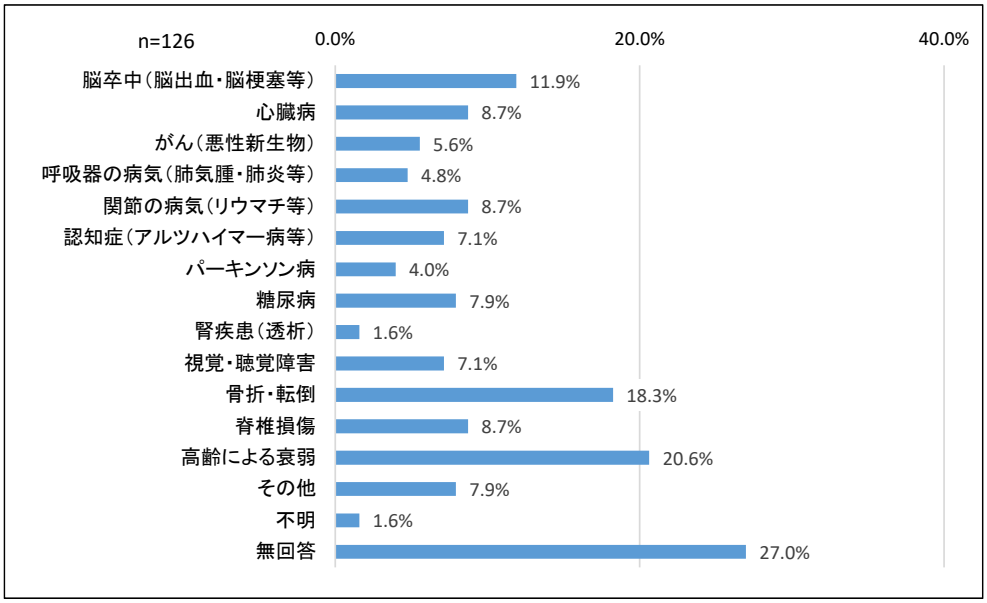


Ⅰ－２．①介護・介助が必要になった主な原因

☆以下の問Ⅰ－２．①は、問Ⅰ－２において「介護・介助は必要ない」以外と回答をされた方にお伺いします。

問Ⅰ－２①：介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

「高齢による衰弱」が 20.6%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が 18.3%となっています。

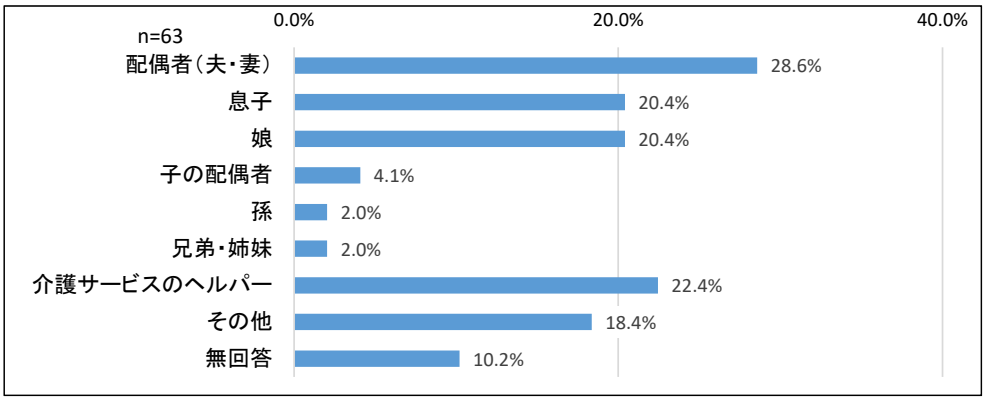


Ⅰ－２．②介護・介助を受けている相手

☆以下の問Ⅰ－２．②は、問Ⅰ－２において「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方にお伺いします。

問Ⅰ－２②：主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○はいくつでも）

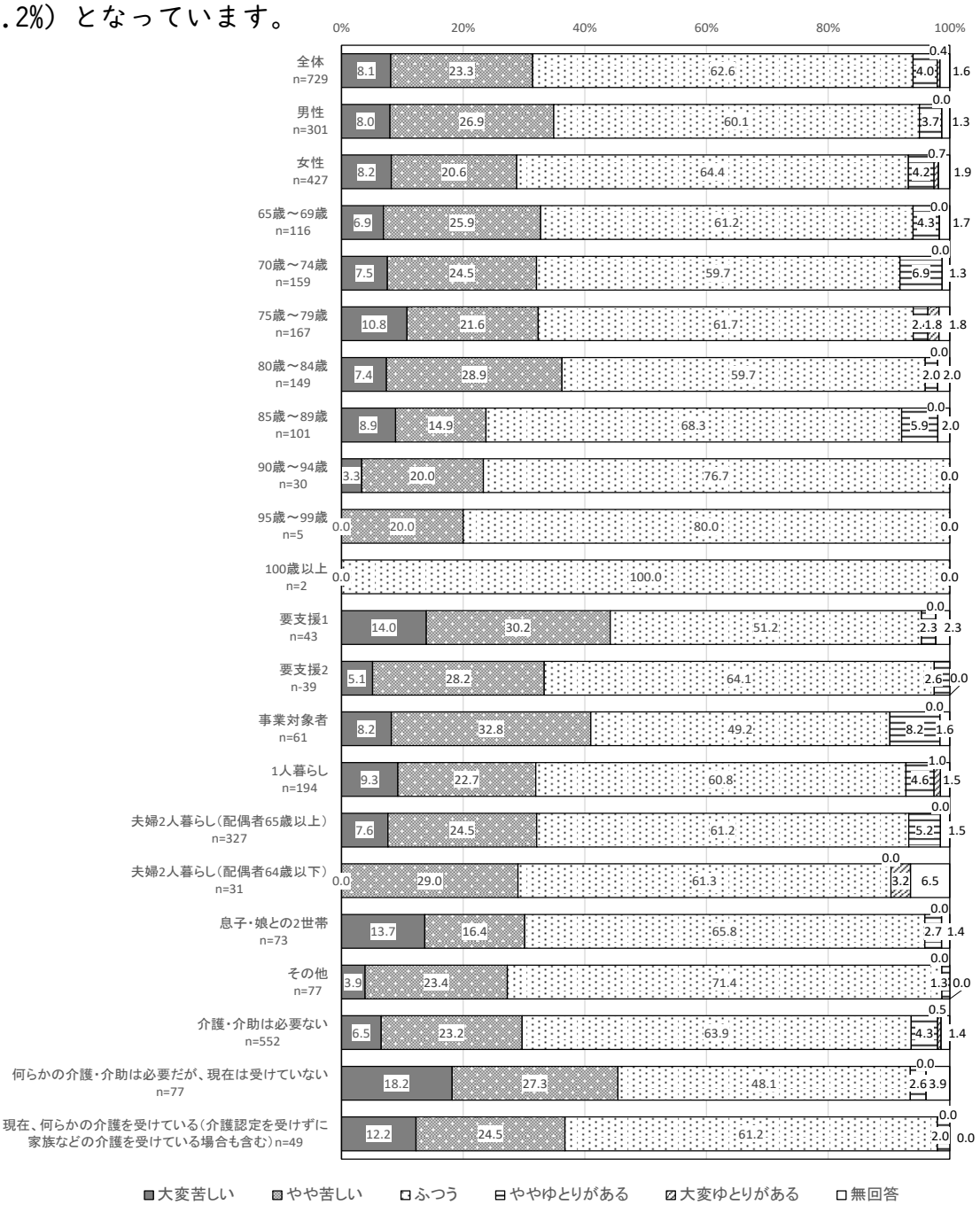
「配偶者（夫・妻）」が 28.6%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 22.4%となっています。



Ⅰ－３．経済的な状況

問Ⅰ－３：現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○はⅠつ）

全体では「ふつう」が 62.6%と最も高くなっています。
「大変苦しい」と答えた割合が最も高いのは、年齢別では「75～79 歳」（10.8%）で、次いで「85～89 歳」（8.9%）、家族構成別では「息子・娘との２世帯」（13.7%）で、次いで「1 人暮らし」(9.3%)、介護・介助の必要度では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（18.2%）、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（12.2%）となっています。

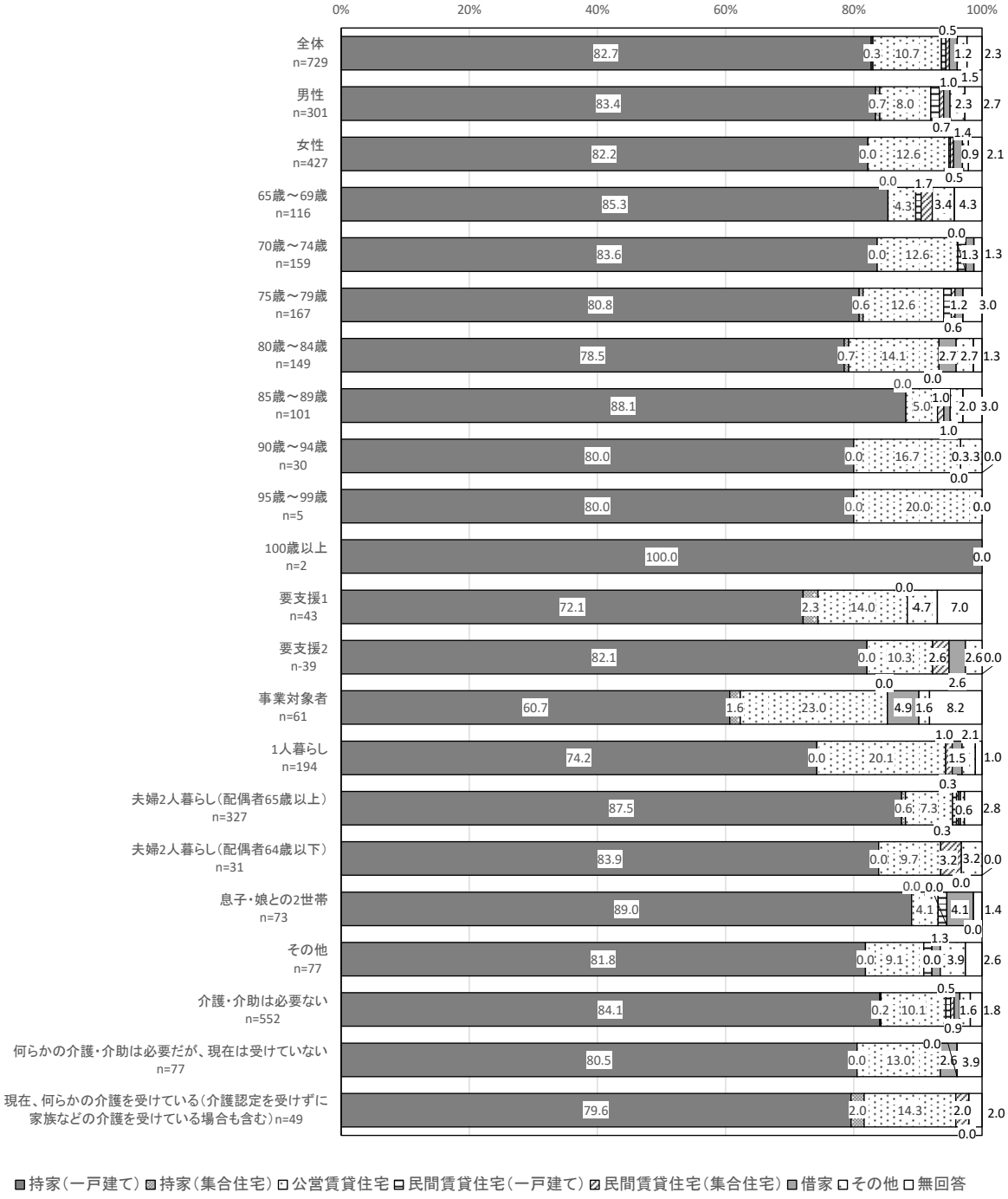


Ⅰ－４．住宅の状況

問４：お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は１つ）

全体では、「持家（一戸建て）」が 82.7%と最も高くなっています。

年齢別では、85～89 歳をピークに持ち家率が下がっています。



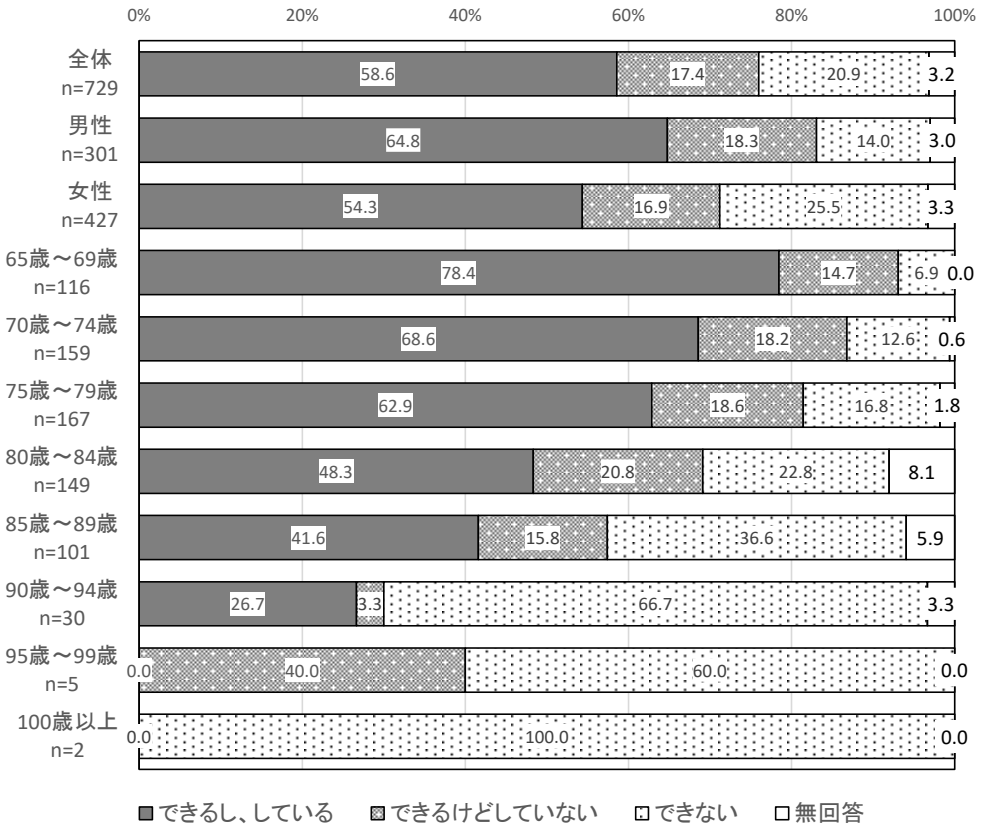
（２）からだを動かすことについて

２－１．階段を手すり等をつたわらずに昇れるか

問２－１：階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は１つ）

全体では、「できる、している」が 58.6%と最も高くなっています。

年齢別では 65～69 歳が 78.4%と最も高く、年齢が高くなるにつれ低くなっています。「できない」と回答したのは、性別では女性の方が 25.5%と高くなっています。

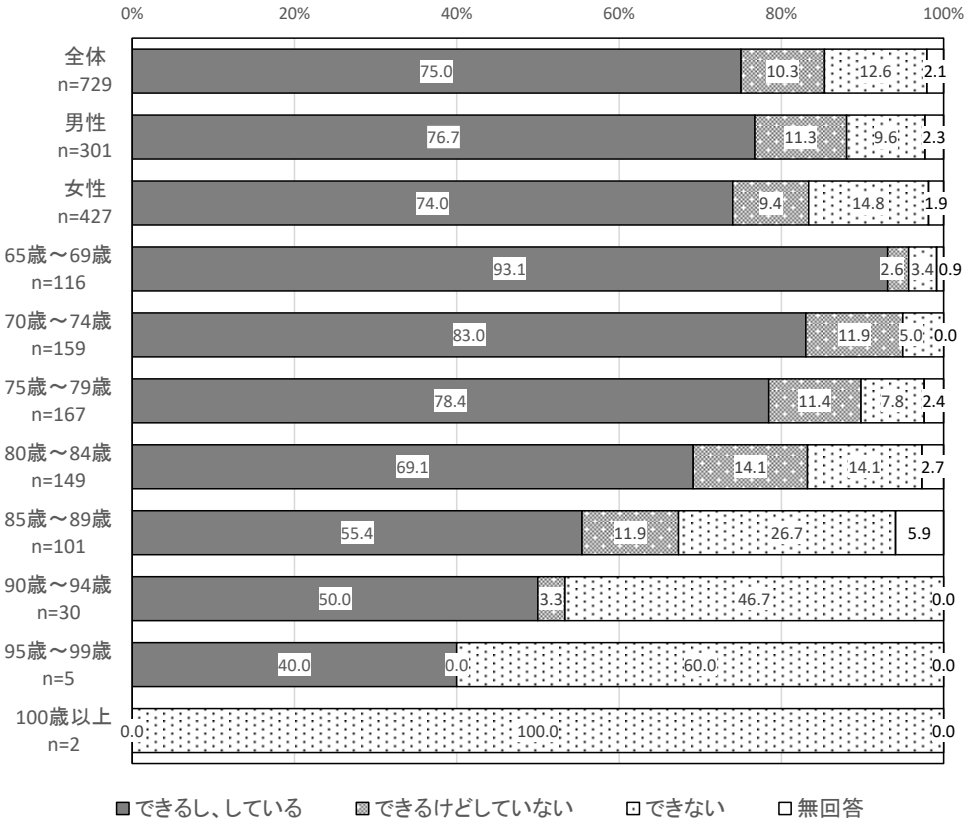


2-2．椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

問 2-2：椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は 1 つ）

全体では、「できるし、している」が 75.0%と最も高くなっています。

年齢別では、65～69 歳が最も高く 93.1%、次いで 70～74 歳が 83.0%となり、年齢が上がるにつれ低くなっています。「できない」の割合は、性別では女性の方が 14.8%と高くなっています。

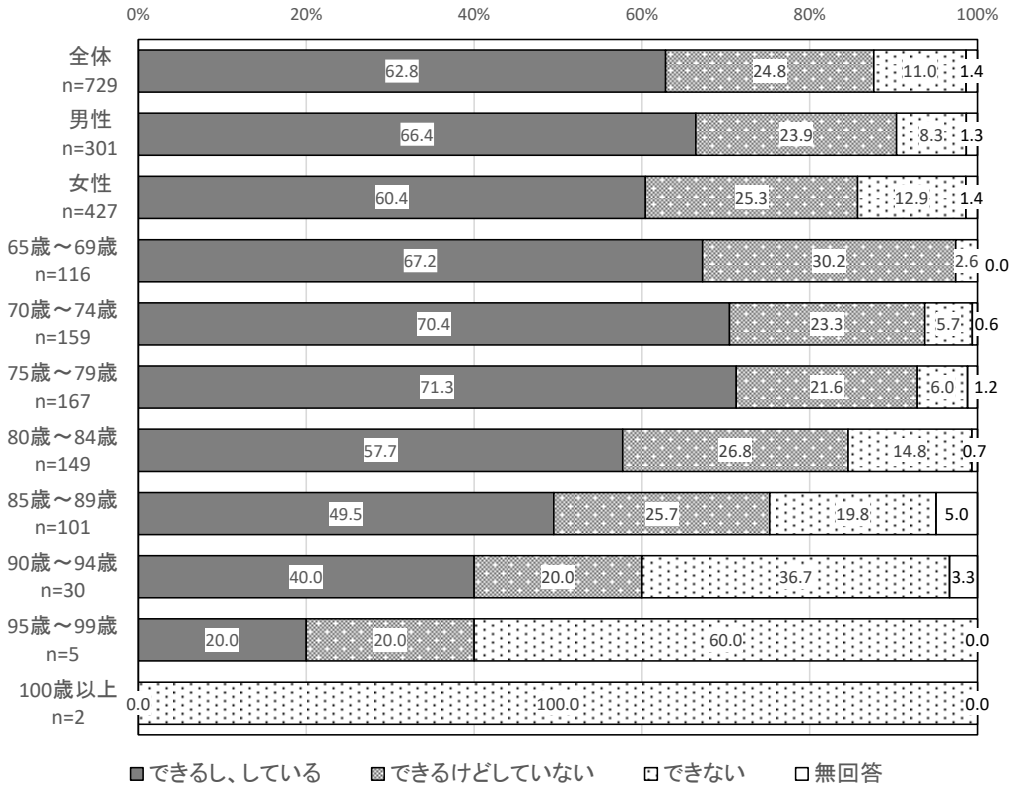


2-3．15分位続けて歩いているか

問2-3：15分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が62.8%と最も高くなっています。

年齢別では、75～79歳が「できるし、している」の割合が71.3%と高くなっています。性別では女性の方が「できない」の割合が12.9%と高く、男性は8.3%となっています。

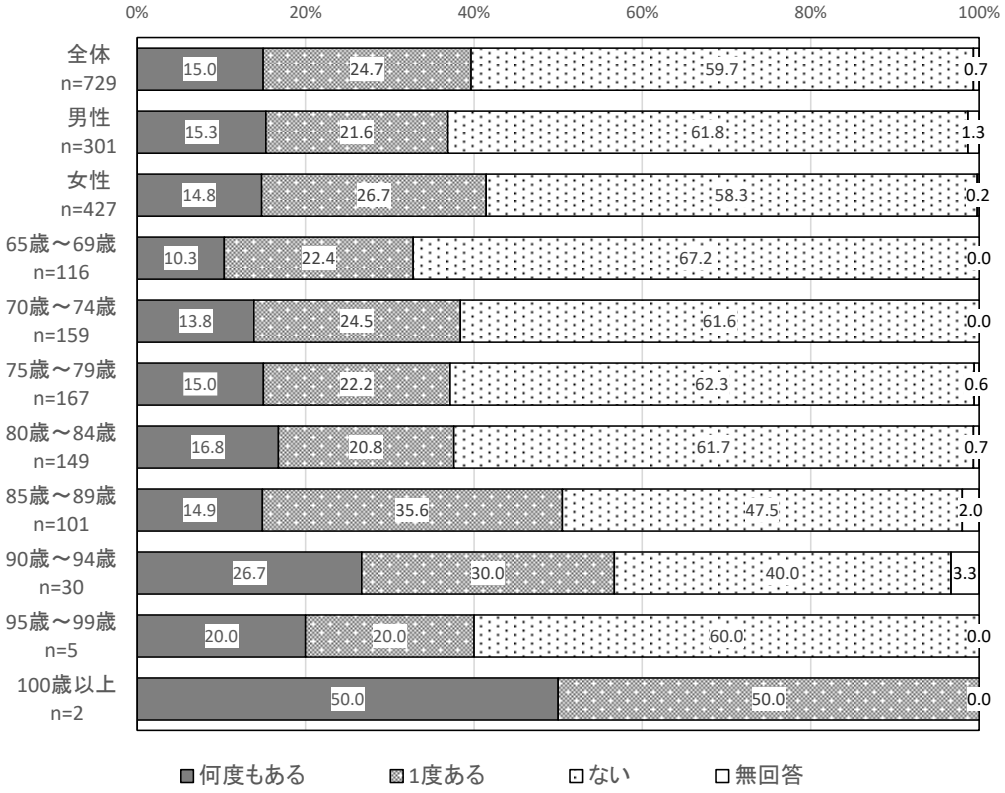


２－４．過去１年間に転んだ経験があるか

問２－４：過去１年間に転んだ経験がありますか。（○は１つ）

全体では、「ない」が 59.7%と最も高くなっています。

「何度もある」の割合が、年齢別では 90～94 歳で 26.7%と最も高く、次いで 95～99 歳も 20.0%と高くなっています。性別では女性の方が「１度ある」が 26.7%となり、転んだ経験は男性より高い傾向にあります。

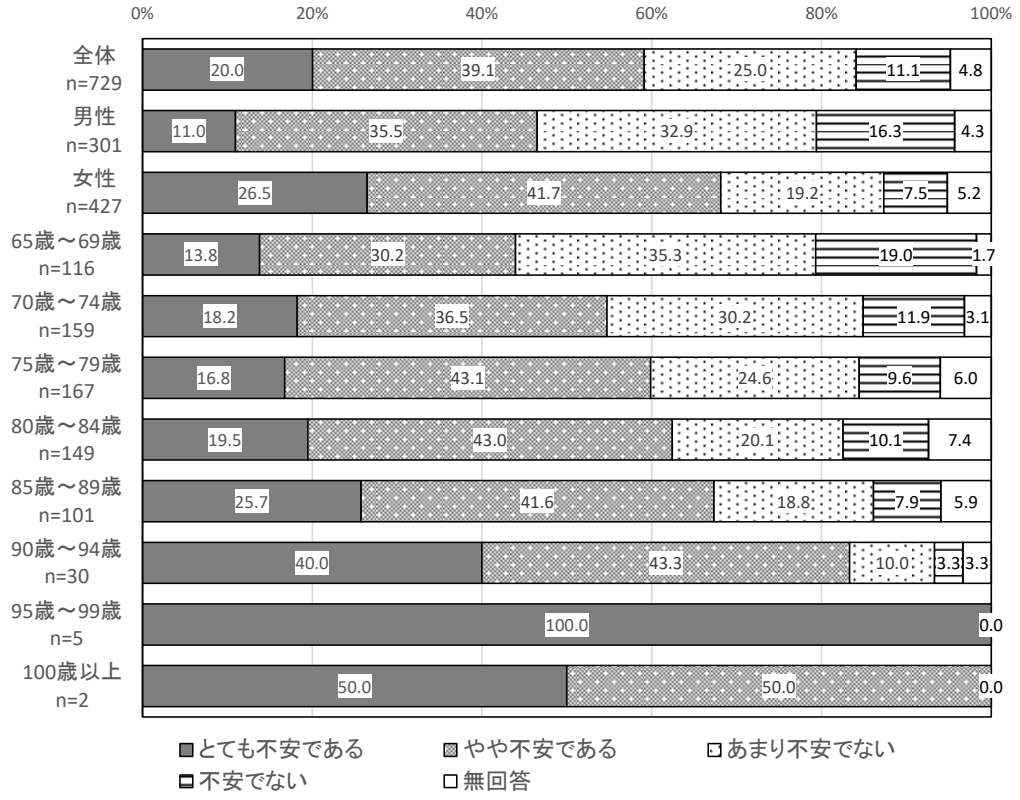


２-５．転倒に対する不安は大きいか

問２-５：転倒に対する不安は大きいですか。（○は１つ）

全体では、「やや不安である」が 39.1%と最も高くなっています。

「とても不安である」割合が、性別では女性の方が 26.5%と高く、男性は 11.0%にとどまっています。「とても不安である」の年齢別では 90～94 歳が 40.0%と最も高く、次いで 85～89 歳（25.7%）となっています。

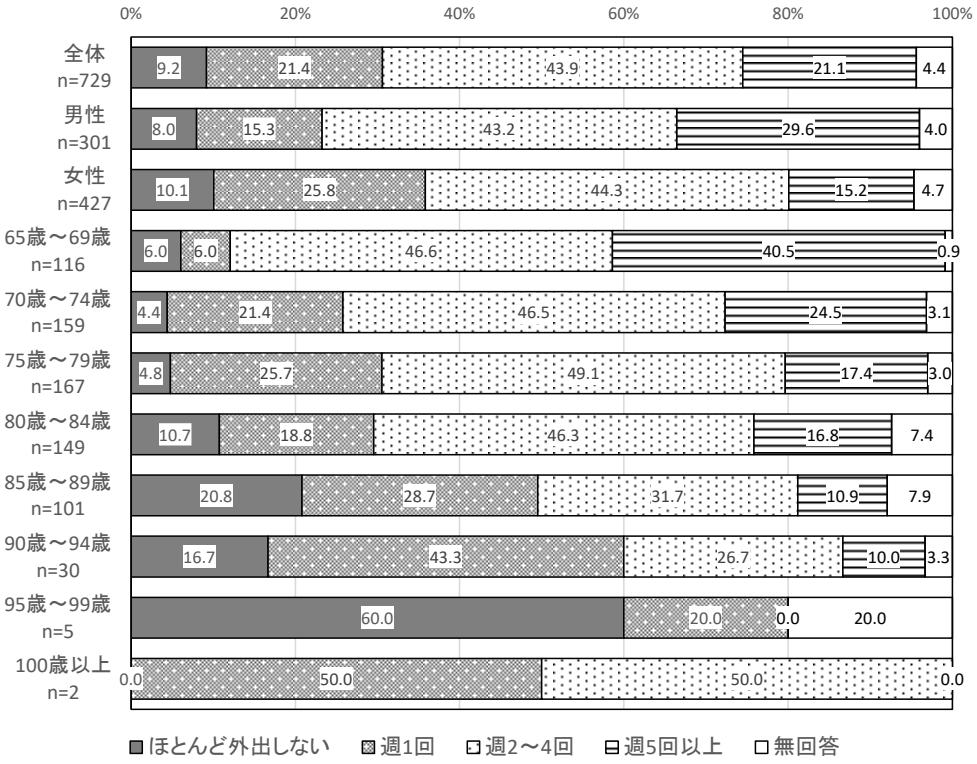


2-6．週に１回以上は外出しているか

問 2-6：週に１回以上は外出していますか。（○は１つ）

全体では、「週２～４回」が 43.9%と最も高くなっています。

「週５回以上」の割合が、男性 29.6%、女性 15.2%と大きな差が生まれています。年齢別では 95～99 歳の 60.0%が「ほとんど外出しない」と高くなっています。

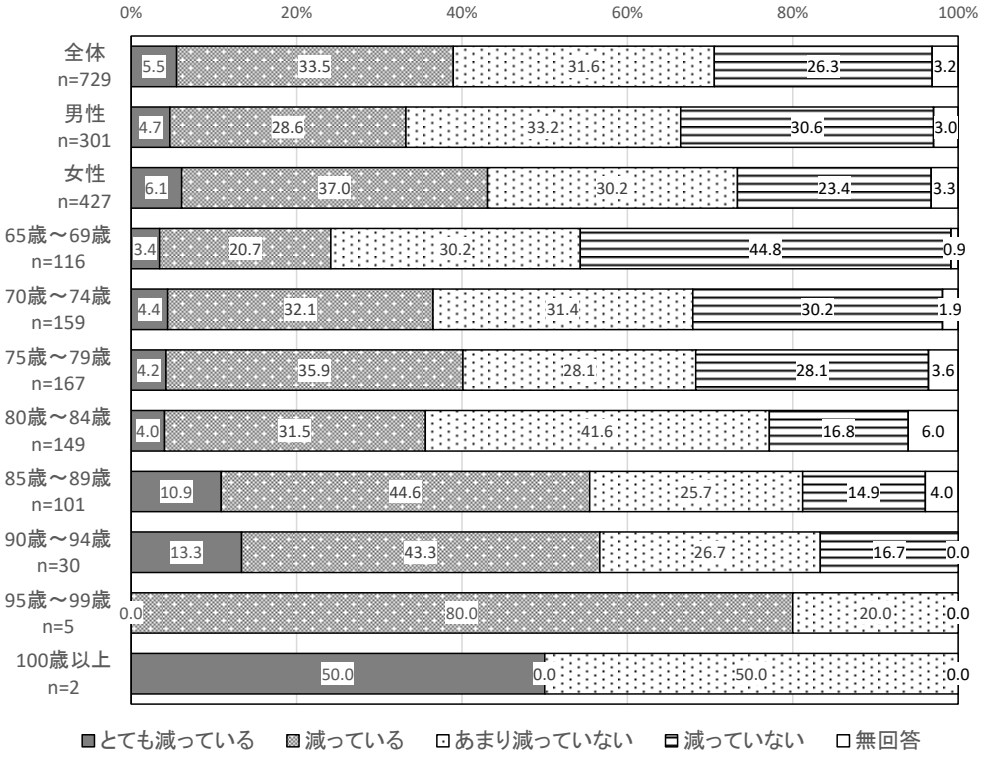


2-7．外出の減少

問 2-7：昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は 1 つ）

全体では、「減っている」が 33.5%と最も高くなっています。

「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合は、性別では女性が 43.1%と男性（33.3%）よりも高くなっています。年齢別では 90～94 歳（56.6%）が最も高く、次いで 85～89 歳（55.5%）となっています。

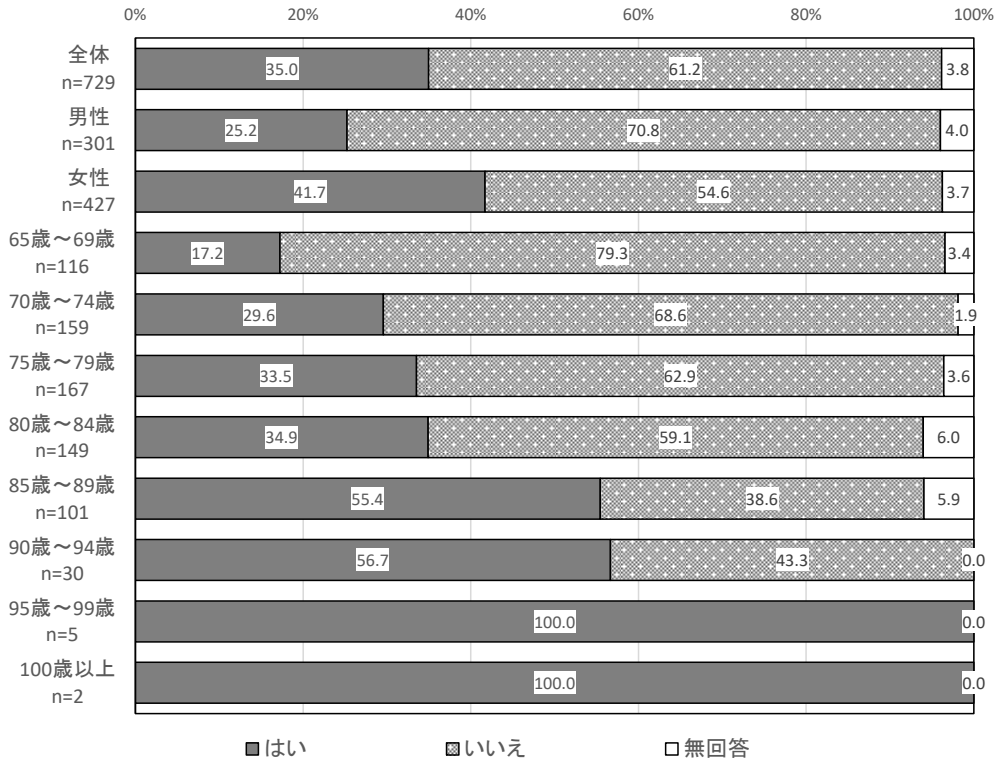


2-8．外出を控えているか

問２-８：外出を控えていますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 61.2%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 41.7%と高く、年齢別では 90～94 歳が 56.7%と最も高くなっています。



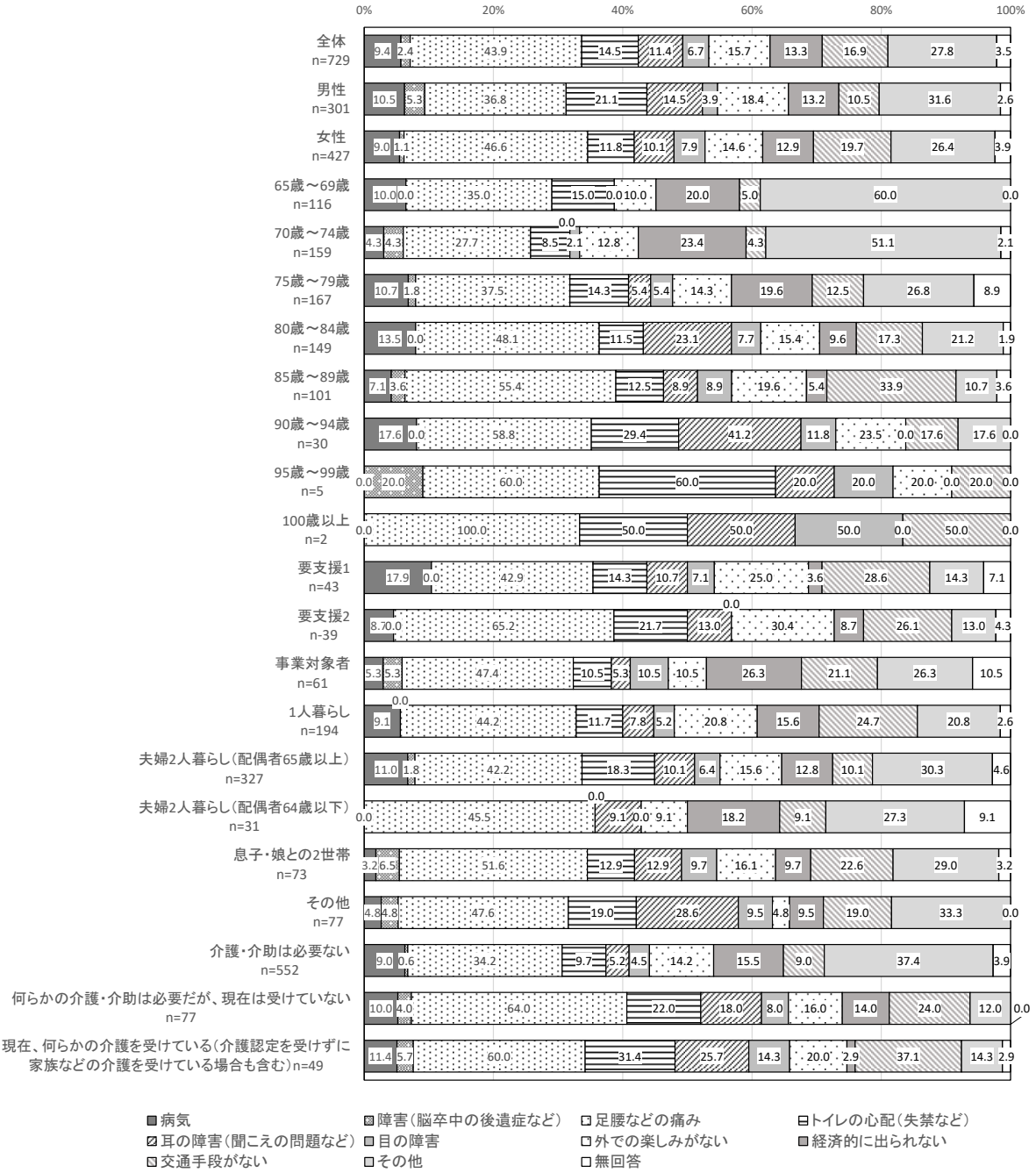
2-8．①外出を控えている理由

☆以下の問 2-8.①は、問2-8において「はい」と回答された方にお伺いします。

問２-８．①：外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

全体では、「足腰などの痛み」が 43.9%と最も高くなっています。

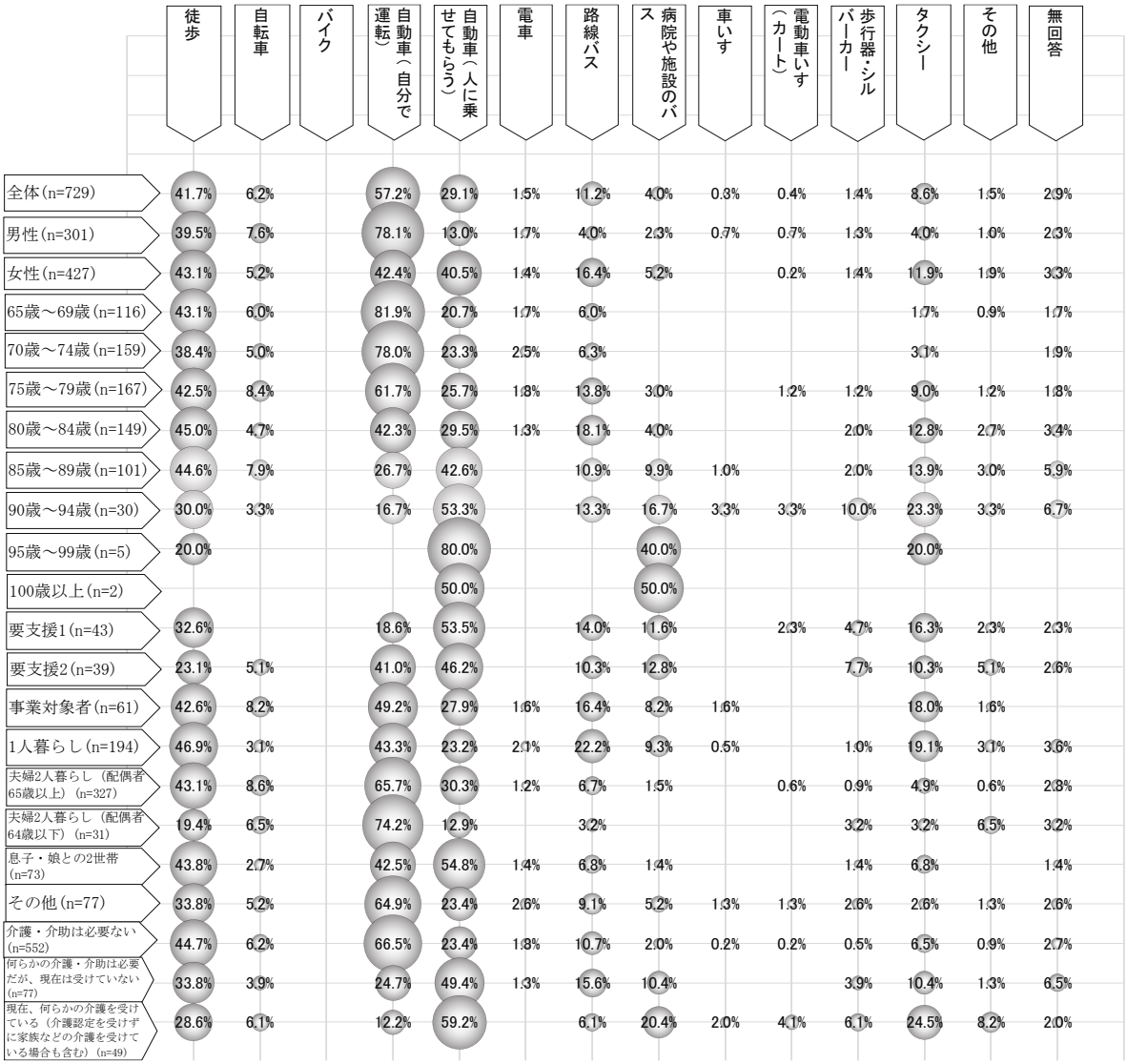
「足腰などの痛み」と答えた割合は、年齢別では、85～89 歳が 55.4%と高くなっています。



2-9．外出する際の移動手段

問２-９：外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

全体では「自動車（自分で運転）」が 57.2%と最も高く、次いで「徒歩」が 41.7%となっています。



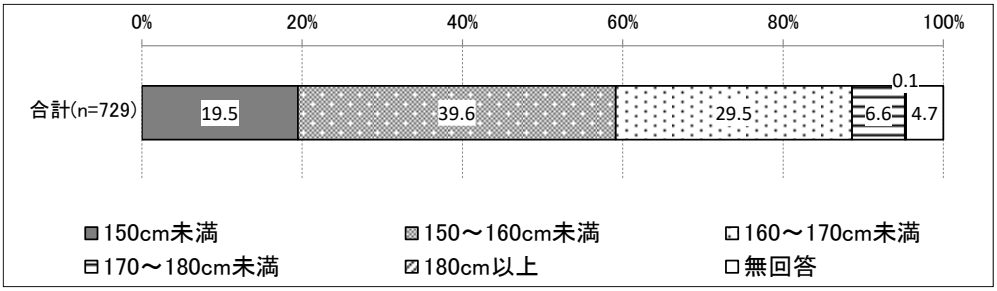
（3）食べることについて

3－1．身長・体重

問3－1：あて名の方の身長と体重についてお伺いします。（身長と体重を両方ご記入ください）

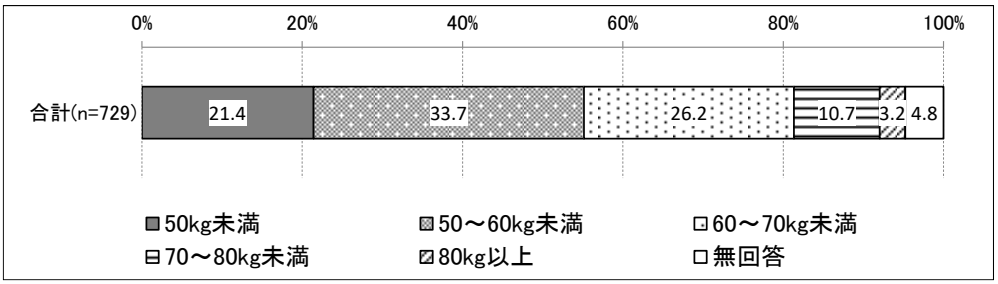
＜身長＞

「150～160cm 未満」が 39.6%と最も高く、次いで「160～170cm 未満」が 29.5%となっています。



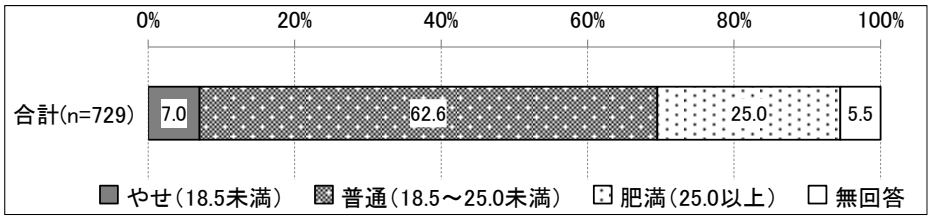
＜体重＞

「50～60kg 未満」が 33.7%と最も高く、次いで「60～70kg 未満」が 26.2%となっています。



＜BMI＞

身長・体重から抽出した BMI 指数をみると、「普通（18.5～25.0 未満）」が 62.6%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」が 25.0%となっています。



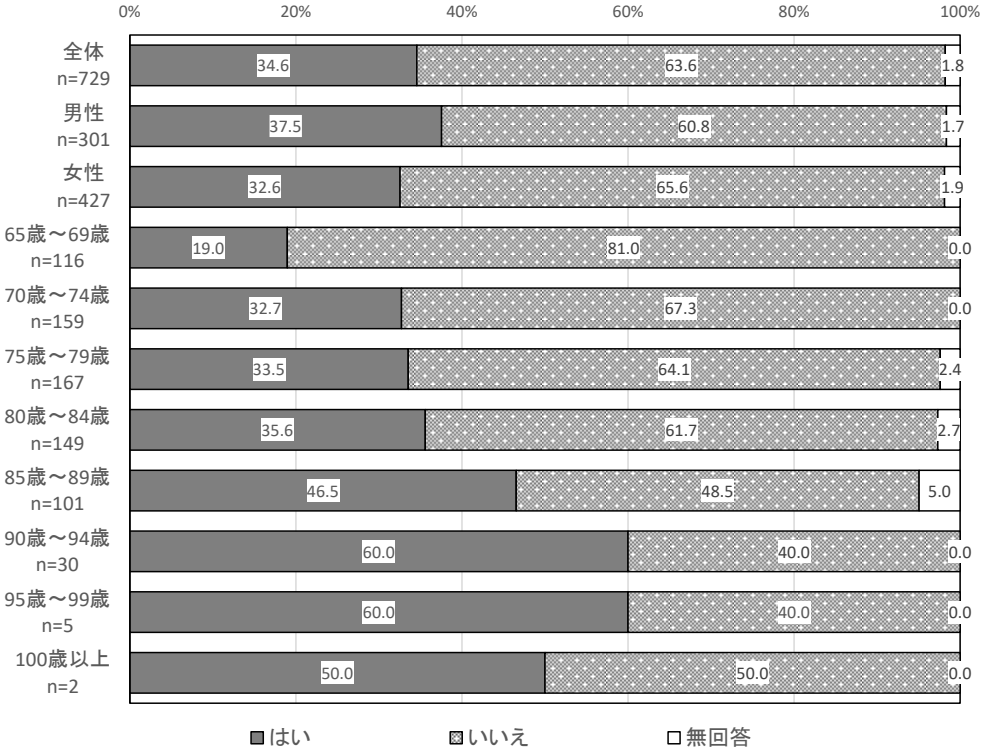
BMI 指数：肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数
BMI＝体重（kg）÷｛身長（m）の２乗｝

３-２．固いものが食べにくくなったか

問３-２：半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 34.6%、「いいえ」が 63.6%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性は 37.5%、女性が 32.6 となっています。年齢別では 90～94 歳と 95～99 歳が 60.0%と最も高くなっています。

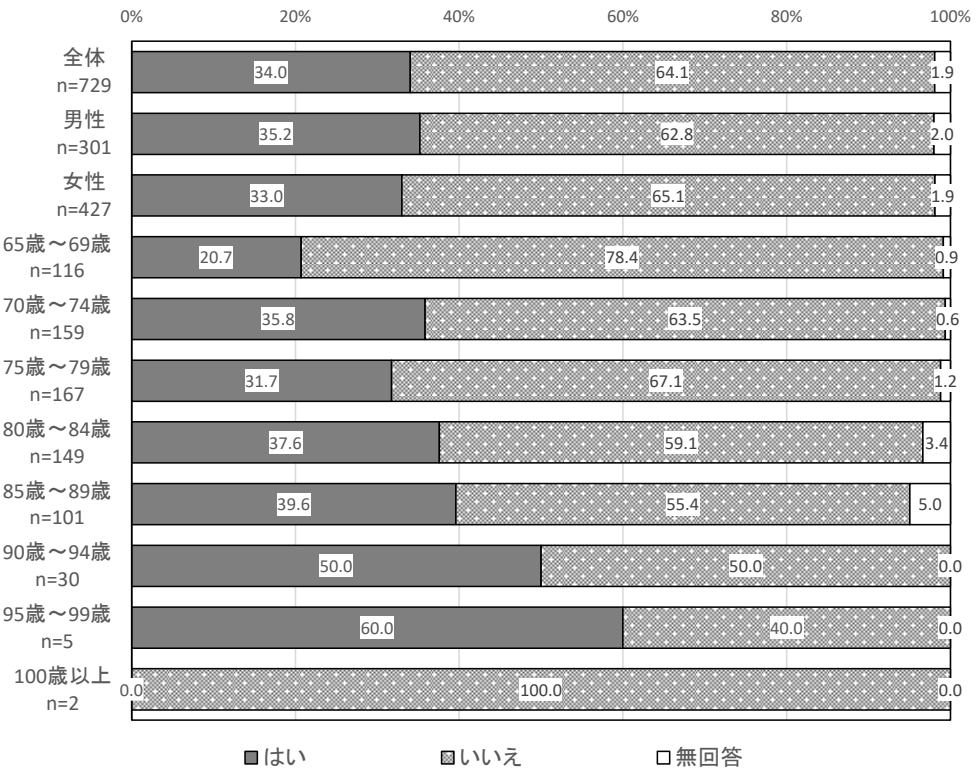


3-3．お茶等でむせることがあるか

問３-３：お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 34.0%、「いいえ」が 64.1%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性は 35.2%、女性が 33.0%となっています。年齢別では 95～99 歳が 60.0%と最も高く、次いで 90～95 歳が 50.0%となっています。

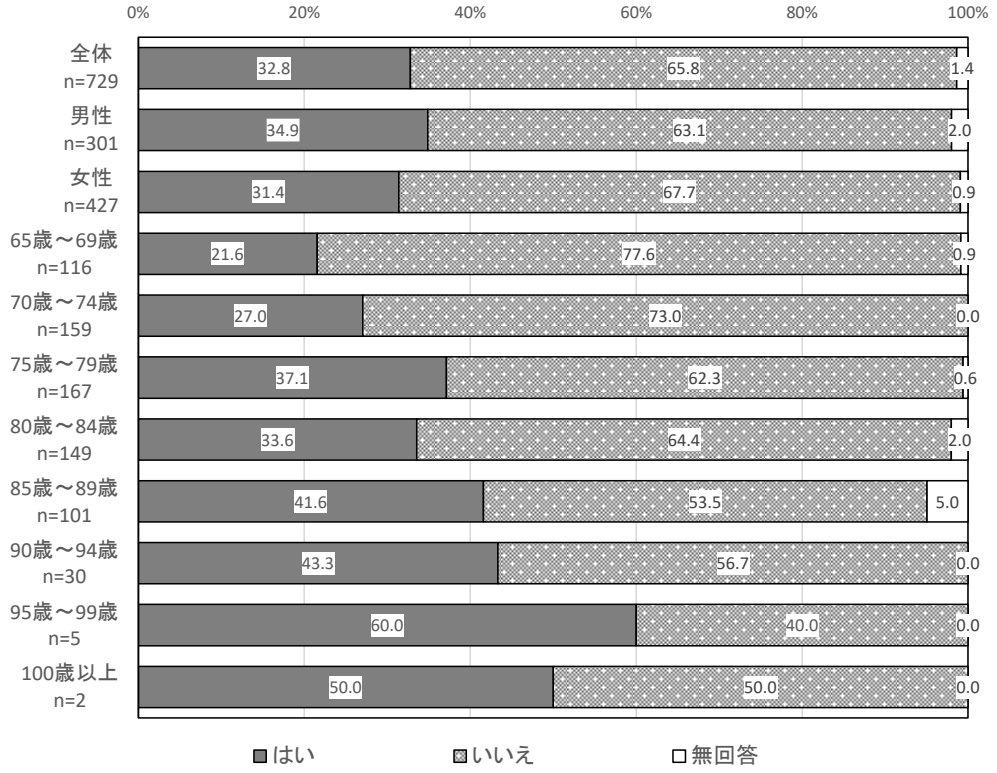


3-4．口の渇きが気になるか

問３-４：口の渇きが気になりますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 32.8%、「いいえ」が 65.8%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性が 34.9%、女性が 31.4%となっています。年齢別では 90～94 歳が 43.3%と最も高く、次いで 85～89 歳が 41.6%となっています。

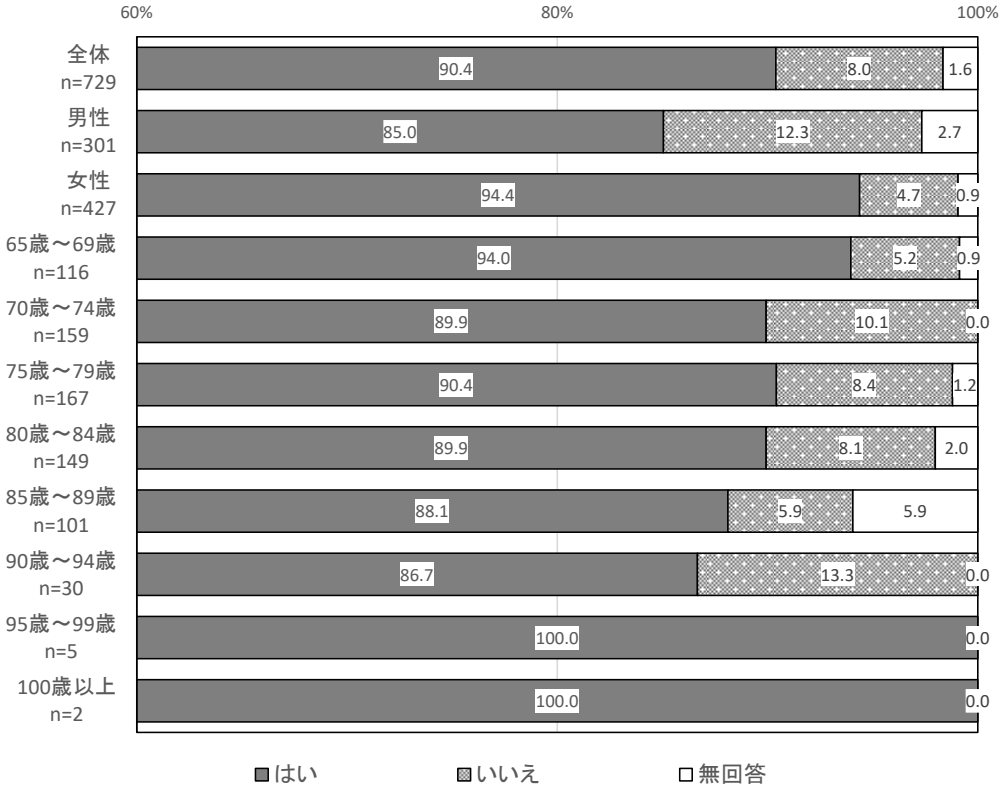


3-5．歯磨きを毎日するか

問３－５：歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 90.4%、「いいえ」が 8.0%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性が 94.4%、男性が 85.0%となっています。年齢別では 65～69 歳が 94.0%と最も高く、次いで 75～79 歳が 90.4%となっています。

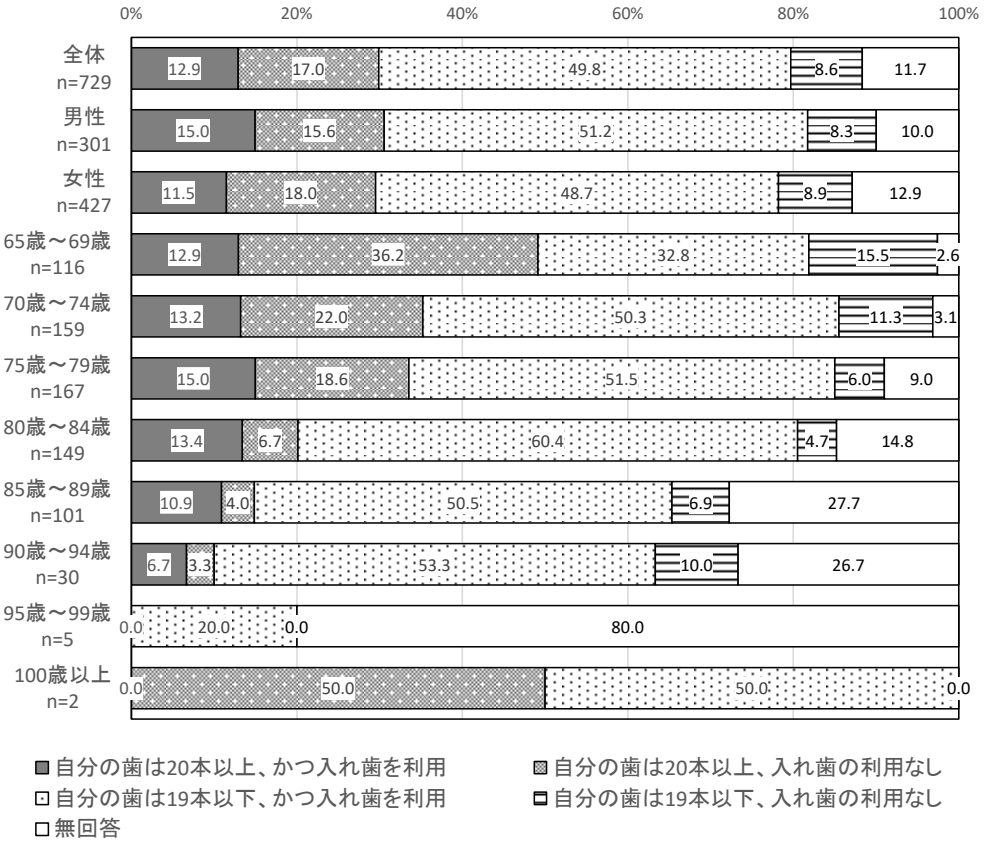


3-6．歯の数と入れ歯の利用状況

問 19：歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（○は 1 つ）

全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 49.8%と最も高くなっています。

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた割合は、性別では男性は 51.2%、女性が 48.7%となっています。年齢別では 80～84 歳が 60.4%と最も高く、次いで 90～94 歳が 53.3%となっています。

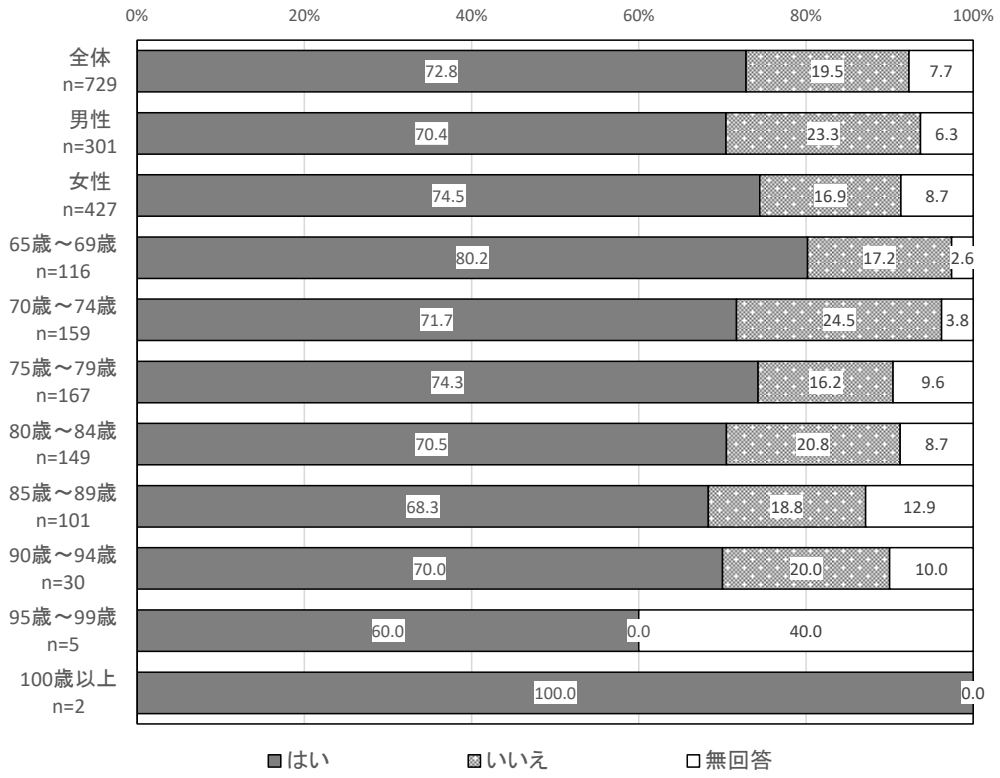


3-6．①噛み合わせは良いか

問３-６．①：噛み合わせは良いですか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 72.8%、「いいえ」が 19.5%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性が 74.5%、男性が 70.4%となっています。年齢別では 65～69 歳 80.2%と最も高く、次いで 75～79 歳が 74.3%となっています。



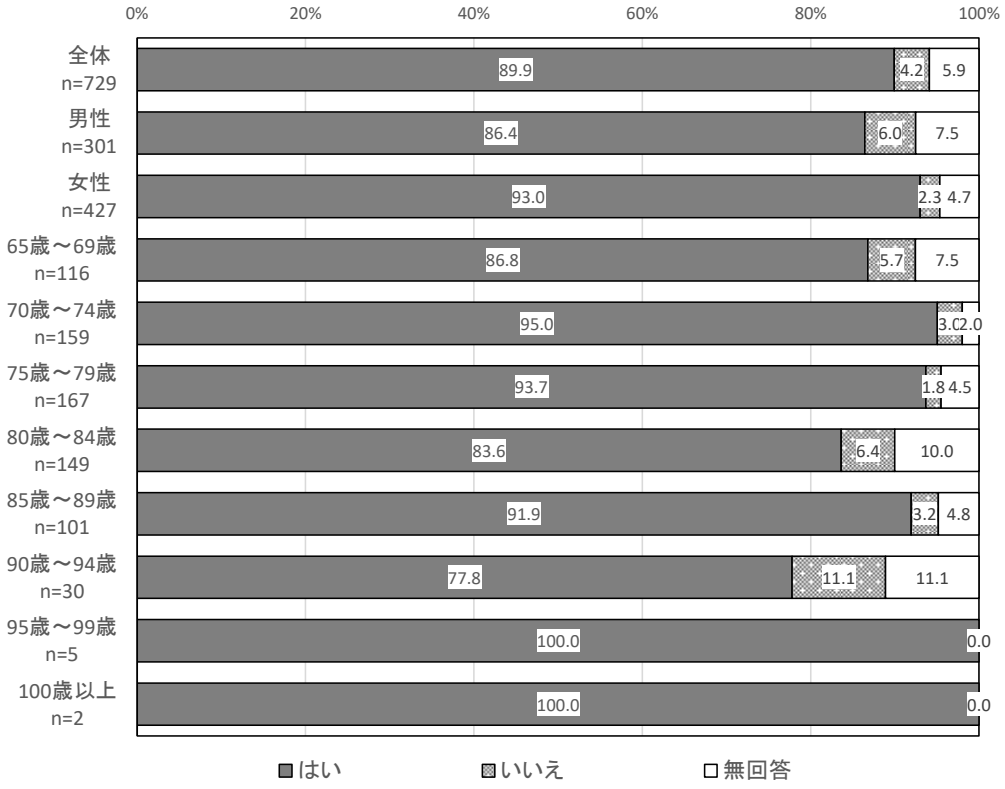
3-6．②毎日入れ歯の手入れをしているか

☆以下の問3-6.②は、問3-6において「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方にお伺いします。

問 3-6．②：毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は 1 つ）

全体では、「はい」が 89.9%、「いいえ」が 4.2%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 93.0%と高く、男性は 86.4%となっています。年齢別では 70～74 歳が 95.0%と最も高く、次いで 75～79 歳が 93.7%となっています。

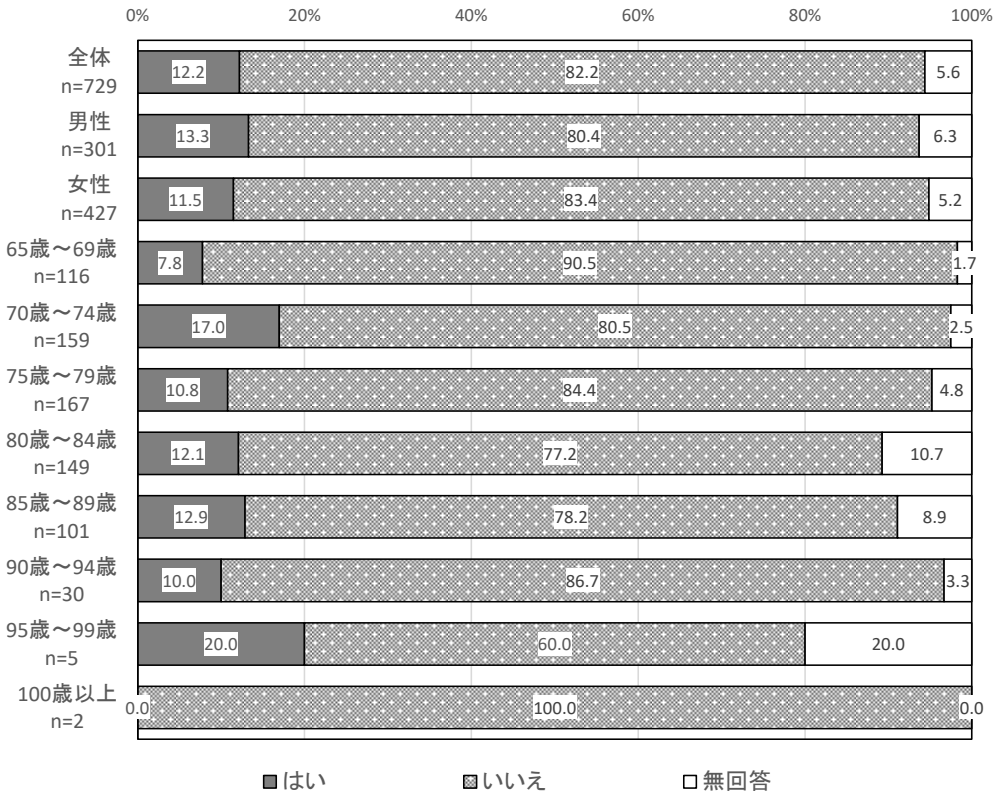


３-７．体重減少があったか

問３-７：６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 82.2%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性が 13.3%、女性が 11.5%となっており、年齢別では 70～74 歳が 17.0%と最も高くなっています。

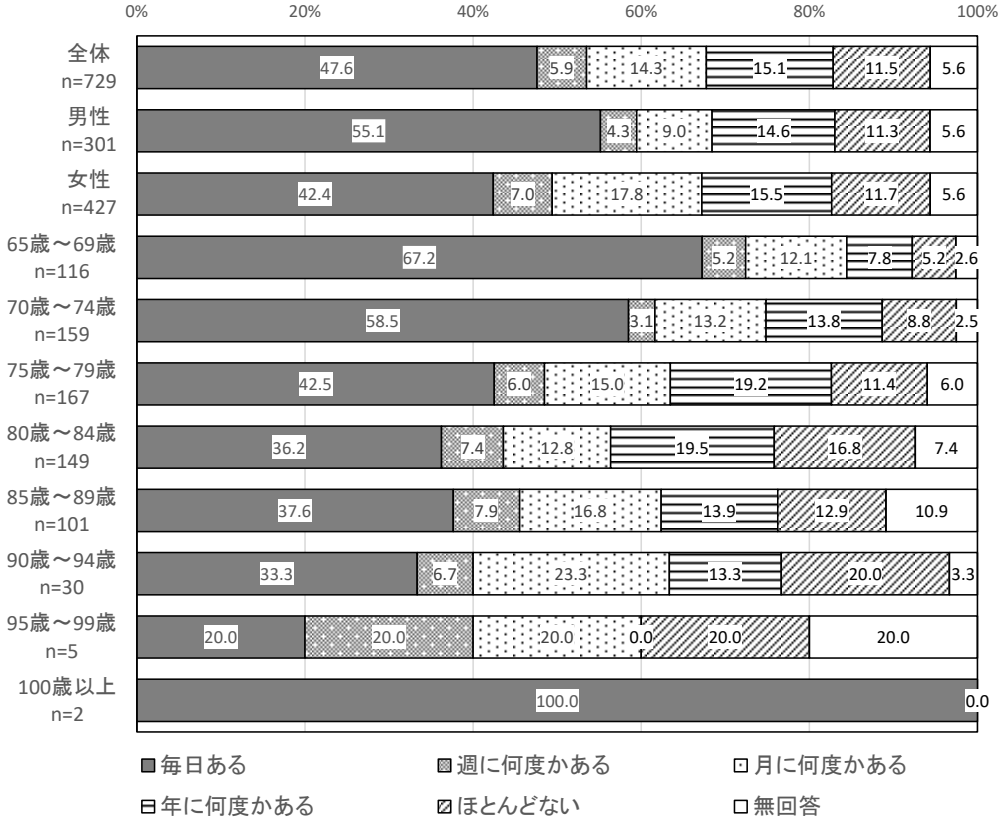


３-８．共食の機会

問３-８：どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は１つ）

全体では、「毎日ある」が 47.6%と最も高くなっています。

「ほとんどない」割合が、性別では女性が 11.7%、男性が 11.3%とほぼ同率となっており、年齢別では 90～94 歳が 20.0%と最も高くなっています。



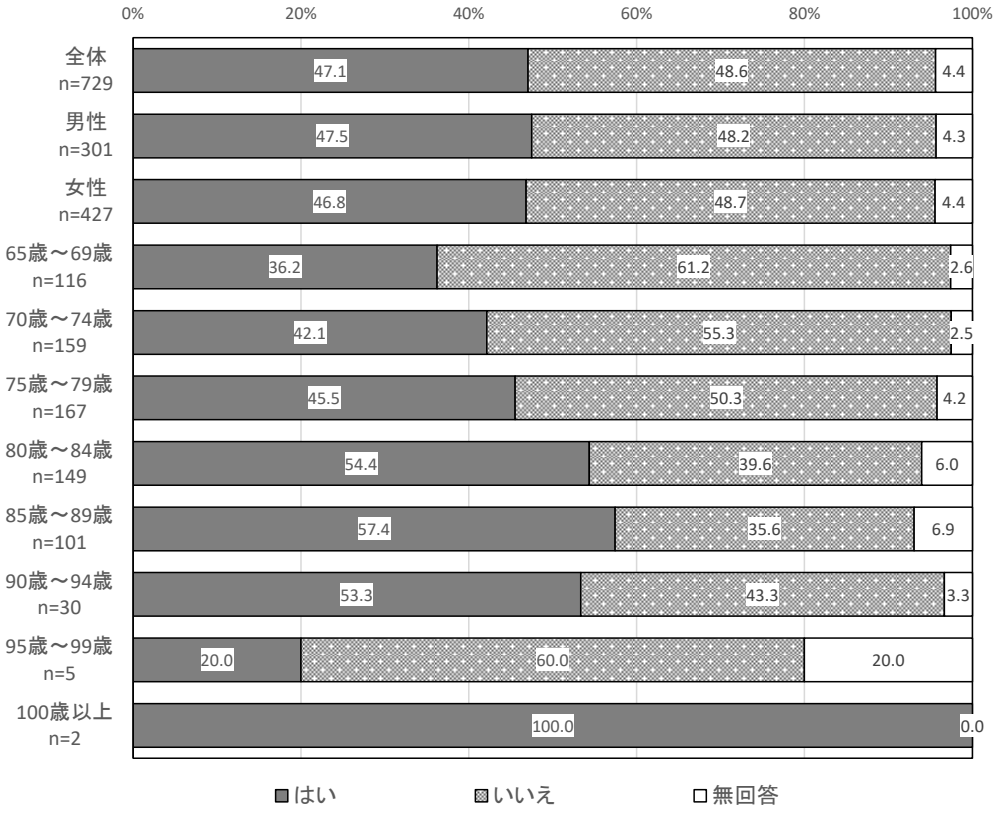
（４）毎日の生活について

４－１．物忘れが多いと感じるか

問 4-1：物忘れが多いと感じますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 48.6%、「はい」が 47.1%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性の方が 47.5%とわずかに高く、年齢別では 85～89 歳が 57.4%と最も高く、次いで 80～84 歳が 54.4%となっています。

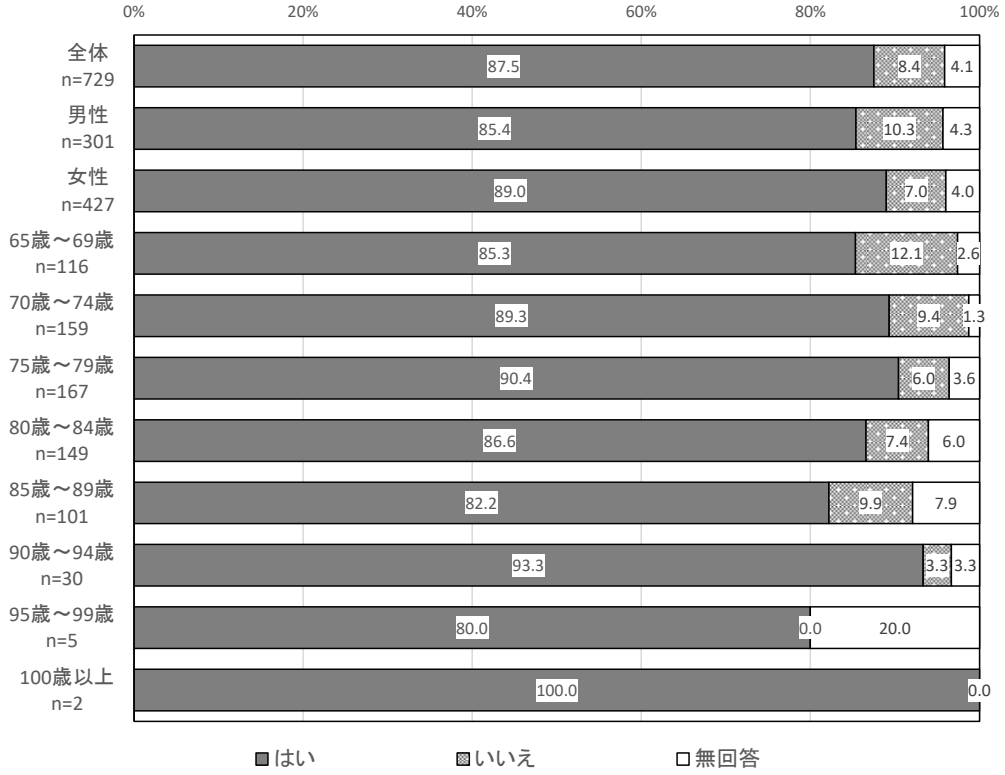


4－2．自分で電話をかけられるか

問 4-2：自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 87.5%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 89.0%と高くなっています。年齢別では 90～94 歳が 93.3%と最も高く、次いで 75～79 歳が 90.4%となっています。

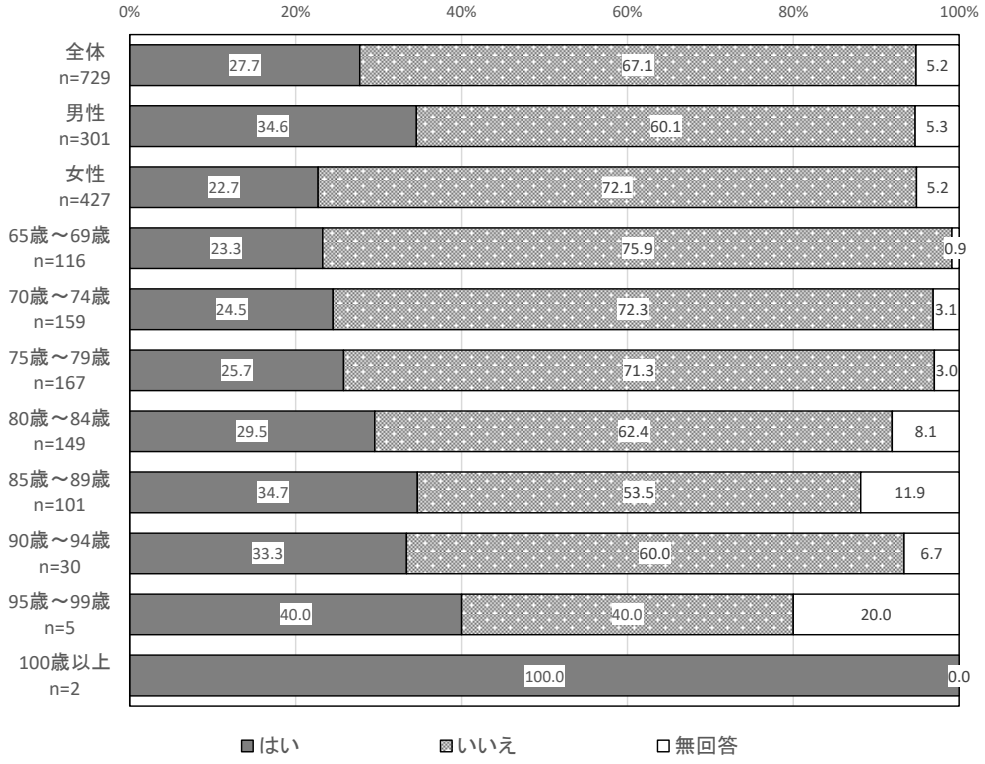


４－３．今日が何月何日かわからない時があるか

問 4-3：今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 67.1%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性の方が 34.6%と高く、女性は 22.7%となっています。年齢別では 85～89 歳が 34.7%と最も高く、次いで 90～94 歳が 33.3%となっています。

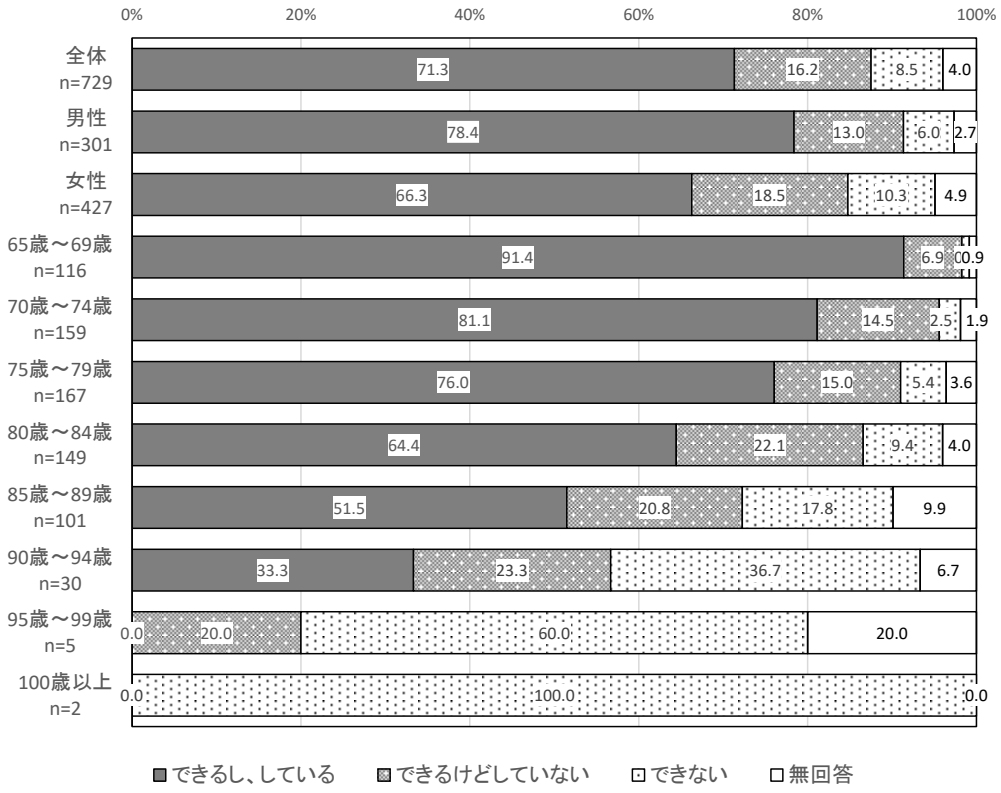


4-4．バスや電車を使って1人で外出しているか

問 4-4：バスや電車を使って1人で外出していますか。（○は1つ）

全体では、「できるし、している」が71.3%と最も高くなっています。

「できない」と答えた割合は、性別では女性の方が高く10.3%となっており、年齢別では90～94歳が36.7%と最も高く、次いで85～89歳が17.8%となっています。



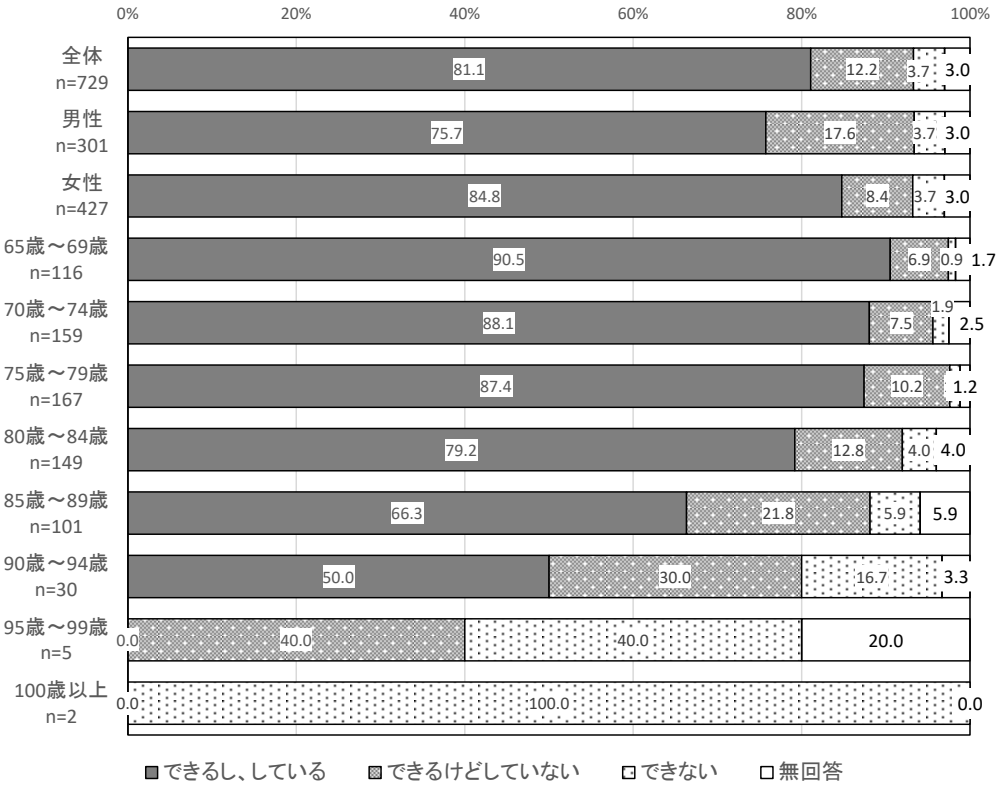
4-5．自分で買物をしているか

問 4-5：自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は 1 つ）

全体では、「できるし、している」が 81.1%と最も高くなっています。

「できるし、している」割合は、女性の方が高く 84.8%となっています。

「できない」と答えた割合は、性別では男女共に 3.7%となっており、年齢別では 90～94 歳が 16.7%と最も高く、次いで 85～89 歳が 5.9%となっています。

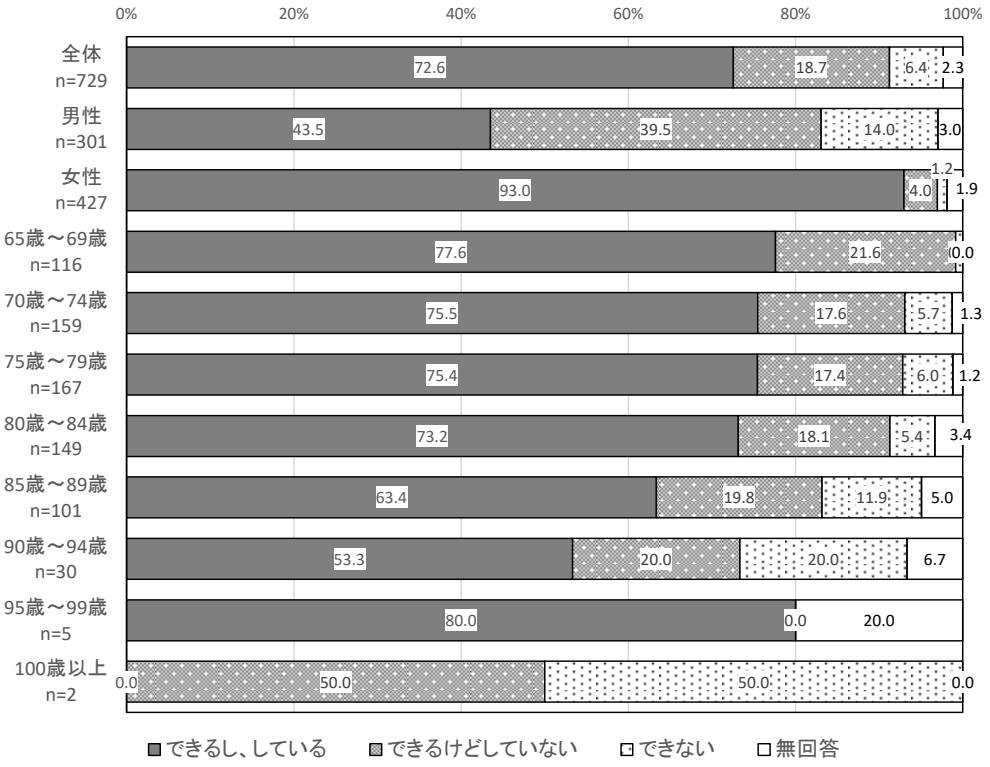


4-6．自分で食事の用意をしているか

問 4-6：自分で食事の用意をしていますか。（○は１つ）

全体では、「できるし、している」が 72.6%と最も高くなっています。

「できるし、している」と答えた割合は、性別では女性の方が 93.0%と高く、男性は 43.5%にとどまっています。「できない」割合は、年齢別では 65～69 歳が 77.6%と最も高く、次いで 70～74 歳が 75.5%となっています。



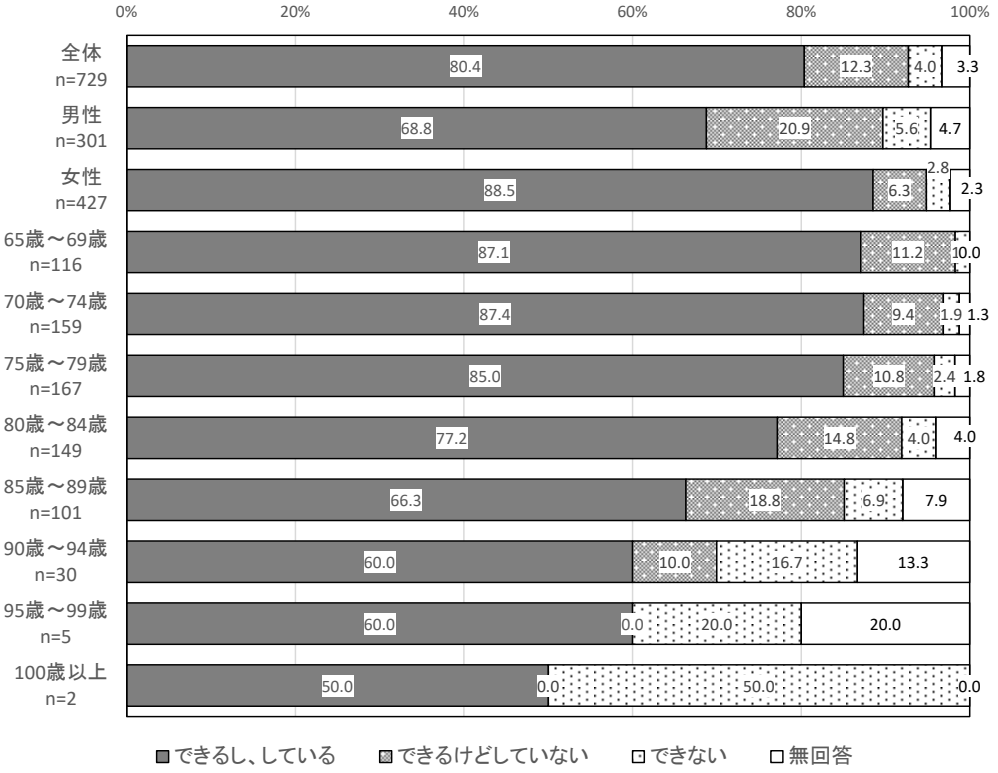
4-7．自分で請求書の支払いをしているか

問 4-7：自分で請求書の支払いをしていますか。（○は 1 つ）

全体では、「できるし、している」が 80.4%と最も高くなっています。

「できるし、している」と答えた割合は、性別では女性の方が 88.5%と高く、男性は 68.8%となっています。

「できない」割合は、年齢別では 90～94 歳が 16.7%と最も高く、次いで 85～89 歳が 6.9%となっています。

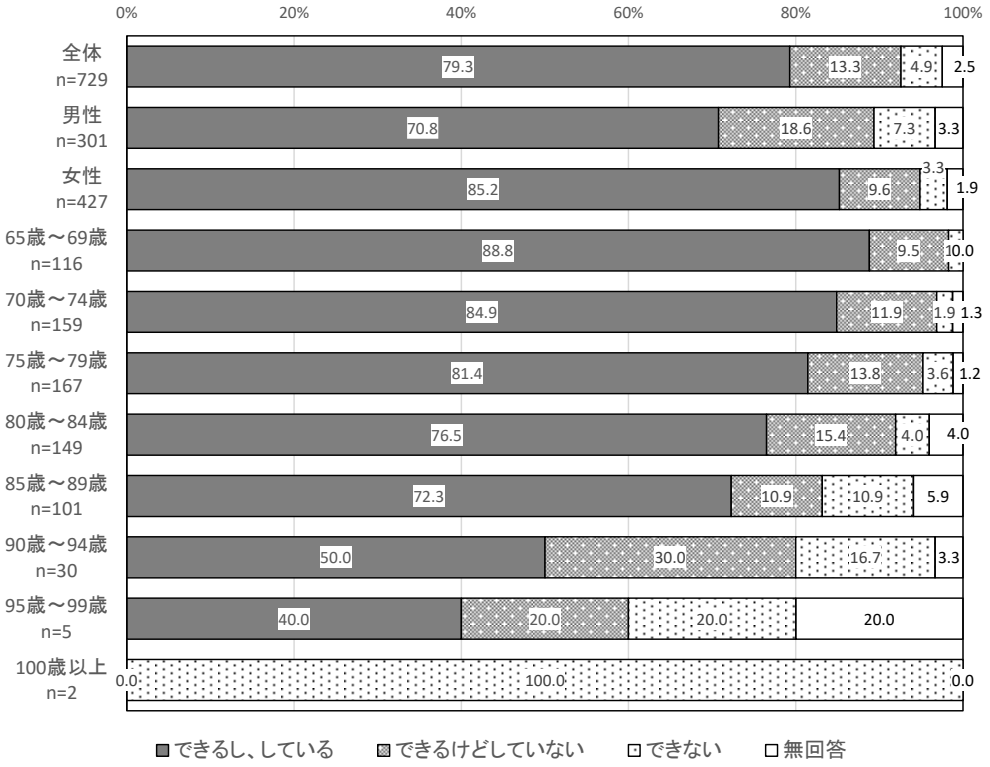


4-8．自分で預貯金の出し入れをしているか

問 4-8：自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は 1 つ）

全体では、「できるし、している」が 79.3%と最も高くなっています。

「できるし、している」と答えた割合は、女性の方が 85.2%と高く、男性は 70.8%となっています。「できない」割合は、年齢別では 90～94 歳が 16.7%と最も高く、次いで 85～89 歳が 10.9%となっています。

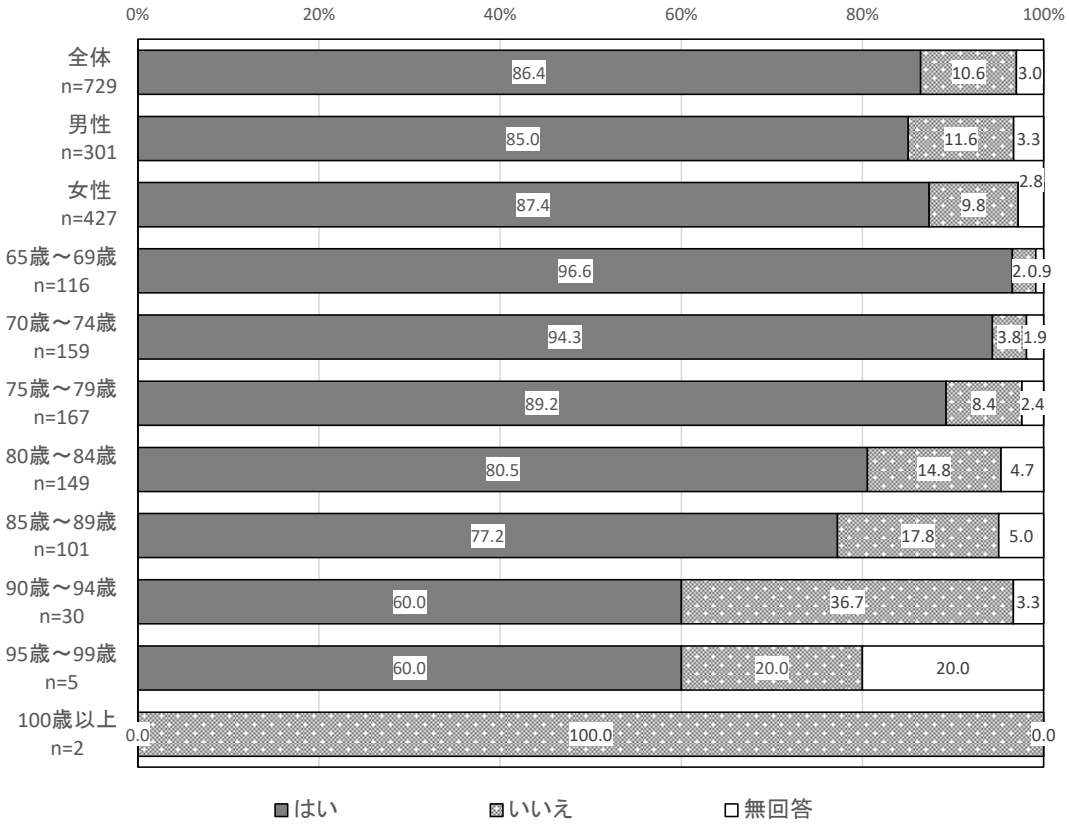


4-9．年金などの書類が書けるか

問 4-9：年金などの書類（役場や病院などに出す書類）が書けますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 86.4%と最も高くなっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 87.4%と高く、年齢別では 65～69 歳が 96.6%と最も高く、次いで 70～74 歳が 94.3%と、年齢が上がるにつれ低くなっています。

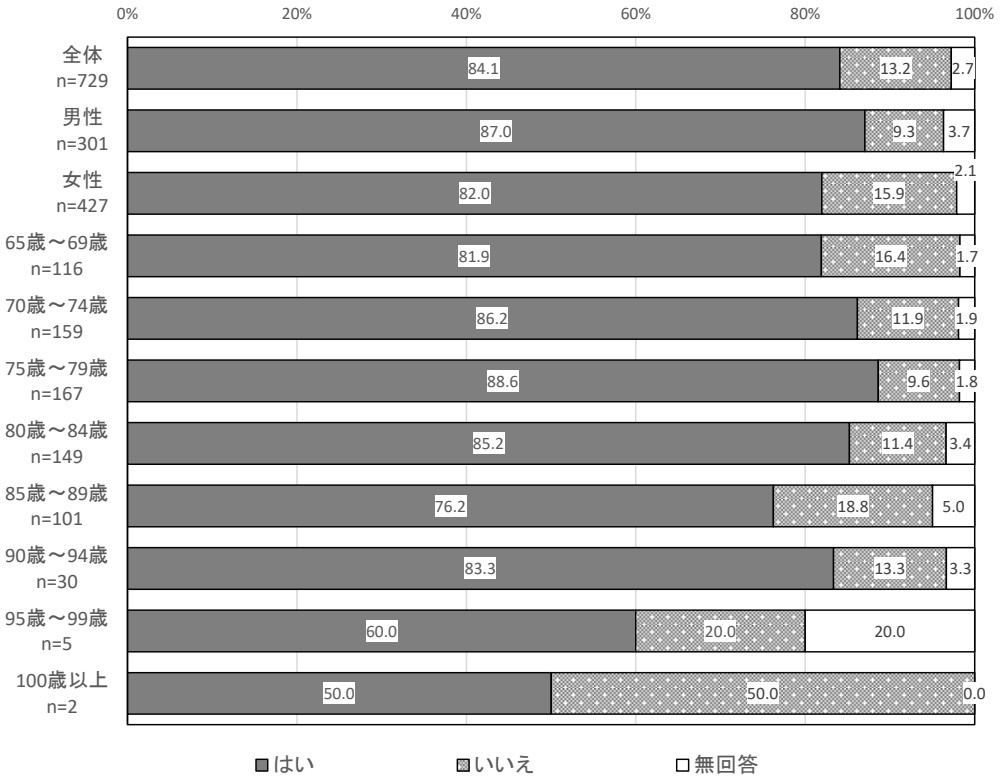


4-10. 新聞を読んでいるか

問 4-10：新聞を読んでいますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 84.1%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性の方が 87.0%と高く、女性は 82.0%となっています。年齢別では 75～79 歳が 88.6%と最も高く、次いで 70～74 歳が 86.2%となっています。

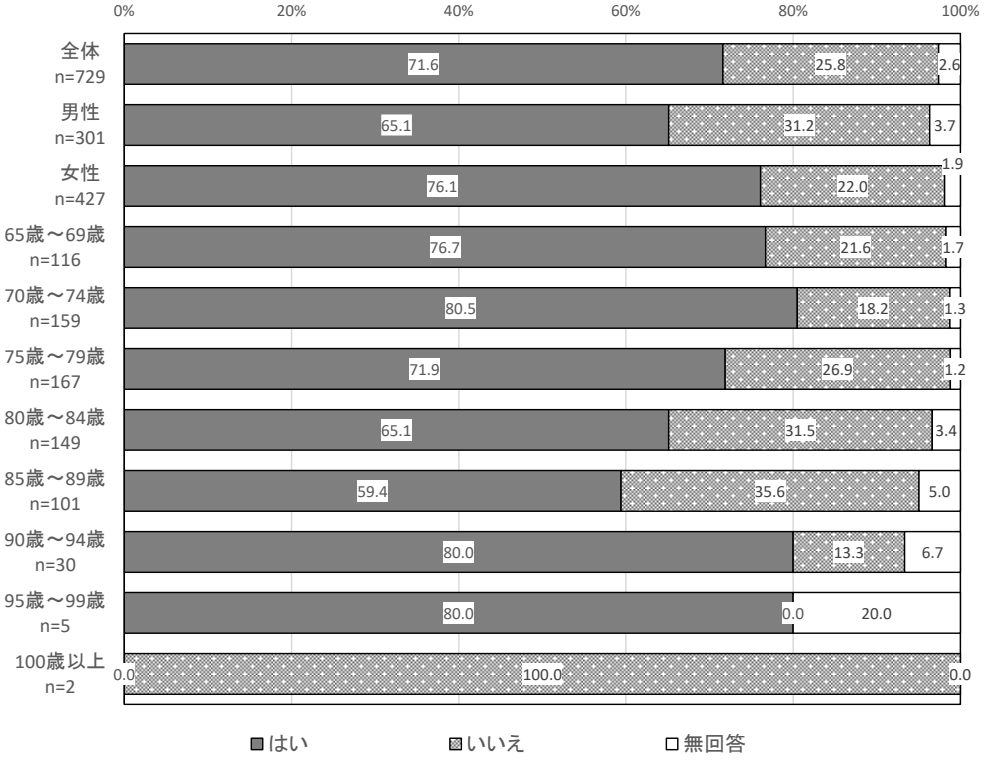


4-11. 本や雑誌を読んでいるか

問 4-11：本や雑誌を読んでいますか。（○は１つ）

全体では、「はい」が 71.6%と最も高くなっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 76.1%と高くなっています。「はい」の割合は、年齢別では 70～74 歳が 80.5%と最も高く、次いで 90～94 歳が 80.0%となっています。

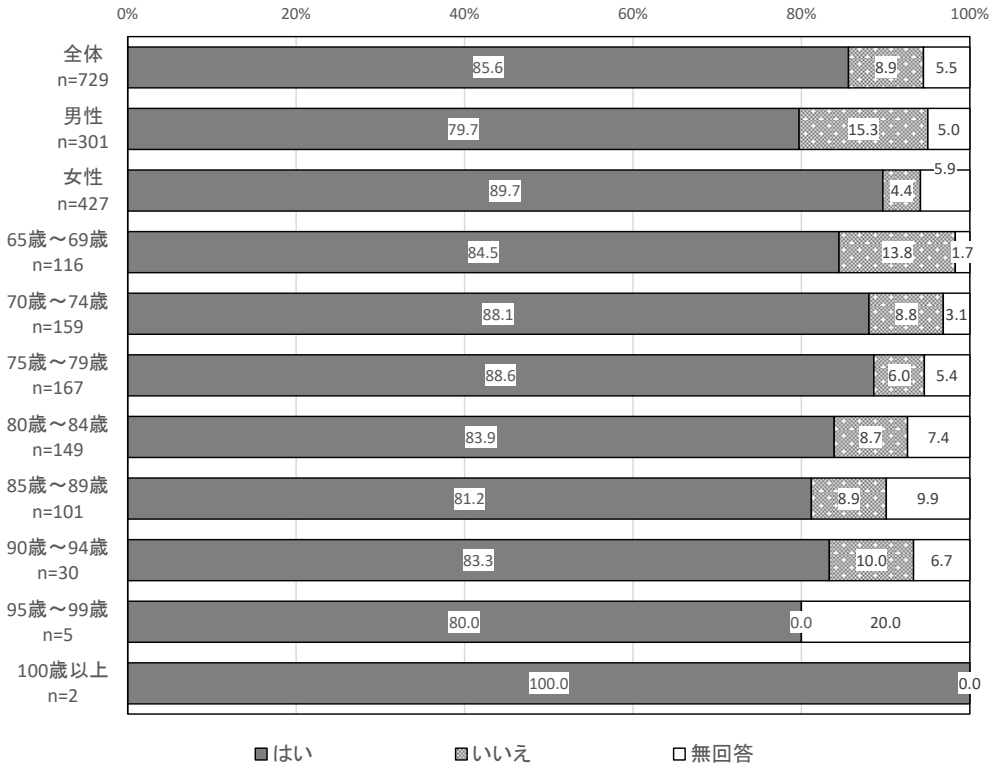


4-12. 健康についての記事や番組に関心があるか

問 4-12：健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は 1 つ）

全体では、「はい」が 85.6%となっています。

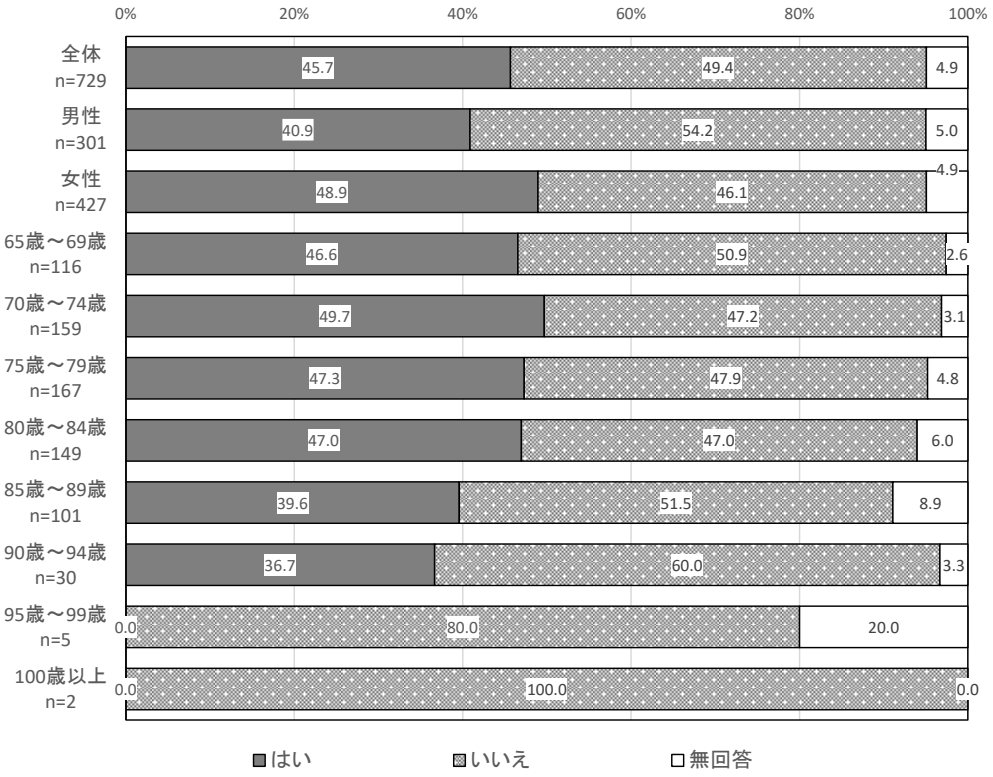
「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 89.7%と高く、男性は 79.7%となっています。年齢別では 75～79 歳が 88.6%と最も高く、次いで 70～74 歳が 88.1%となっています。



4-13. 友人の家を訪ねているか

問 4-13：友人の家を訪ねていますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 49. %4、「はい」が 45.7%となっています。
性別では男性の方が「いいえ」の割合が高く 54.2%となっています。
年齢別では 90～94 歳が 60.0%と最も高く、次いで 85～89 歳が 51.5%となっています。

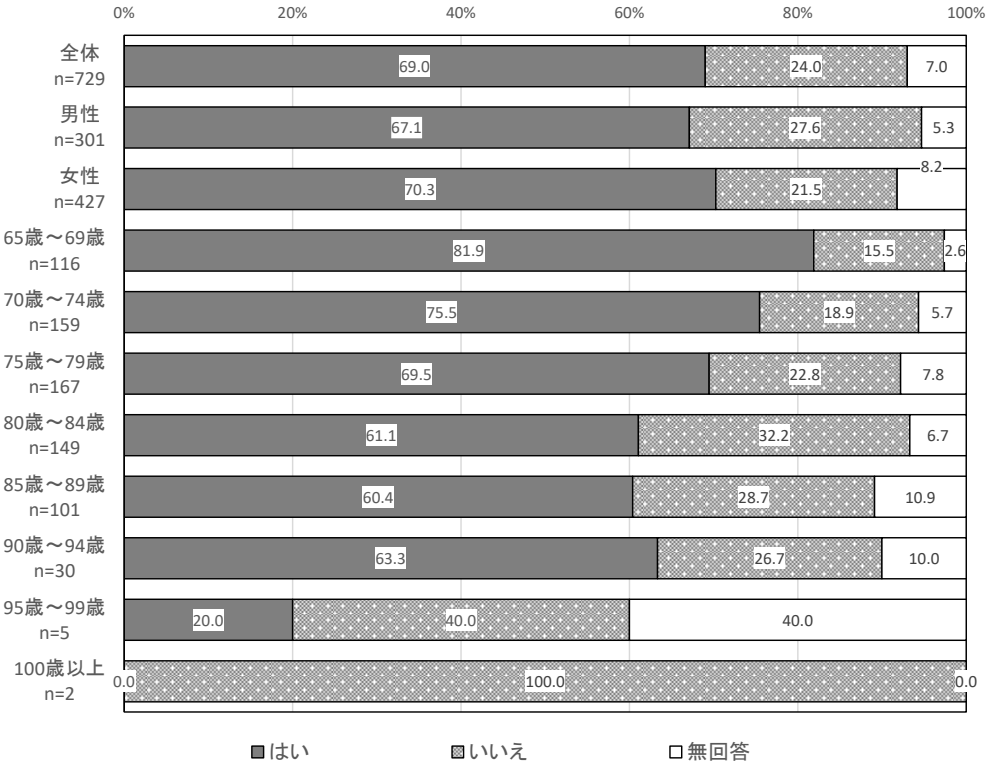


4-14. 家族や友人の相談にのっているか

問 4-14：家族や友人の相談にのっていますか。（○は 1 つ）

全体では、「はい」が 69.0%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 70.3%と男性（67.1%）よりわずかに高くなっています。年齢別では 65～69 歳が 81.9%と最も高く、次いで 70～74 歳が 75.5%となっています。

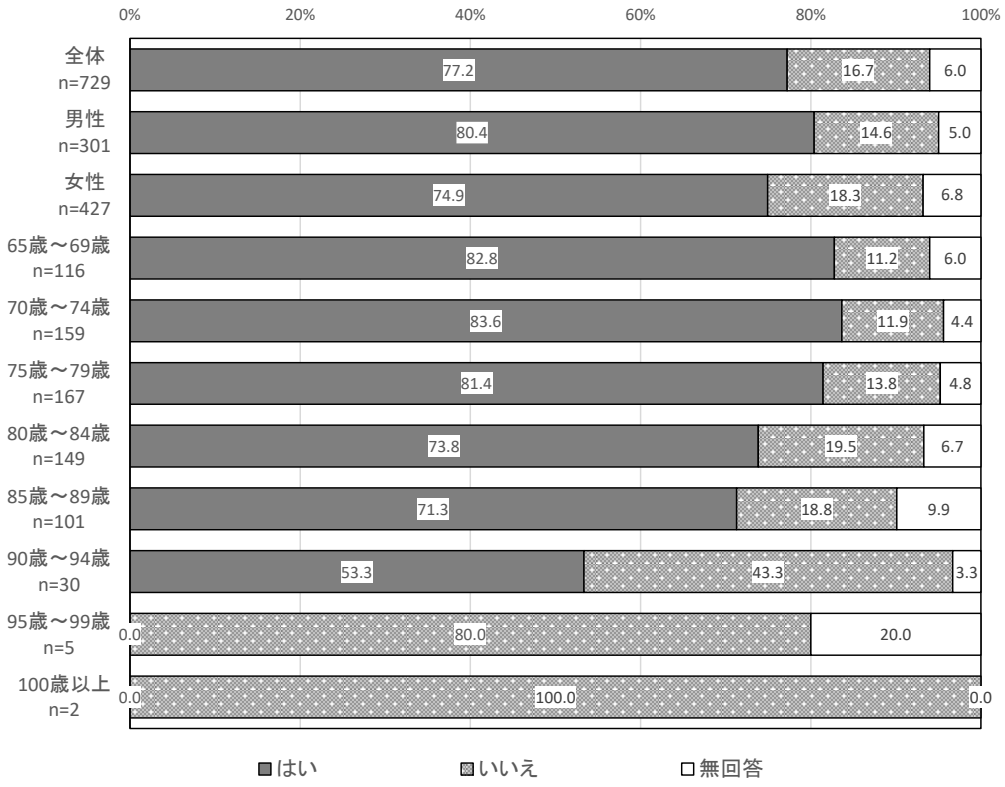


4-15. 病人を見舞うことができるか

問 4-15：病人を見舞うことができますか。（○は 1 つ）

全体では、「はい」が 77.2%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性の方が 80.4%と高く、女性は 74.9%となっています。年齢別では 70～74 歳が 83.6%と最も高くなっており、次いで 65～69 歳が 82.8%となっています。

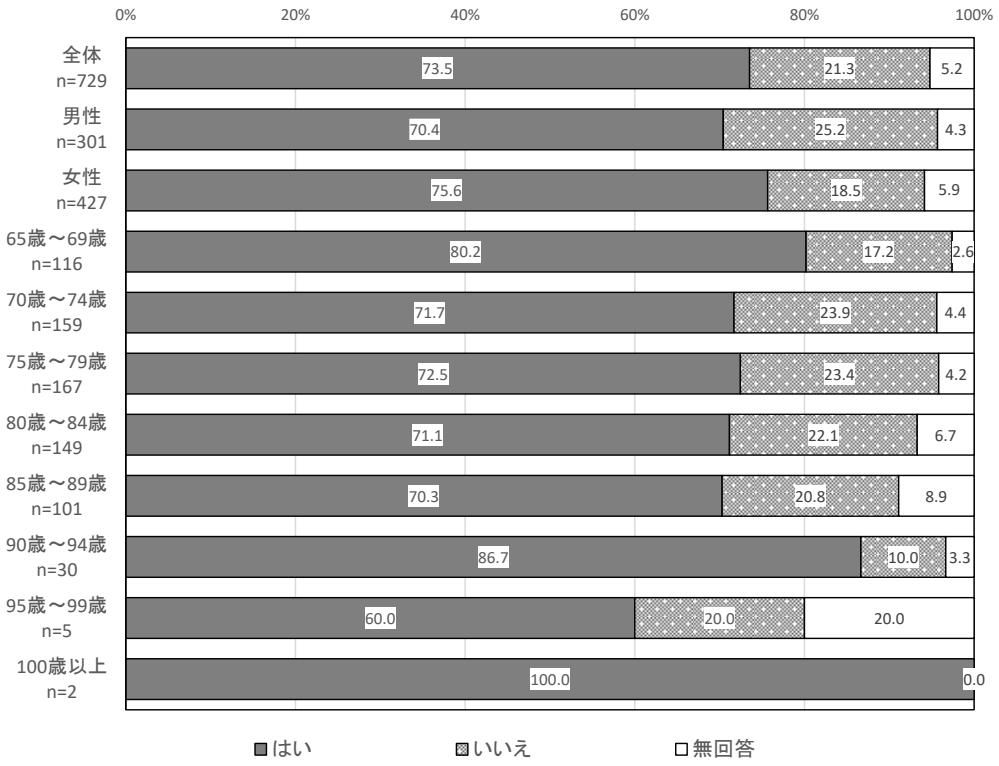


4-16. 若い人に自分から話しかけることがあるか

問 4-16：若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は 1 つ）

全体では、「はい」が 73.5%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が 75.6%と高くなっています。年齢別では 90～94 歳が 86.7%と最も高く、次いで 65～69 歳が 80.2%となっています。

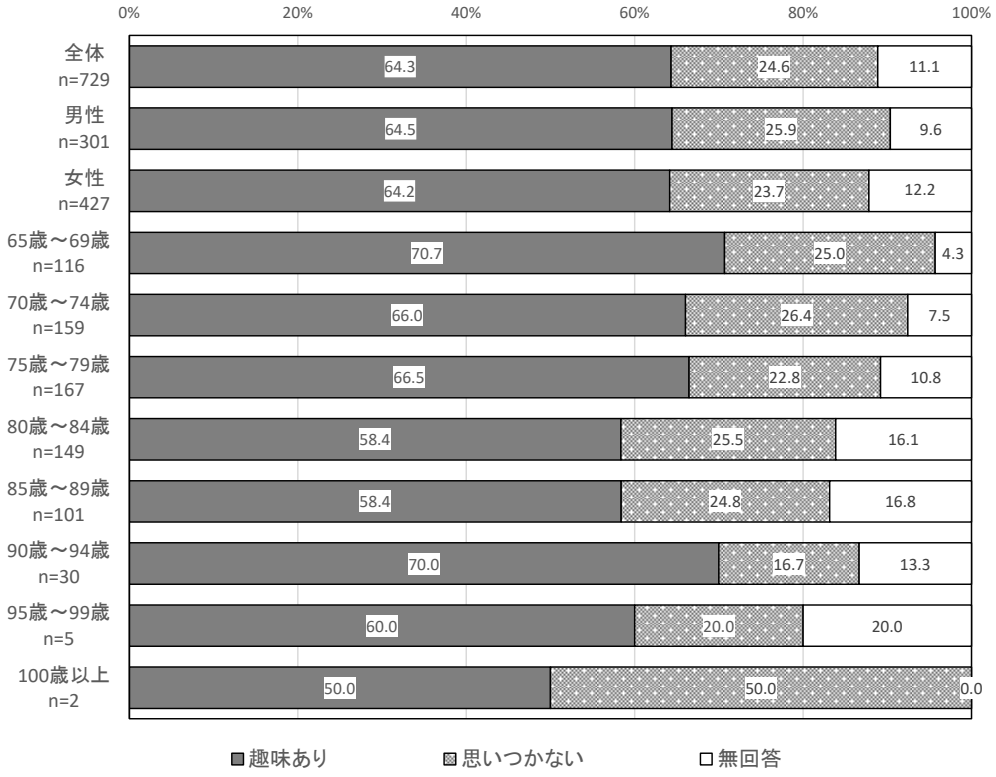


4-17. 趣味はあるか

問 4-17：趣味はありますか。（○は 1 つ）

全体では、「ある」が 64.3%となっています。

「ある」と答えた割合は、性別では男女の差はほとんどなく、それぞれ 64.5%、64.2%となっています。年齢別では 65～69 歳が 70.7%と最も高く、次いで 90～94 歳が 70.0%となっています。



☆問 4-17 において「ある」と回答された方にお伺いします。

4-17. ①趣味の内容（一部抜粋）

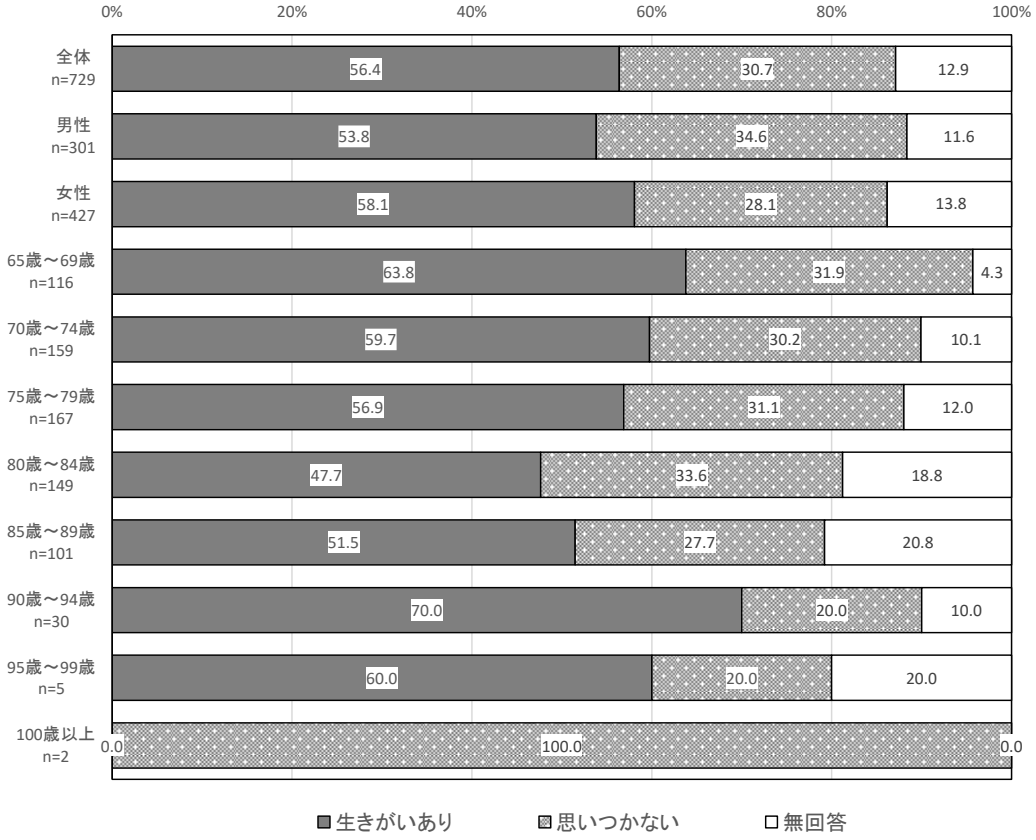
畑仕事や家庭菜園・ガーデニング・テレビ・麻雀・パチンコ・競馬・釣り・魚の飼育・パズル・クロスワード・塗り絵・読書・釣り・ドライブ・旅行・ゴルフ・将棋・ショッピング・料理・手芸・茶道・相撲、野球などのスポーツ観戦・ウォーキング・水泳・映画鑑賞・カラオケ・山歩き・英会話・サークル活動など多岐に渡っています。

4-18. 生きがいはあるか

問 4-18：生きがいはありますか。（○は１つ）

全体では、「生きがいあり」が 56.4%となっています。

「生きがいあり」と答えた割合は、性別では女性の方が 58.1%と高くなっています。年齢別では 90～94 歳が 70.0%と最も高くなっています。



☆問 4-18 において「ある」と回答された方にお伺いします。

4-18. ①生きがいの内容（一部抜粋）

孫やひ孫の成長と答えた方が最も多く、その他スポーツ・仕事・夢・家庭菜園や庭の手入れ・人と話すこと・ペット・旅行など多岐に渡っています。

（５）地域での活動について

５－１．ボランティア活動やサークル、町会・自治会などへの参加

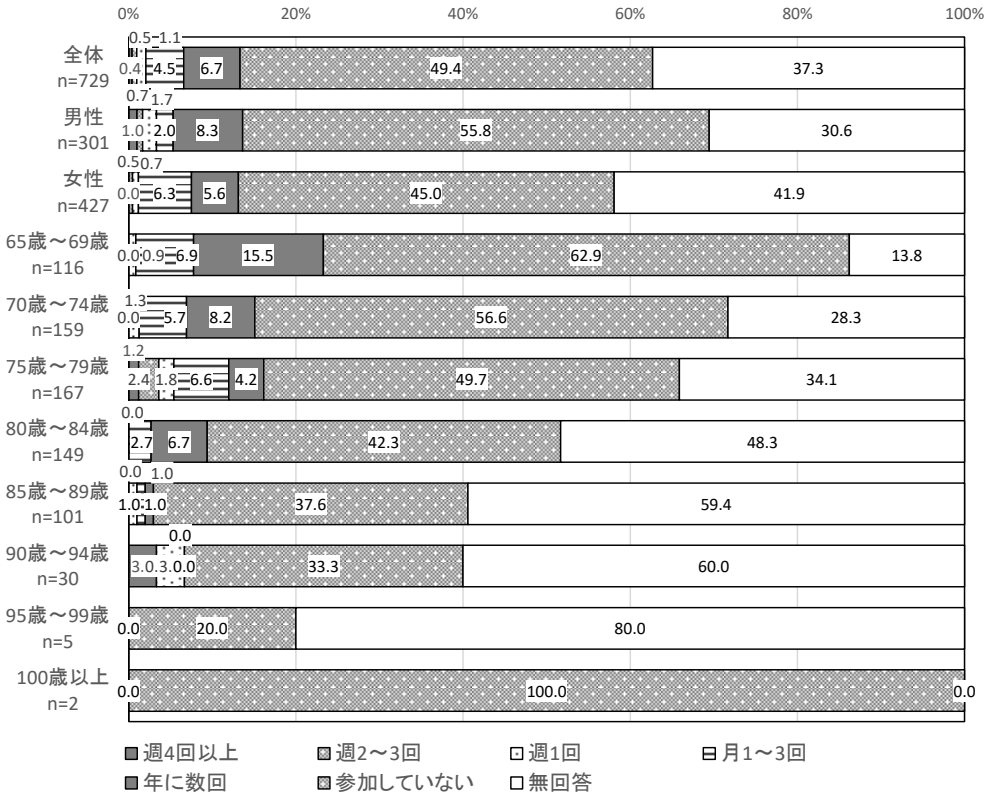
問５－１：ボランティア活動や趣味・スポーツのサークル、町会・自治会や収入のある仕事などをどの程度行っていますか。（以下の①～⑧の項目ごとに○は１つ）

① ボランティアのグループ

全体では、「参加していない」が 49.4%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、性別では男性の方が 55.8%と高く、年齢別では 65～69 歳が 62.9%と高くなっています。

「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では 65～69 歳（23.3%）、次いで 75～79 歳（16.2%）となっています。

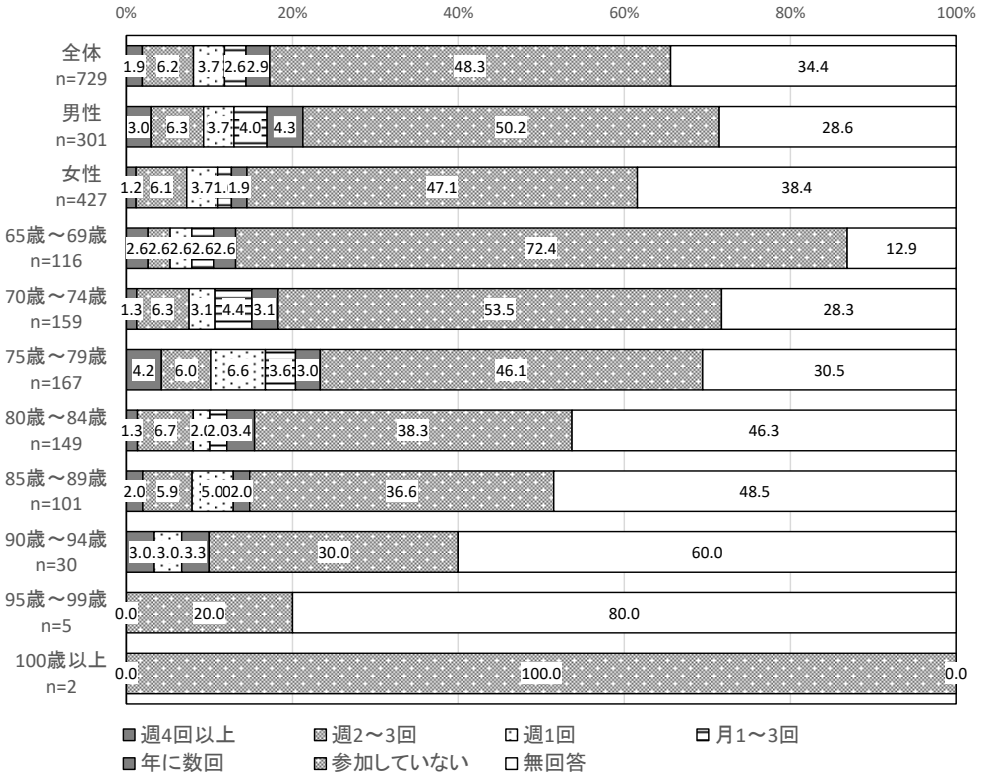


② スポーツ関係のグループやクラブ

全体では、「参加していない」が48.3%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、男性の方が50.2%と高く、年齢別では65～69歳が72.4%と高くなっています。

「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では75～79歳（23.4%）、次いで70～74歳（18.2%）となっています。

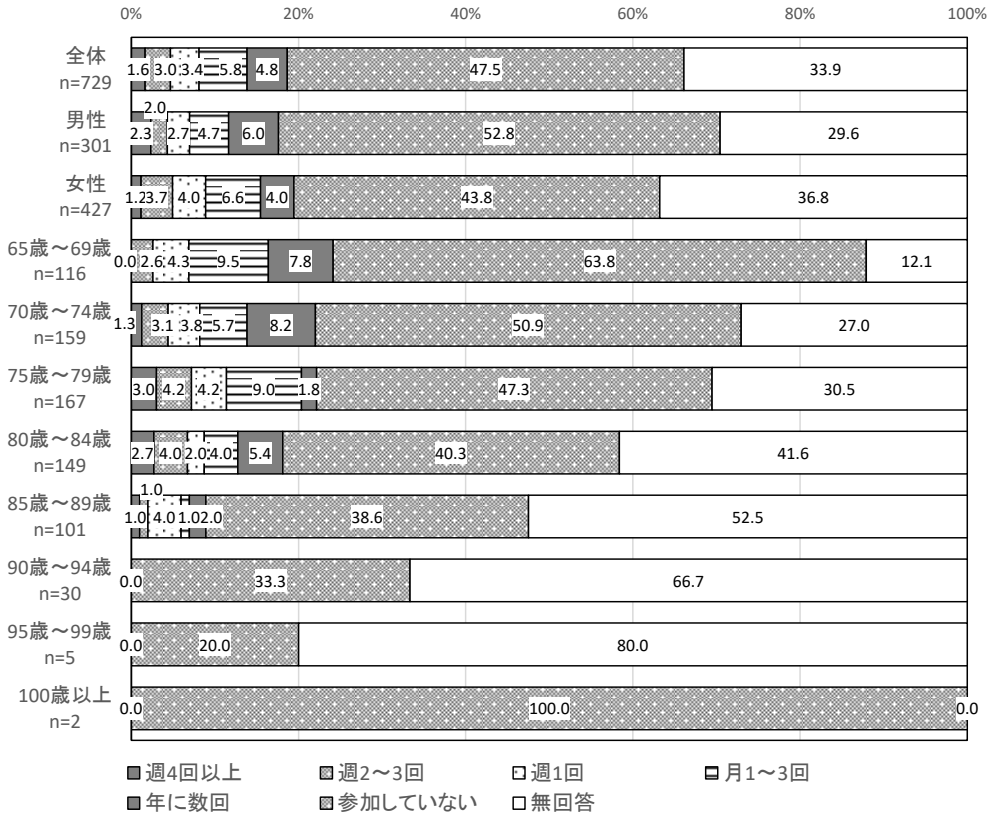


③ 趣味関係のグループ

全体では、「参加していない」が47.5%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、性別では男性の方が 52.8%と高く、年齢別では 65～69 歳が 63.8%と最も高くなっています。

「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では 65～69 歳（24.1%）、次いで 75～79 歳（22.2%）となっております。

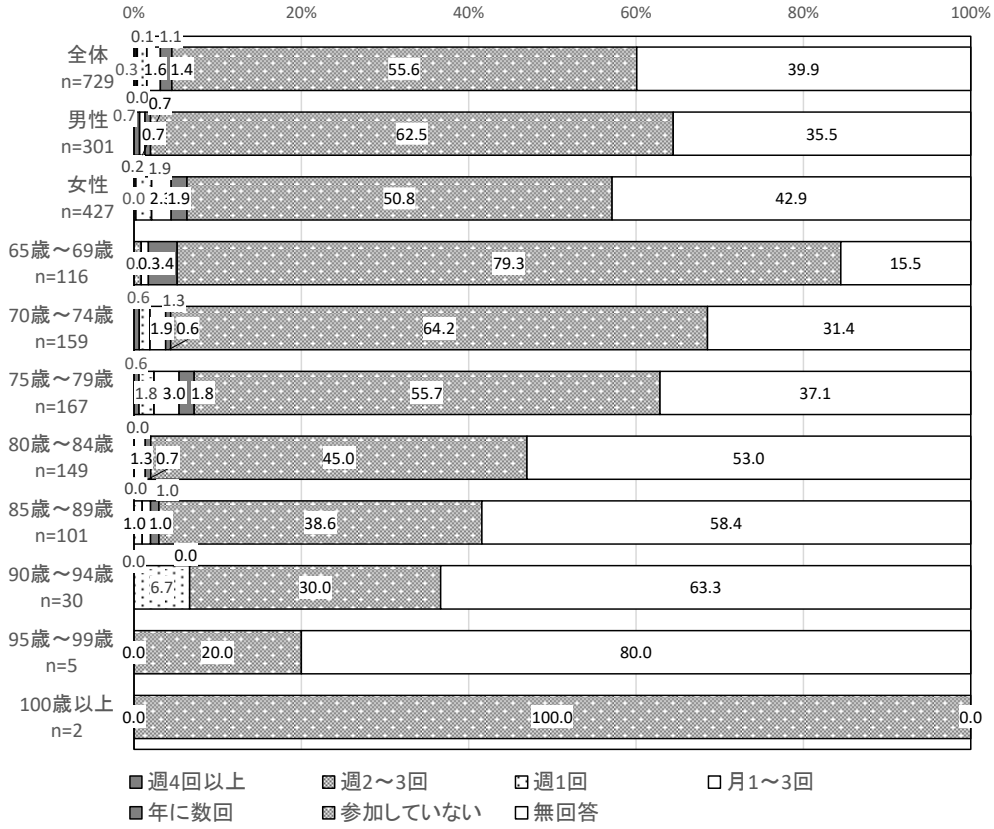


④ 学習・教養サークル

全体では、「参加していない」が 55.6%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、性別では男性の方が 62.5%と高く、女性は 50.8%となっています。年齢別では 65～69 歳が 79.3%と最も高くなっています。

「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では 75～79 歳（7.2%）、次いで 90～94 歳（6.7%）となっております。

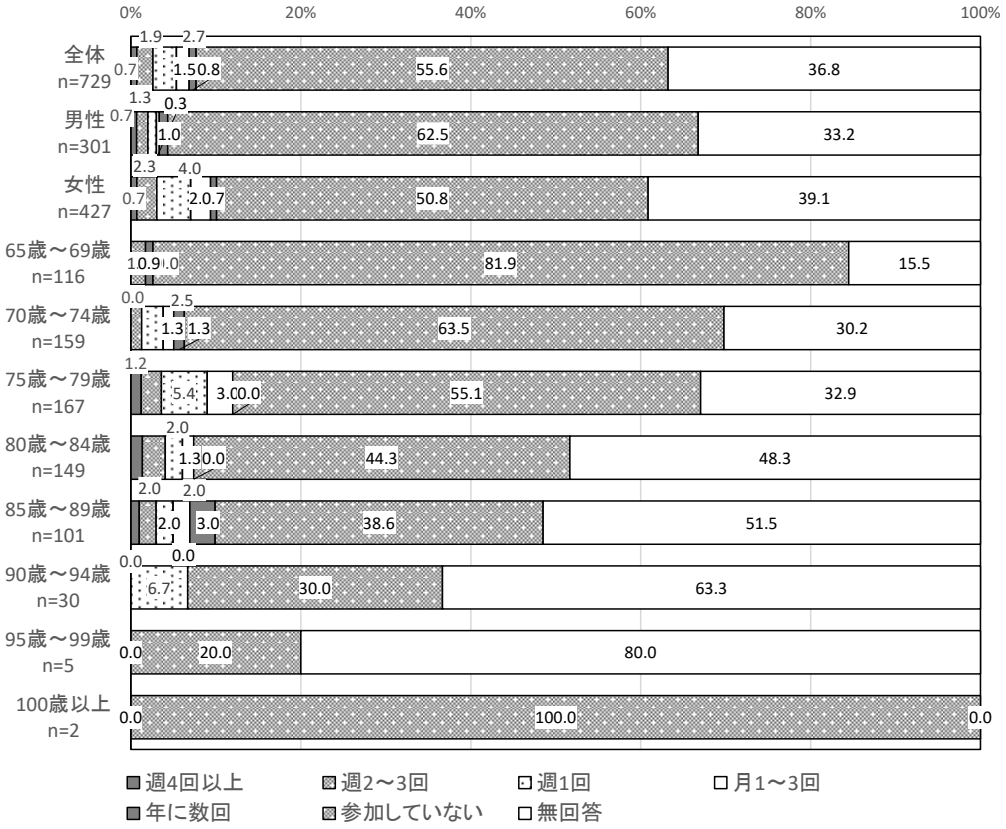


⑤ 介護予防のための通いの場（太極拳・卓球・フラダンス・脳の健康教室など）

全体では、「参加していない」が 55.6%となっています。

「参加していない」割合は、性別では男性の方が 62.5%と高くなっています。年齢別では 65～69 歳が 81.9%と最も高く、次いで 70～74 歳が 63.5%と高くなっています。

「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では 75～79 歳（12.0%）、次いで 85～89 歳（9.9%）となっております。

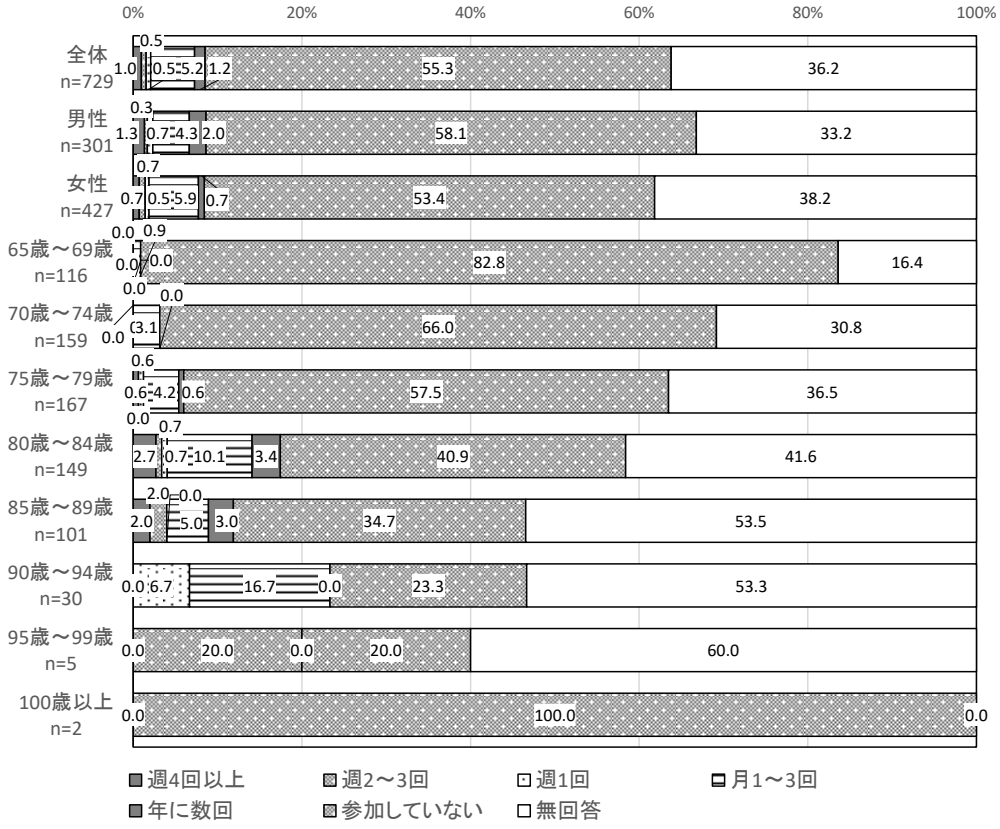


⑥ 老人クラブ

全体では、「参加していない」が 55.3%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、性別では男性の方が 58.1%と高くなっています。年齢別では 65～69 歳が 82.8%と高く、次いで 70～74 歳が 66.0%となっています。

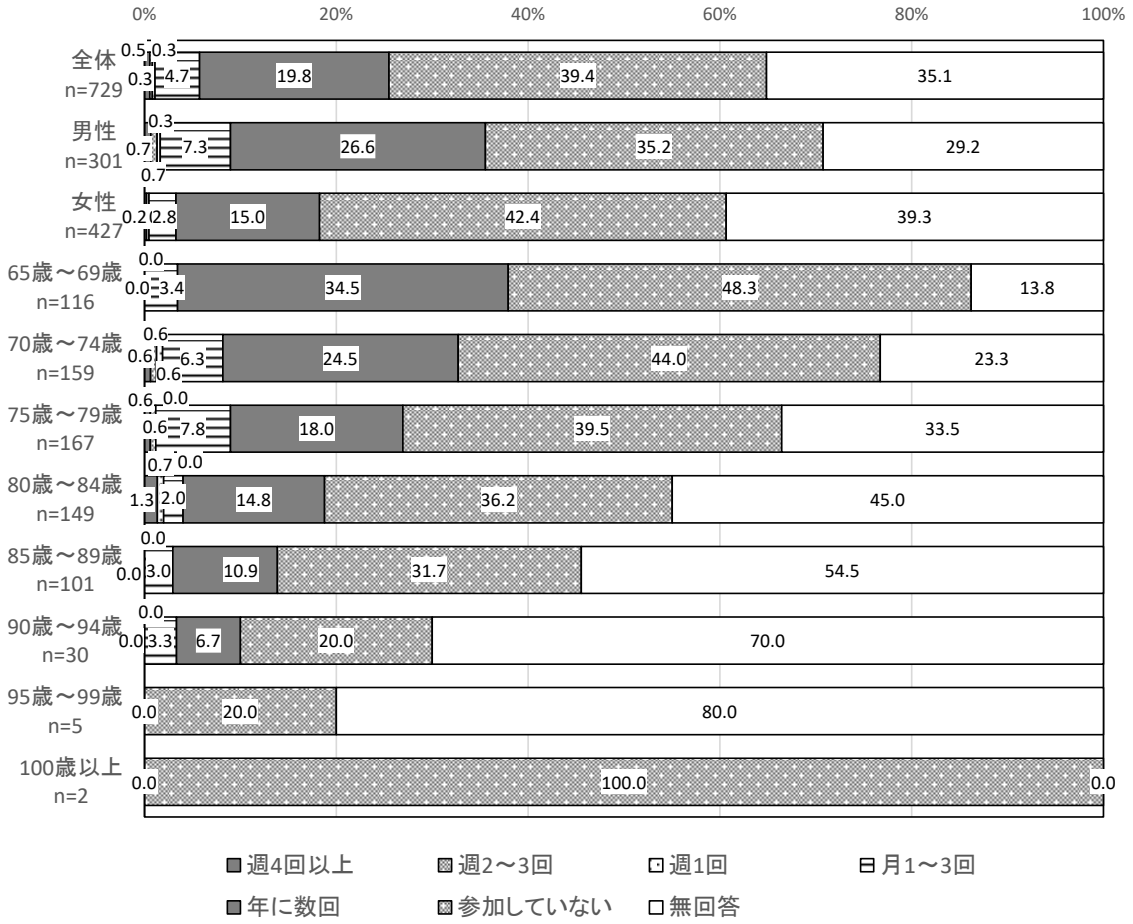
「週４回以上」から「年に数回」まで、頻度にかかわらず参加している割合が最も高いのは、年齢別では 90～94 歳（23.3%）となっております。



⑦ 町会・自治会

全体では、「参加していない」が 39.4%と最も高くなっています。

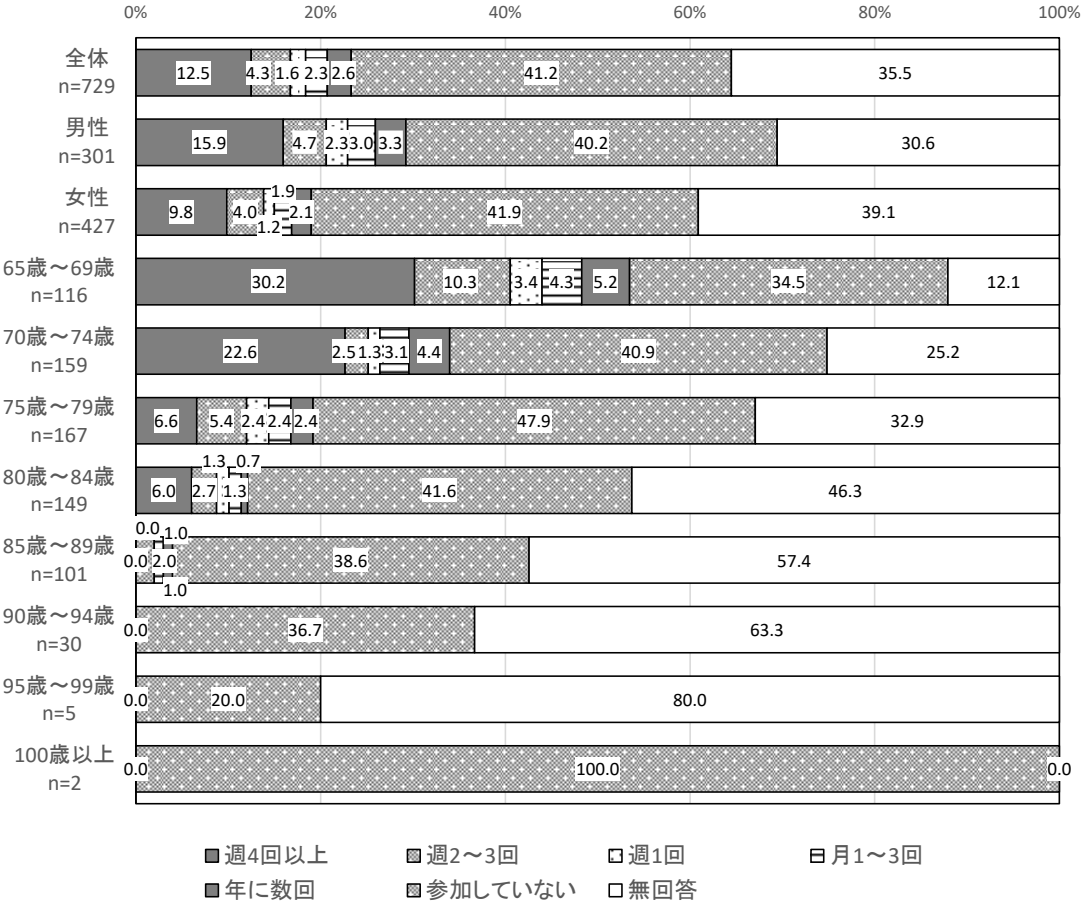
「参加していない」割合は、性別では女性の方が 42.2%と高く、「週４回以上」から「年に数回」までを合わせた参加の割合は男性が（35.5%）と高くなっています。年齢別では 65～69 歳が 37.9%と最も高くなっています。



⑧ 収入のある仕事

全体では、「参加していない」が41.2%と最も高くなっています。

「参加していない」割合は、性別では女性の方が 41.9%と高く、年齢別では 80～84 歳が 41.6%と高くなっています。また「週４回以上」の割合は、年齢別では 65～69 歳が 30.2%と最も高くなっています。

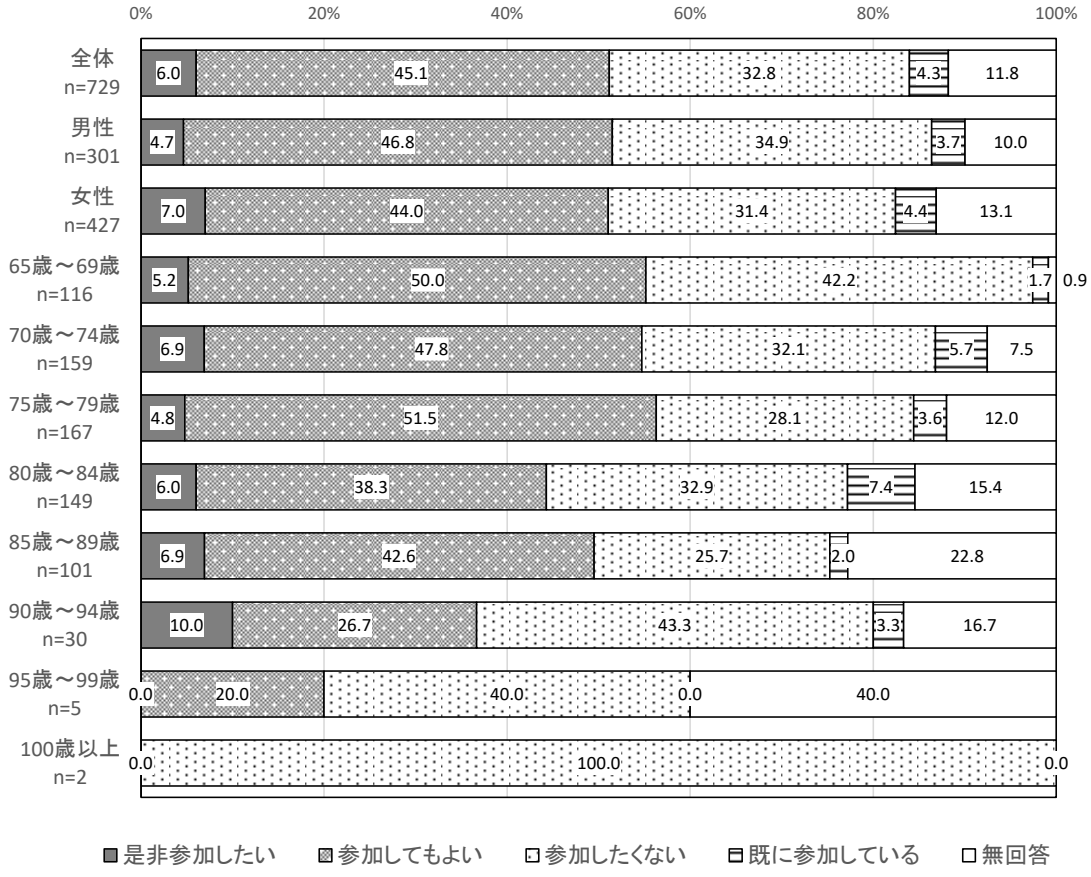


５－２．健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者としての参加意思

問 5－２：地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

全体では、「参加してもよい」が 45.1%と最も高くなっています。

「参加してもよい」と答えた割合は、性別では男性の方が 46.8%と高く、年齢別では 75～79 歳が 51.5%と最も高くなっています。

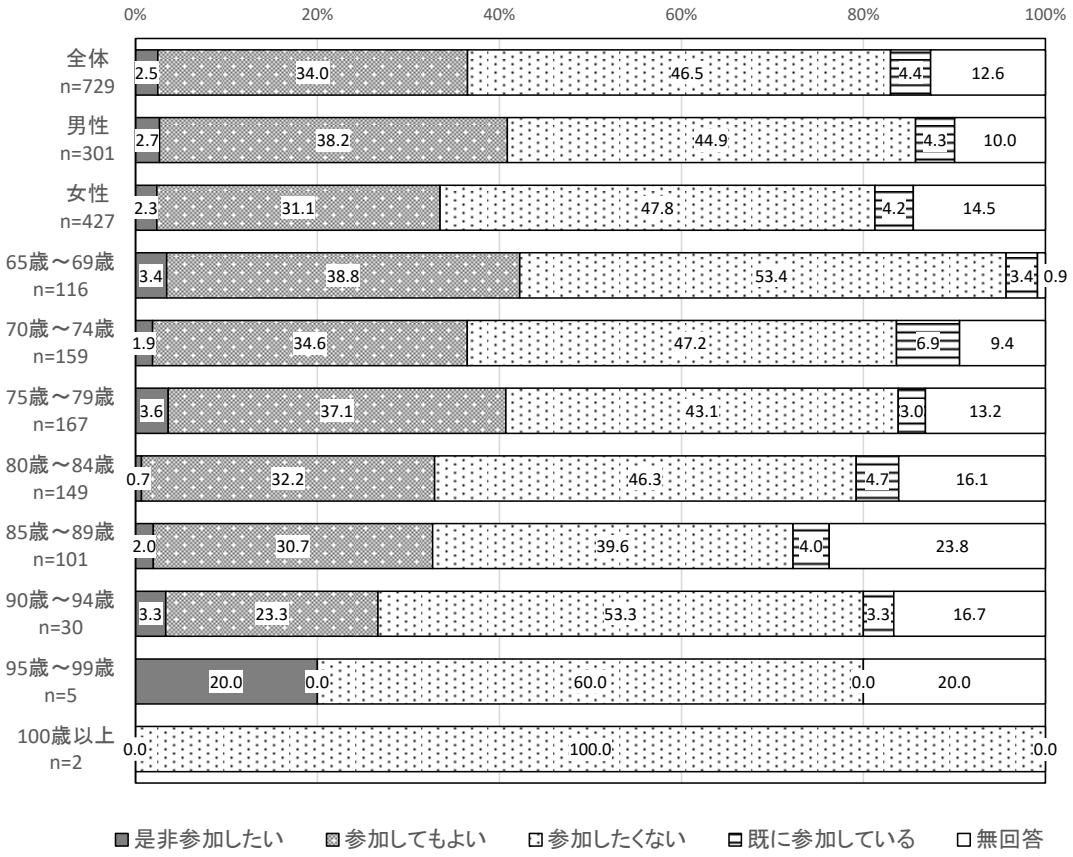


５－３．健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営としての参加意思

問５－３：地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

全体では、「参加したくない」が 46.5%と最も高くなっています。

「参加したくない」と答えた割合は、女性の方が 47.8%と高く、年齢別では 65～69 歳が 53.4%、90～94 歳が 53.3%となっています。



（６）たすけあいについて

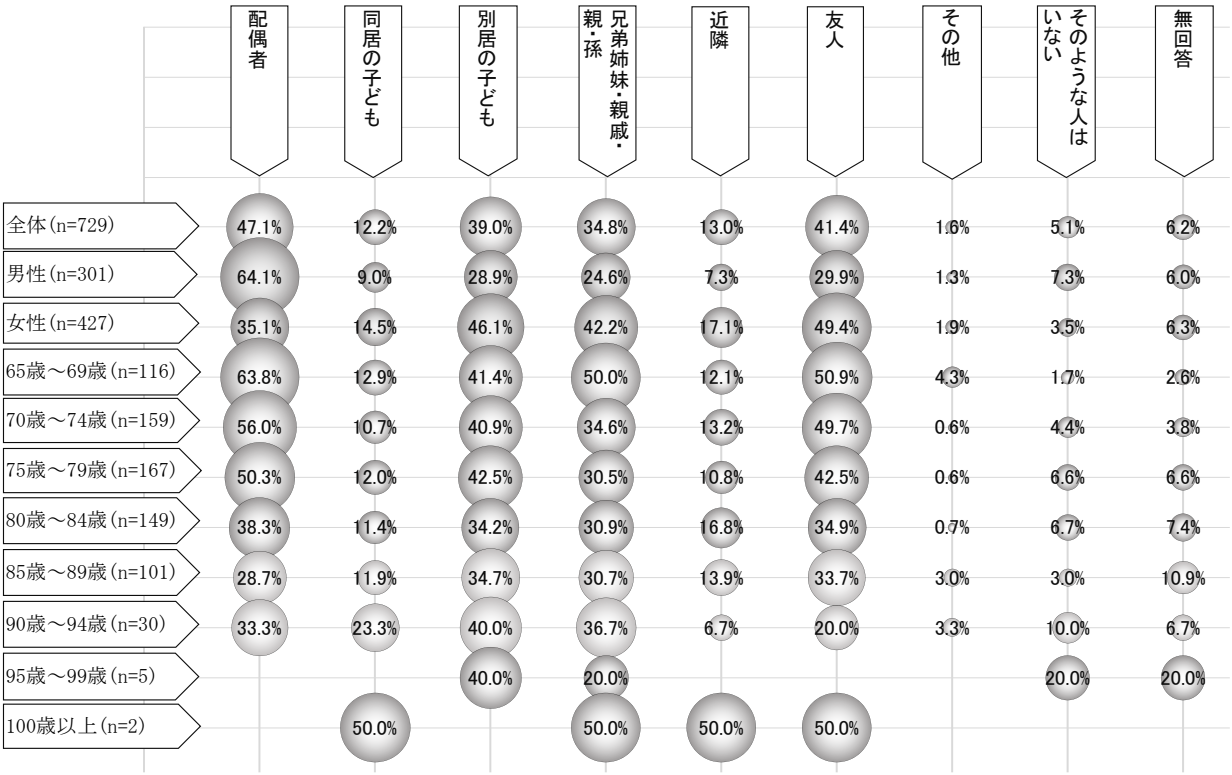
６．あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問６：あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

（以下の①～④、⑧の項目はいくつでも）

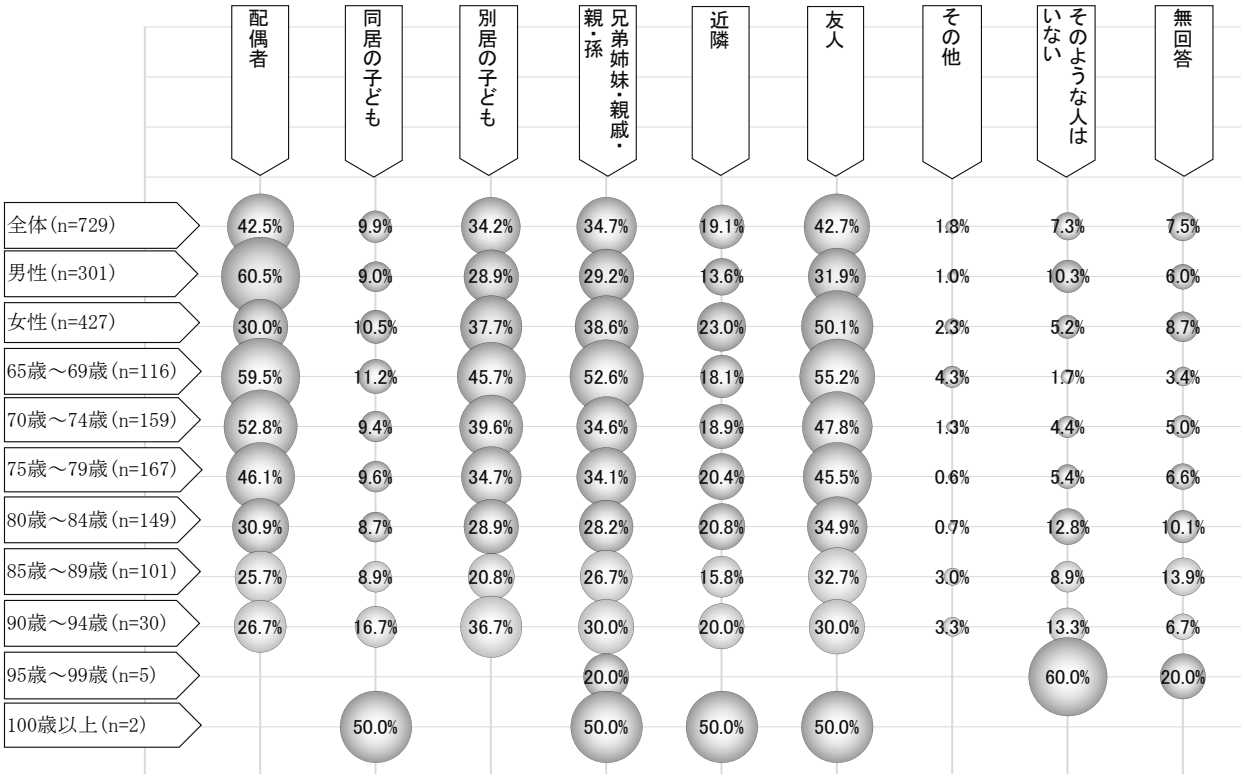
①　あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

全体では、「配偶者」が 47.1%と最も高く、特に男性で 64.1%となっています。
「配偶者」と答えた割合は、65～69 歳が 63.8%と最も高くなっています。



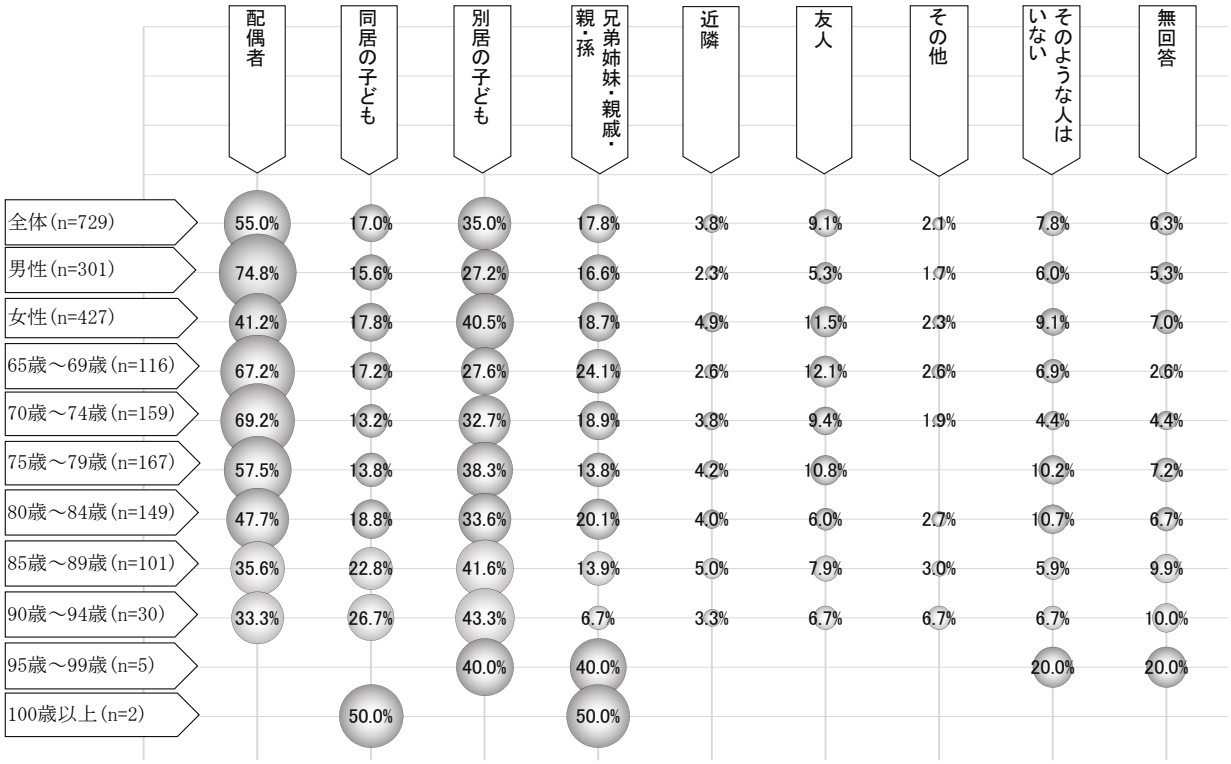
② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

全体では、「友人」と「配偶者」がほぼ同率で、それぞれ42.7%、42.5%と高く、性別では「配偶者」と答えた割合が男性の方が高く60.5%、女性は30.0%となっています。



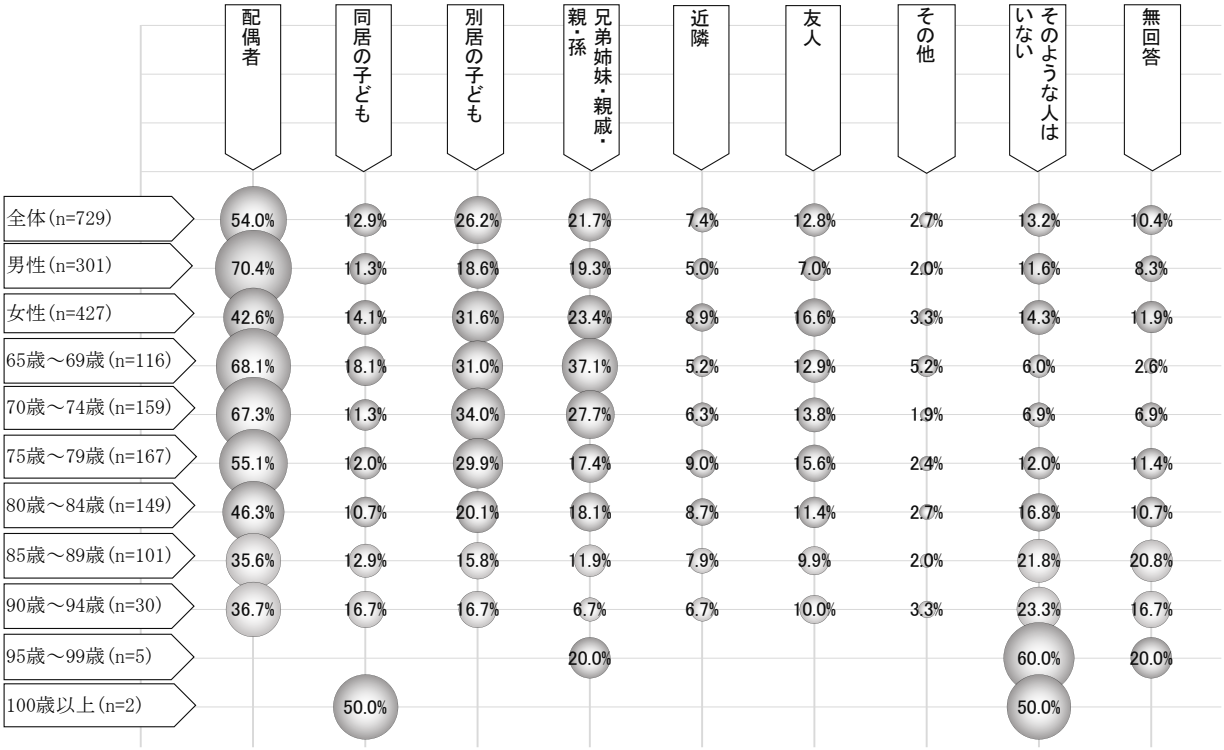
③　あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人

全体では、「配偶者」が 55.0%と最も高く、特に男性では 74.8%となっています。



④　反対に、看病や世話をしてあげる人

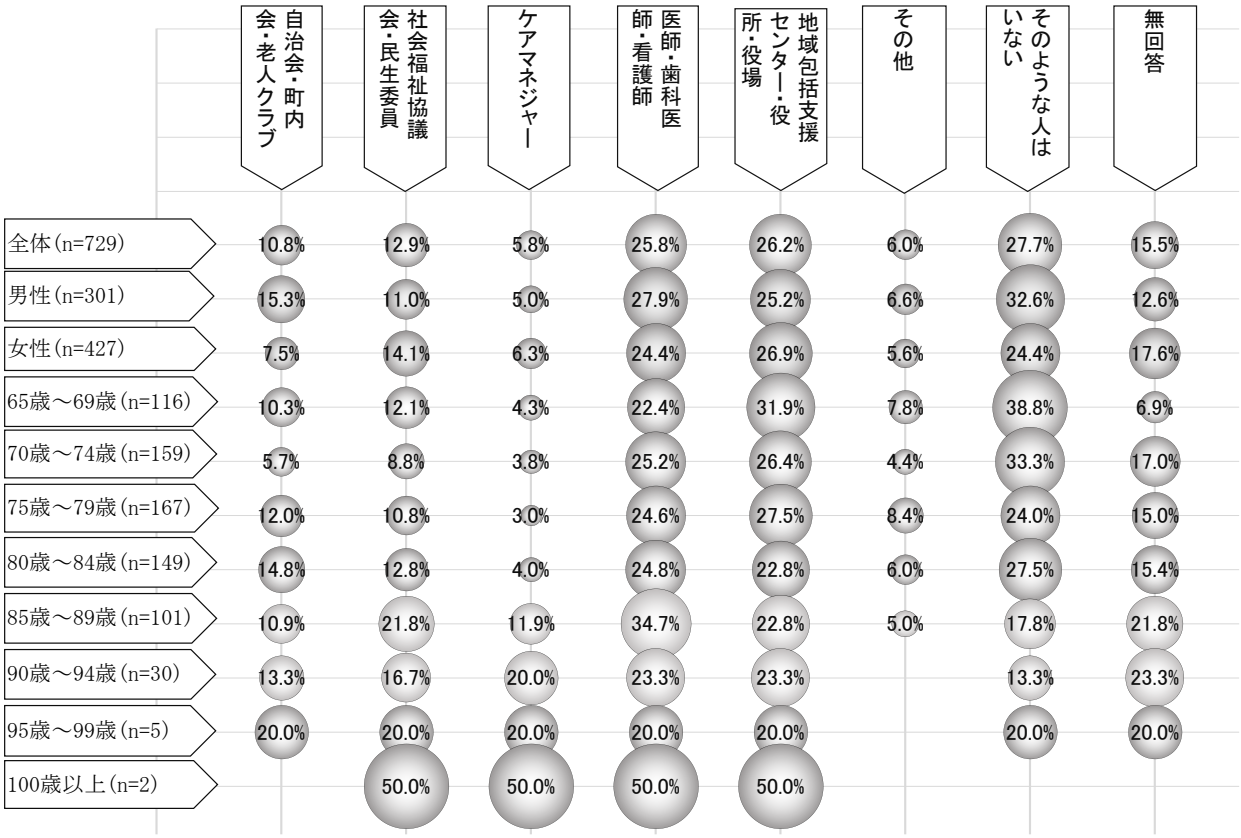
全体では、「配偶者」が 54.0%と最も高く、特に男性では 70.4%となっています。



⑤　家族や友人･知人以外で相談する相手

全体では、「そのような人はいない」が 27.7%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が 26.2%となっています。

「そのような人はいない」と答えた割合で最も高いカテゴリーは、65～69 歳となっています。

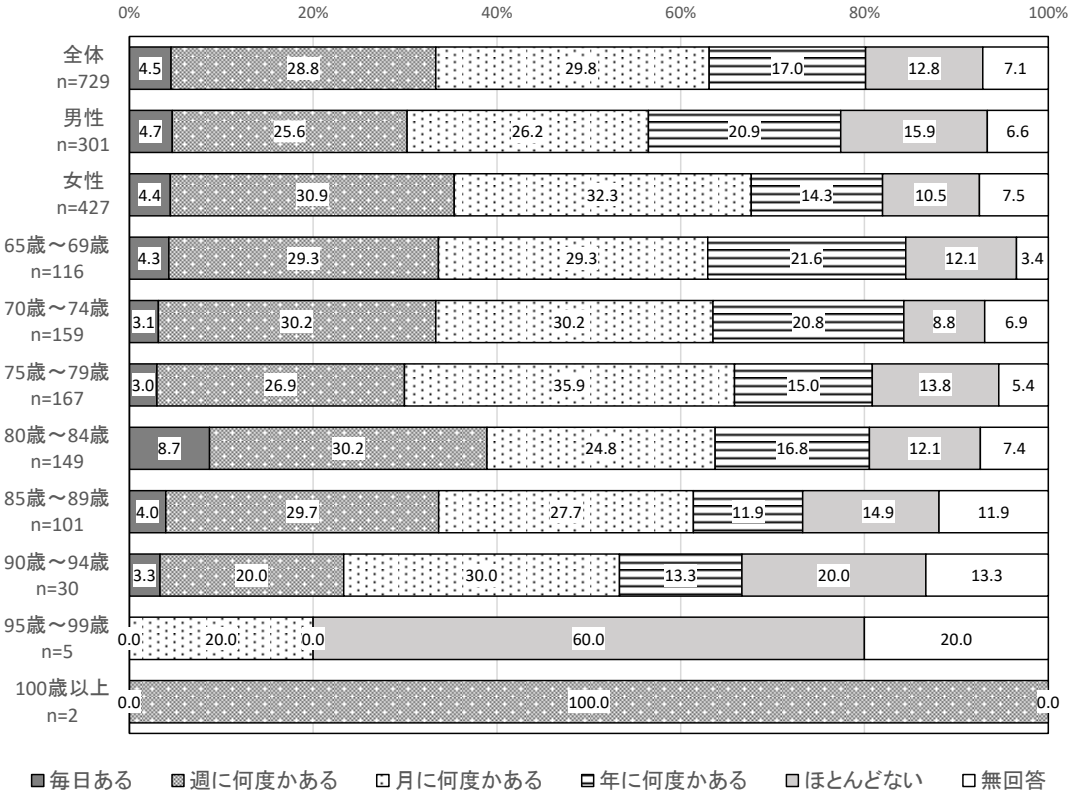


⑥　友人・知人と会う頻度

全体では、「月に何度かある」が 29.8%と最も高くなっています。

「月に何度かある」割合が、性別では女性の方が 32.3%と高くなっています。年齢別では 75～79 歳が 35.9%と最も高く、次いで 80～84 歳（27.5%）となっています。

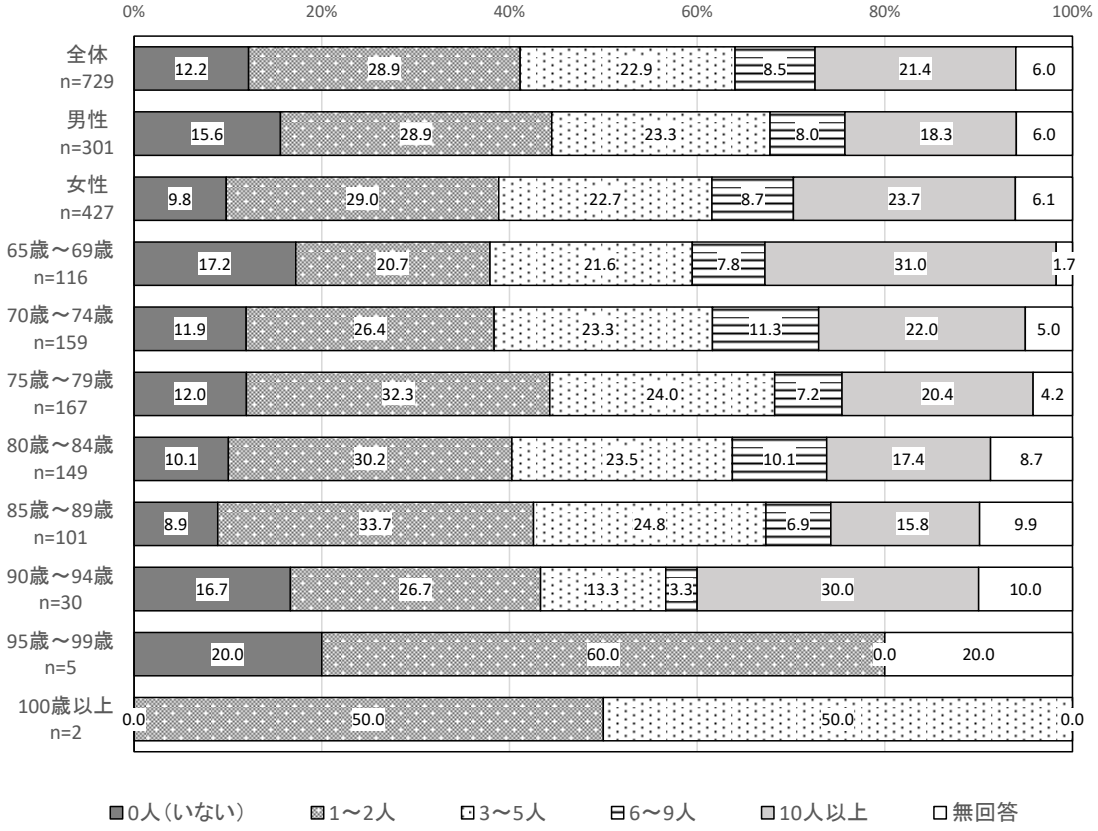
「ほとんどない」割合が最も高いのが、70～74 歳（30.2%）となっています。



⑦　この１か月間に会った友人・知人の数

全体では、「１～２人」が 28.9%と最も高く、次いで「３～５人」が 22.9%となっています。

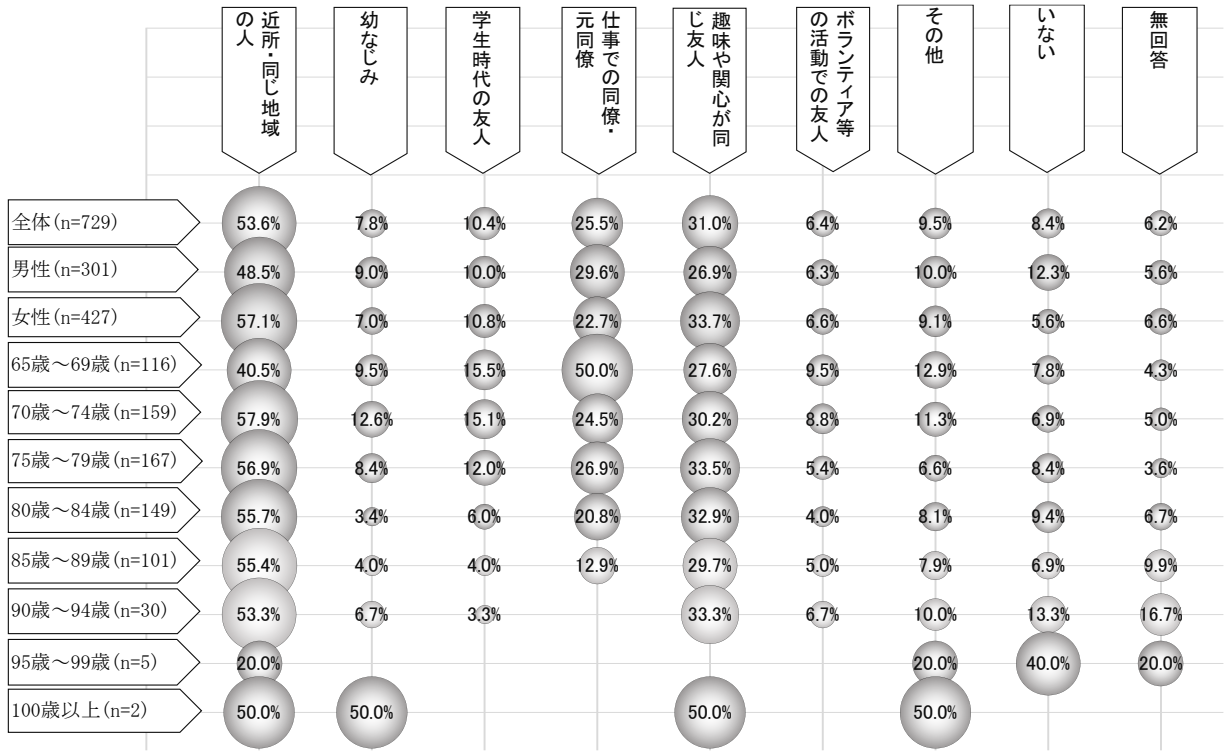
「10 人以上」の割合は、性別では女性の方が 23.7%と高く、年齢別では 65～69 歳（31.0%）となっています。



⑧　よく会う友人・知人との関係

全体では、「近所・同じ地域の人」が 53.6%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 31.0%となっています。

「仕事での同僚・元同僚」の割合が最も高いカテゴリーは 65～69 歳（50.0%）となっています。



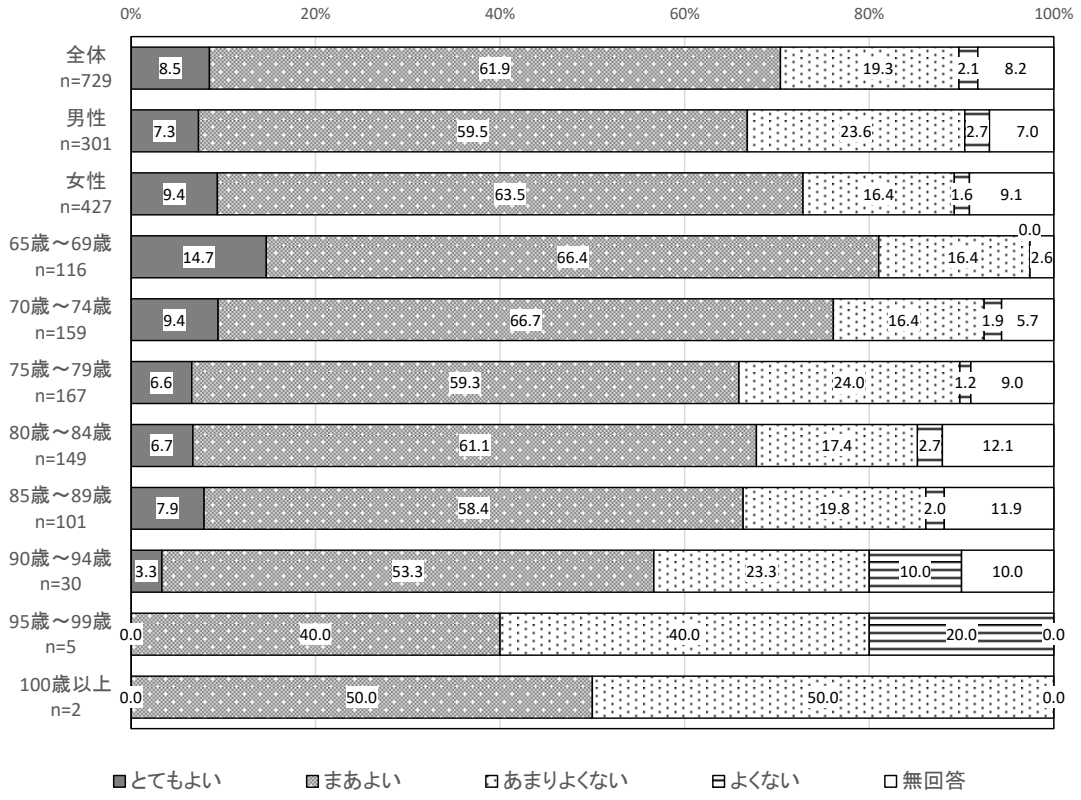
（７）健康について

７－１．健康状態

問 7-1：現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は１つ）

全体では、「まあよい」が 61.9%と最も高くなっています。

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた割合は、性別では女性の方が 72.8%と高くなっています。年齢別では 65～69 歳が 81.0%と最も高く、次いで 70～74 歳が 76.1%となっています。

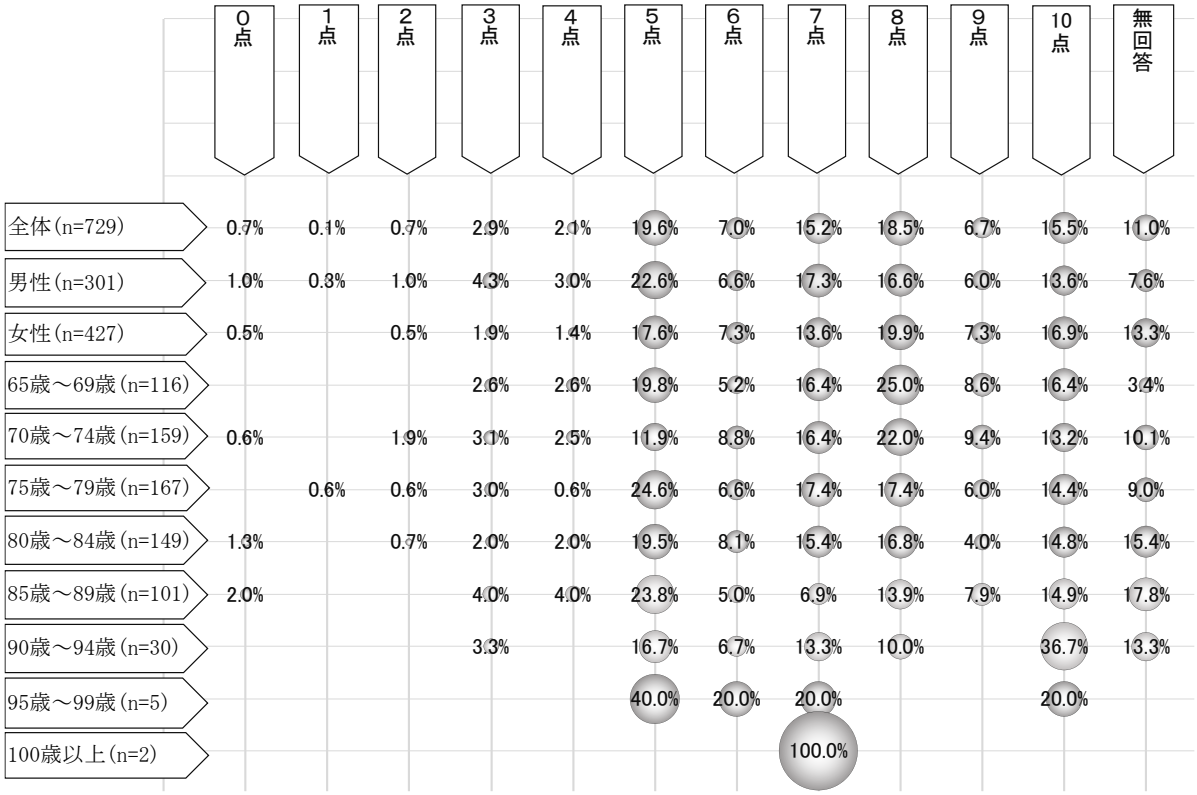


7-2．幸福度

問 7-2：あなたは、現在どの程度幸せですか。（点数に○）

全体では、「5 点」が 19.6%と最も高く、次いで「8 点」（18.5%）となっています。

「10 点」の割合が、性別では女性の方が 16.9%と高く、年齢別では 90～94 歳が 36.7%と最も高くなっています。

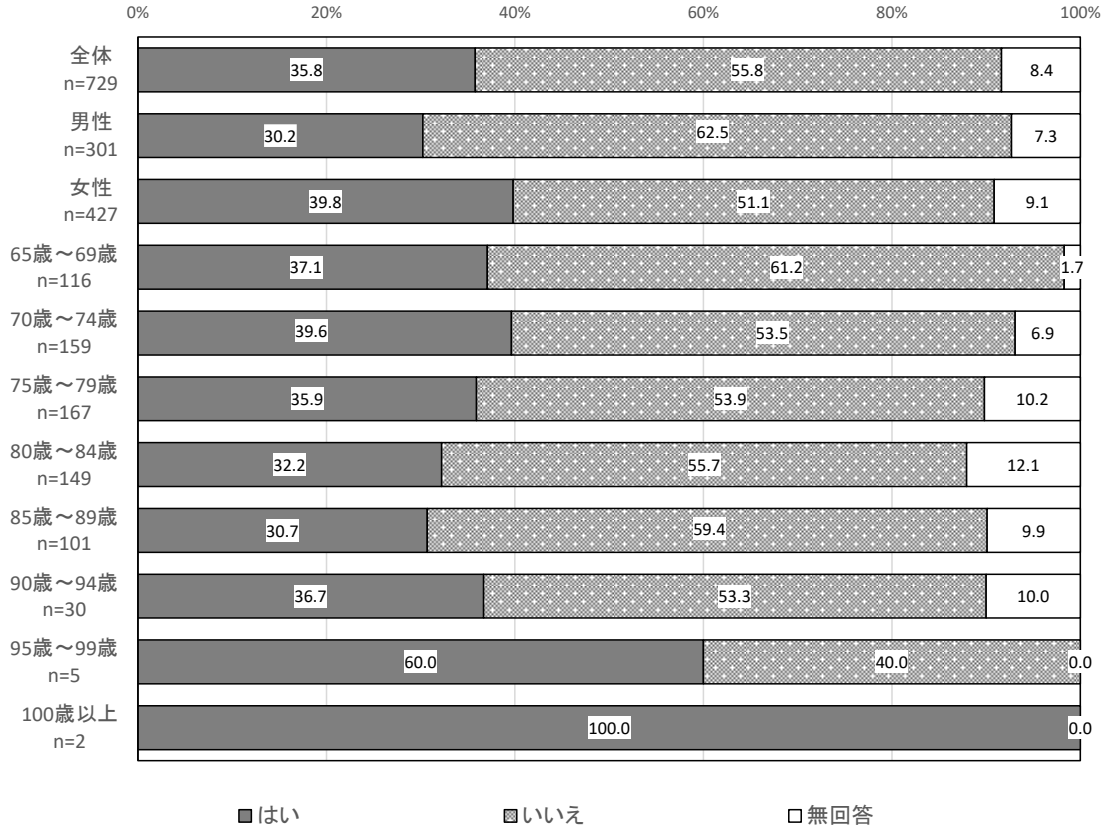


7-3．気分が沈んだりすることがあったか

問 7-3：この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は 1 つ）

全体では、「いいえ」が 55.8%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が高く 39.8%となっており、年齢別では 70～74 歳が 39.6%と最も高く、次いで 65～69 歳が 37.1%となっています。

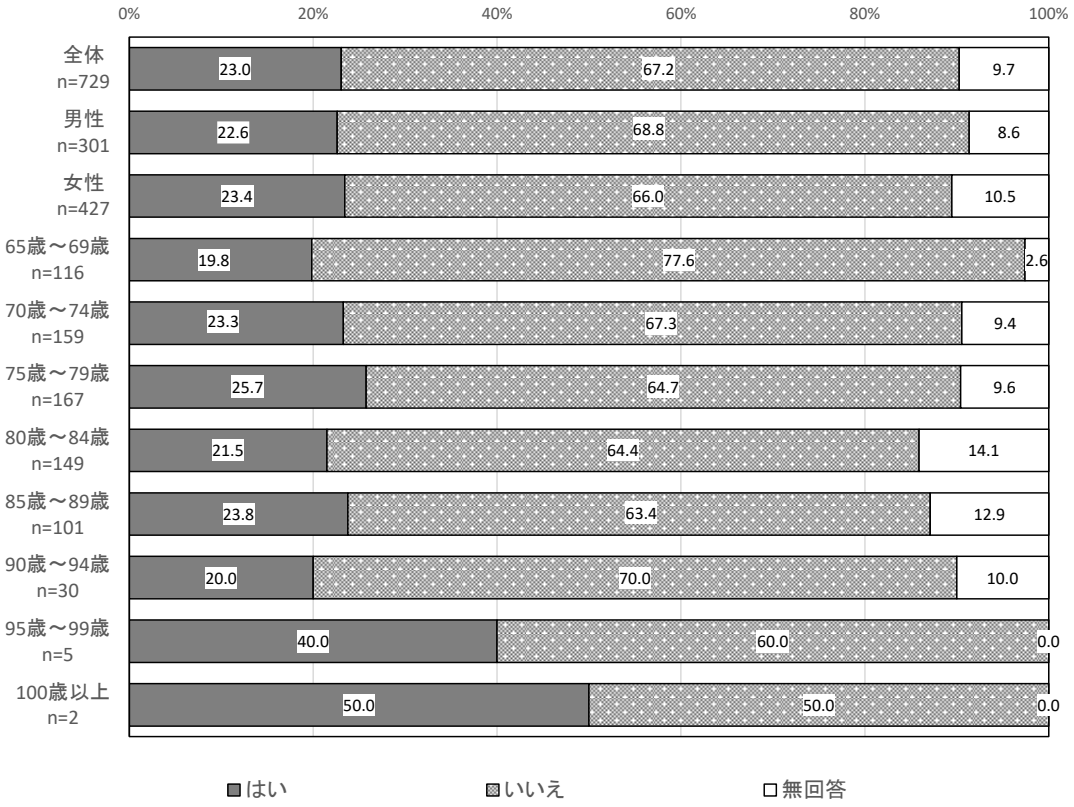


7－4．興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか

問7－4：この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）

全体では、「いいえ」が67.2%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では女性の方が23.4%とわずかに高くなっています。年齢別では75～79歳が25.7%と最も高く、次いで85～89歳が23.8%となっています。

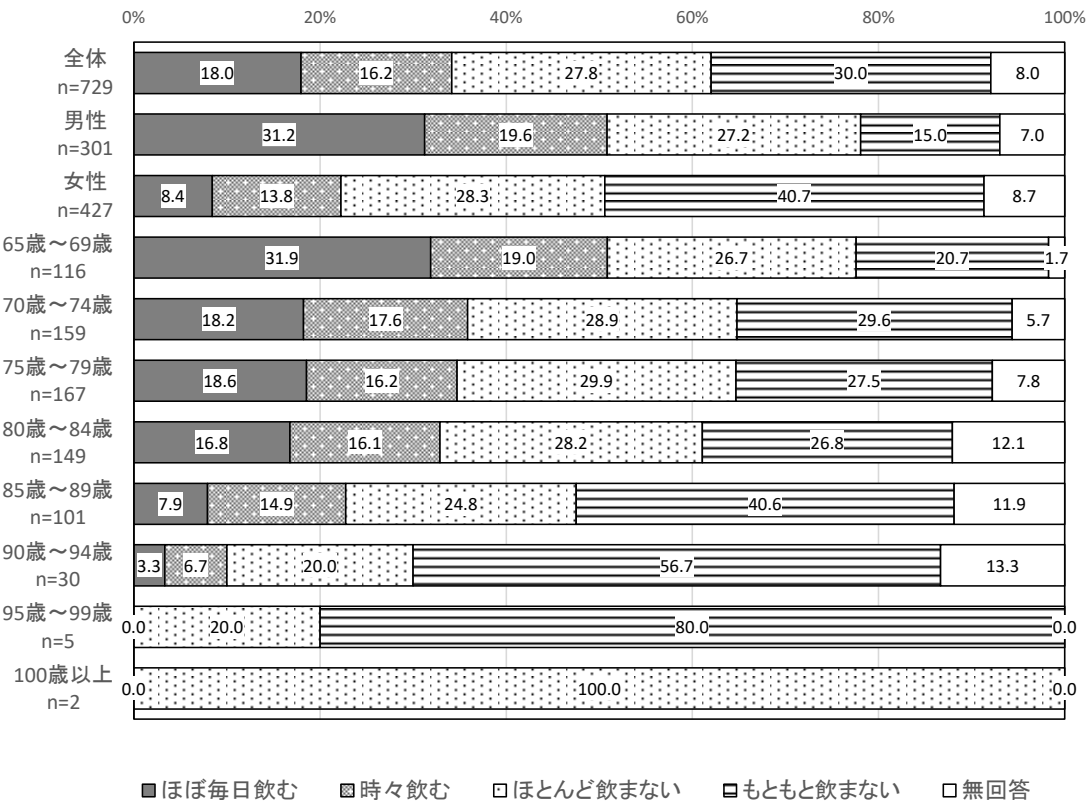


７－５．飲酒

問７－５：お酒は飲みますか。（○は１つ）

全体では、「もともと飲まない」が 30.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 27.8%となっています。

「ほぼ毎日飲む」割合が、性別では男性の方が 31.2%と高く、女性は 8.4%と大きな差となっています。年齢別では 65～69 歳が 31.9%と最も高くなっています。

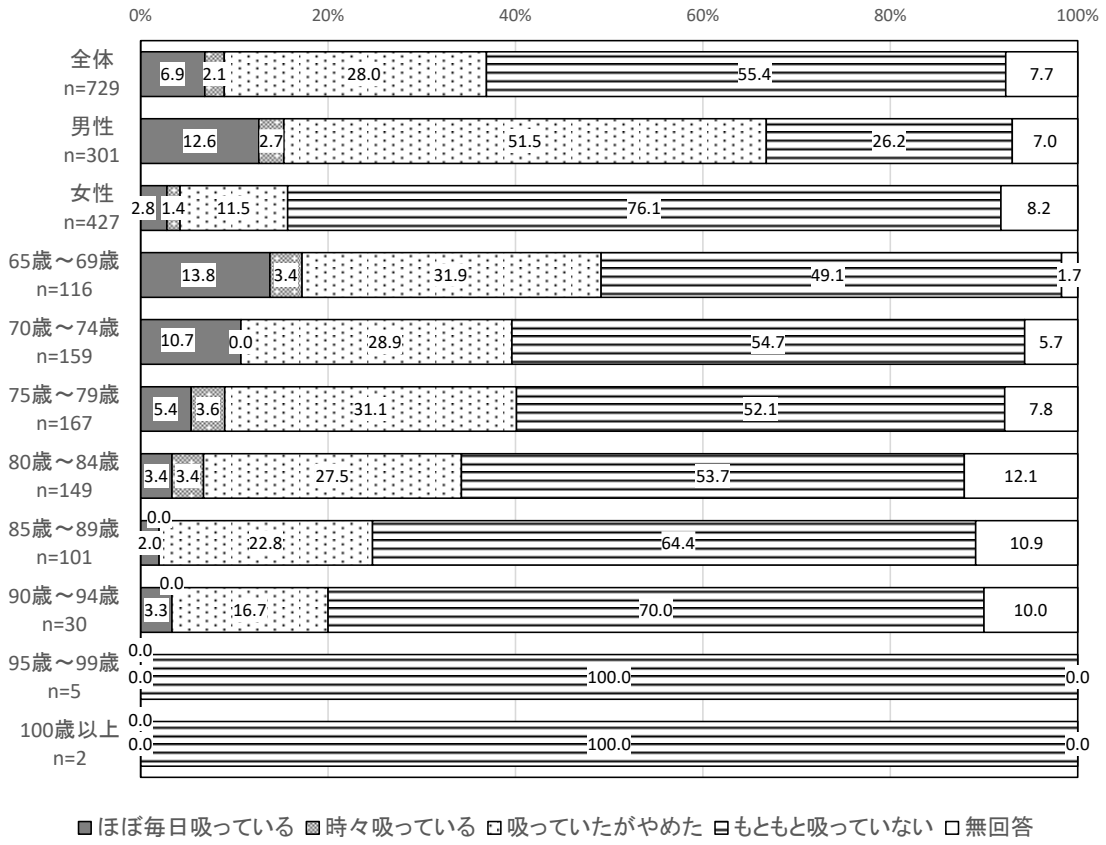


7－6．喫煙

問７－６：タバコは吸っていますか。（○は１つ）

全体では、「もともと吸っていない」が 55.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 28.0%となっています。

「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」、「吸っていたがやめた」を合わせた割合は、性別では男性が 66.8%、女性が 15.7%と大きな差となっています。年齢別では 65～69 歳が 49.1%と最も高くなっています。

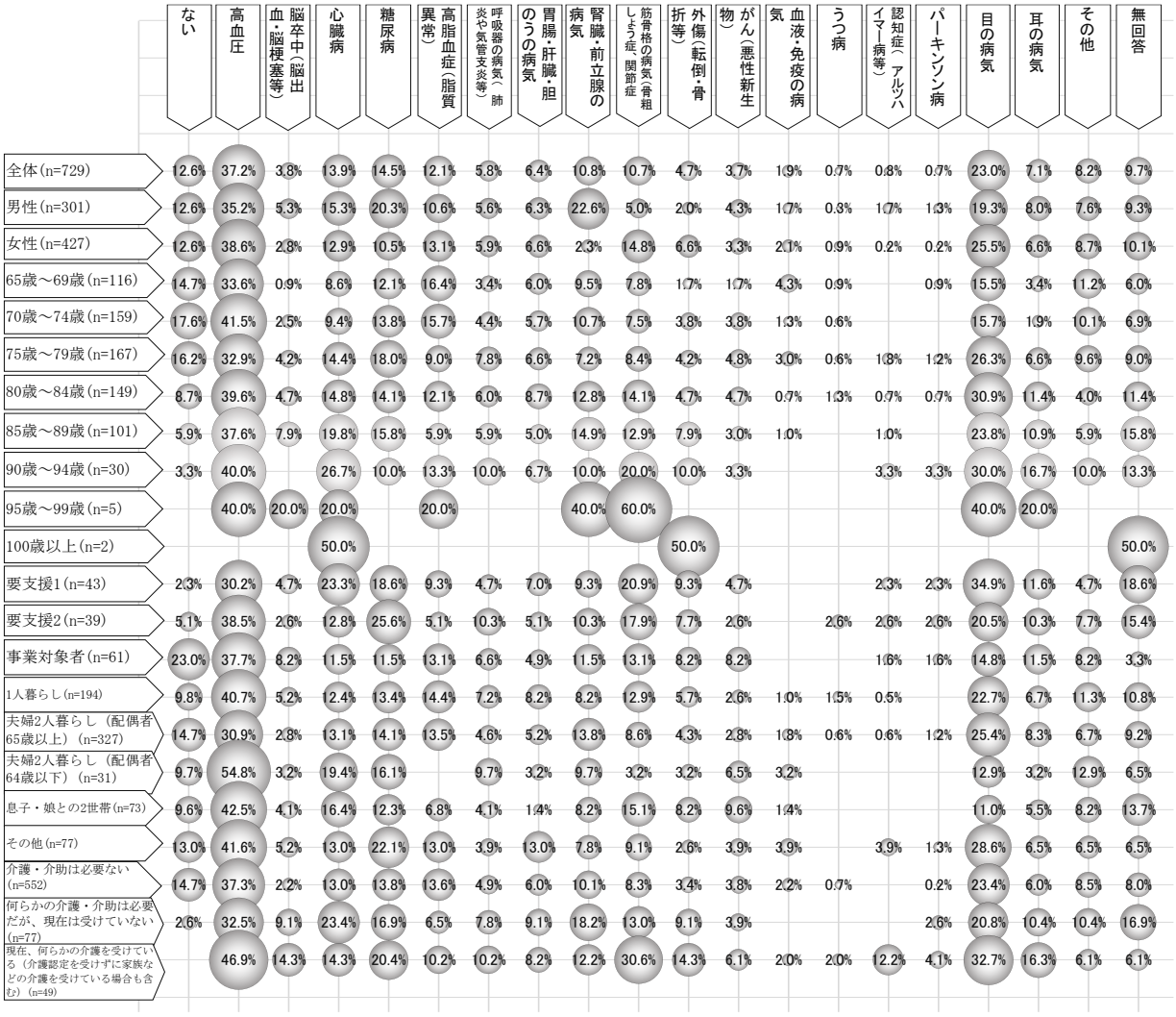


7－7．治療中、または後遺症のある病気

問７－７：現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

全体では、「高血圧」と答えた方が 37.2%と最も高くなっています。

「高血圧」と答えた割合は、性別では女性の方が 38.6%と高くなっています。年齢別では 70～74 歳が 41.5%と最も高く、次いで 80～84 歳が 39.6%となっています。



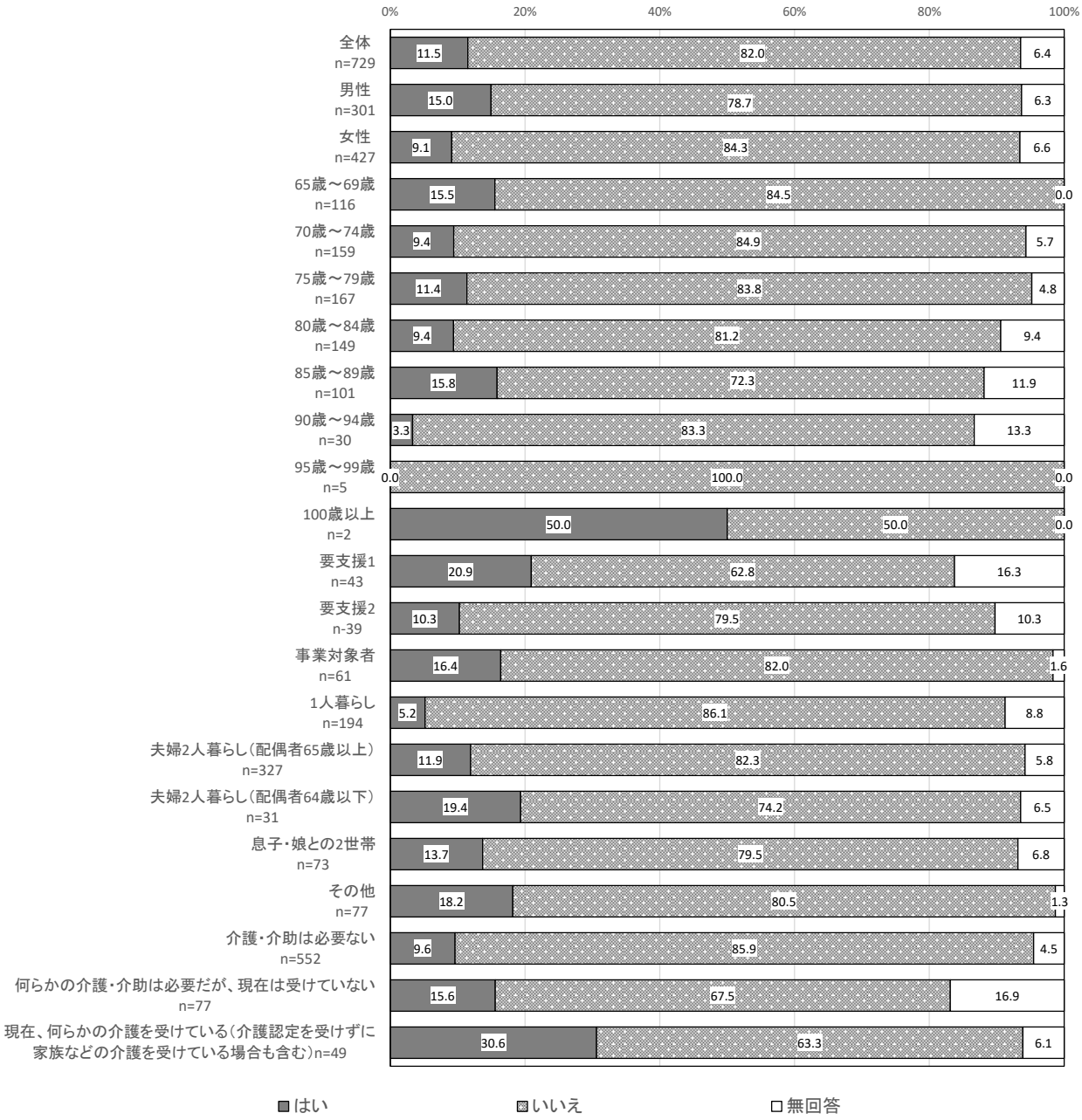
（８）認知症にかかる相談窓口の把握について

８－１．自身や家族に認知症の症状があるか

問８－１：認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 82.0%となっています。

「はい」と答えた割合は、性別では男性が 15.0%と高くなっています。年齢別では 85～89 歳が 15.8%と最も高くなっています。

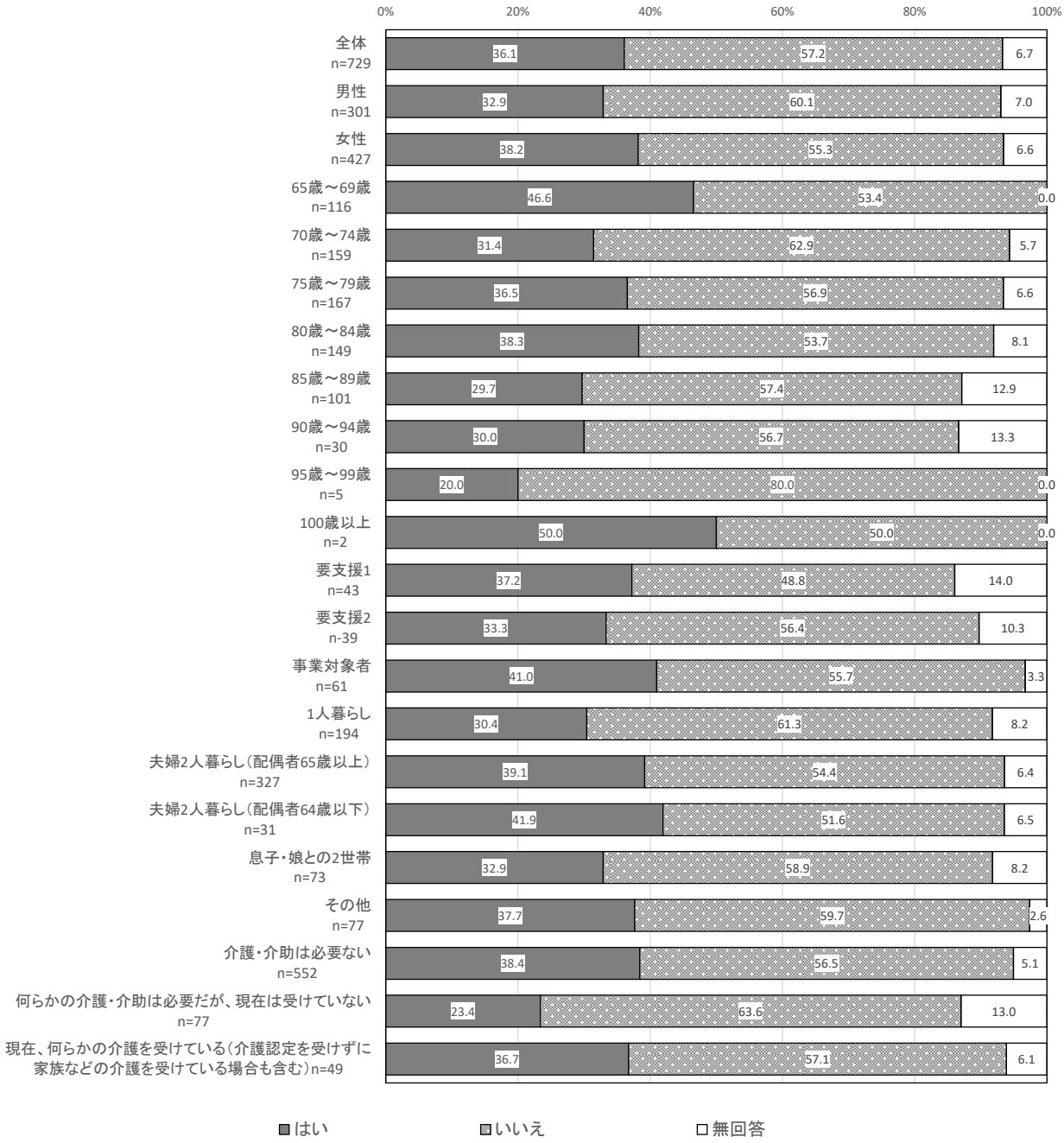


8－2．認知症に関する相談窓口を知っているか

問８－２：認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 57.2%となっています。

「いいえ」と答えた割合は、性別では男性の方が 60.1%と高くなっています。年齢別では 75～79 歳が 62.9%と最も高くなっています。



（９）健康福祉センターからの追加調査について

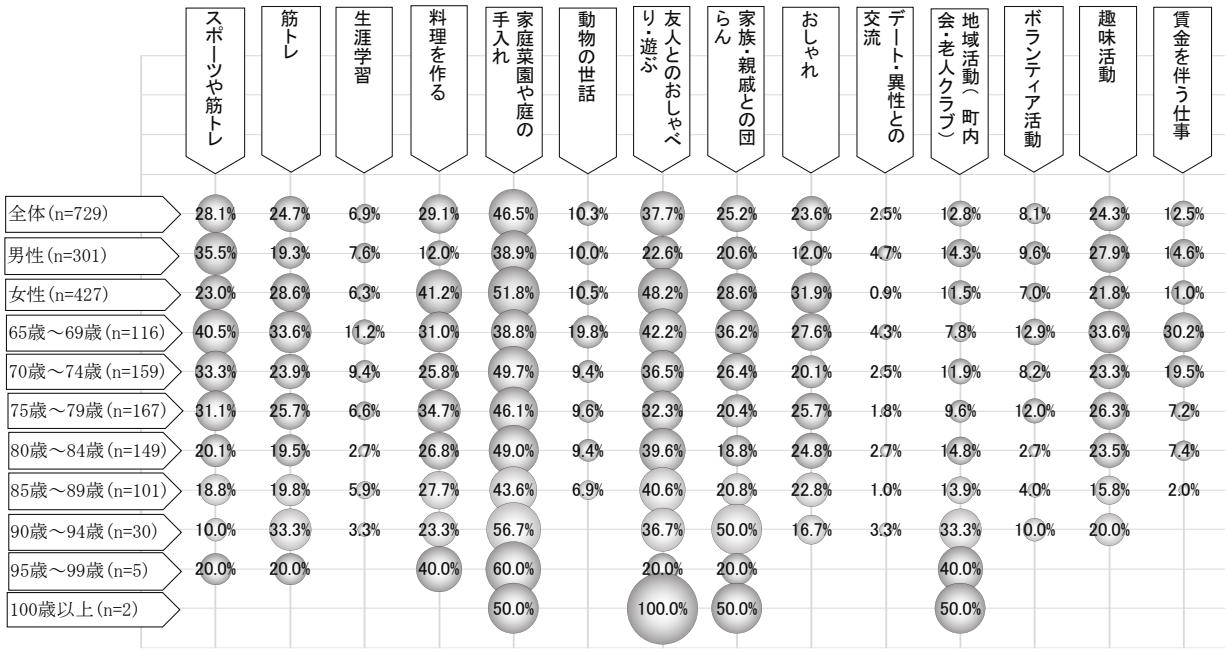
９－１．いつまでも元気ではつらつと暮らすために興味のあること

問９－１：いつまでも元気ではつらつと暮らすために興味のあることは何ですか

（○はいくつでも）

全体では、「家庭菜園や庭の手入れ」が 46.5%と最も高くなっています。

「家庭菜園や庭の手入れ」に次いで、「友人とのおしゃべり・遊ぶ」が、性別では女性（48.2%）が高く、年齢別では 65～69 歳（42.2%）が最も高くなっています。

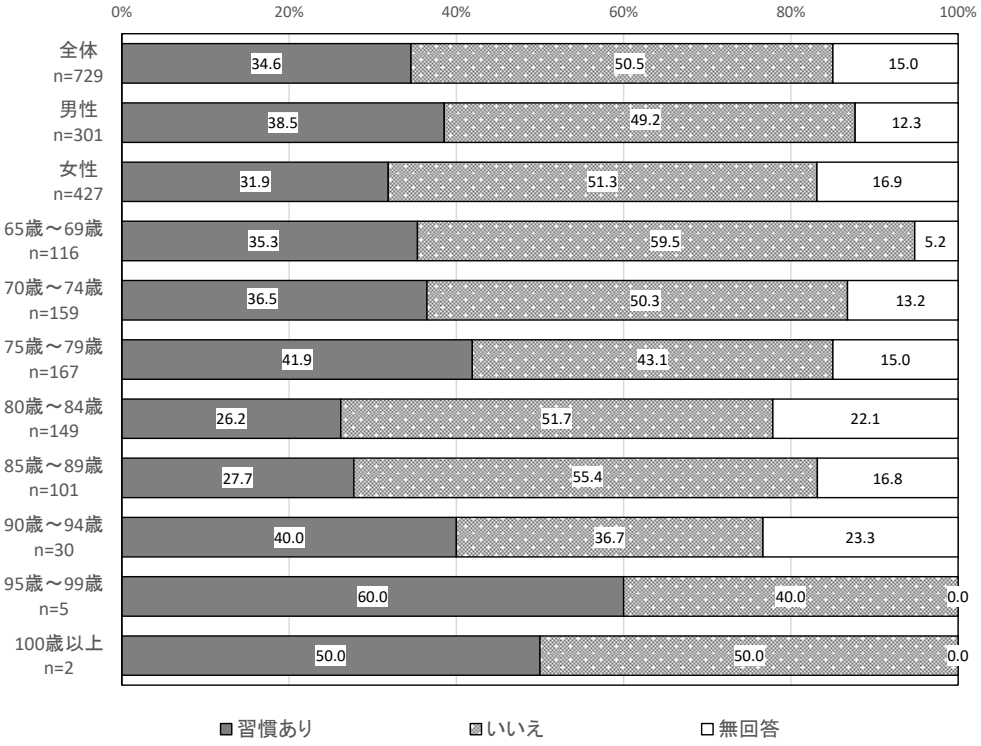


９－２．運動する習慣はあるか

問９－２：運動する習慣はありますか（○は１つ）

全体では、「いいえ」が 50.5%となっています。

「ある」と答えた割合は、性別では男性の方が 38.5%と高く、女性は 31.9%となっています。年齢別では 75～79 歳が 41.9%と最も高く、次いで 90～94 歳が 40.0%となっています。



☆問 58 において「習慣あり」と回答された方にお伺いします。

９－２．①運動する習慣（一部抜粋）

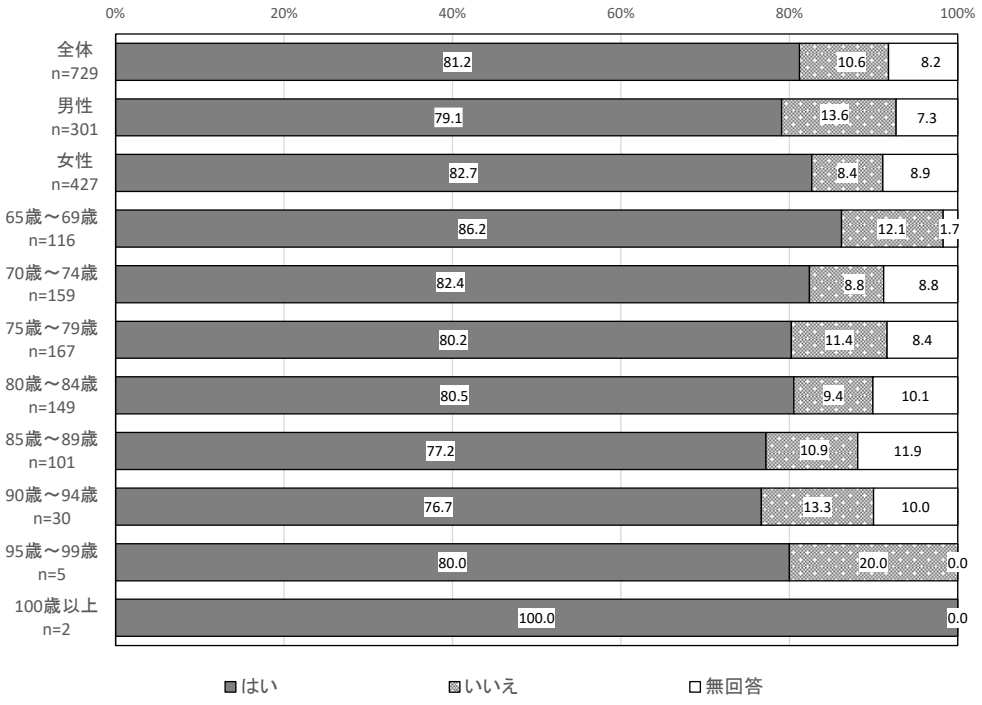
ウォーキング、体操、ストレッチ、ソフトテニス、バトミントンスキー、登山、釣り、ゴルフ、パークゴルフ、マラソン、ジョギング、筋トレ、太極拳、自転車、ヨガ、卓球、バランスボール、カーリング、ゲートボール、犬と散歩、など多岐に渡っています。

9-3．食事を１日３回食べる習慣があるか

問９-３：食事を１日３回食べる習慣がありますか。（○は１つ）

全体では、「ある」が 81.2%となっています。

「ある」と答えた割合は、性別では女性の方が 82.7%と高く、男性は 79.1%となっています。年齢別では 65～69 歳が 86.2%と最も高く、次いで 70～74 歳が 82.4%となっています。

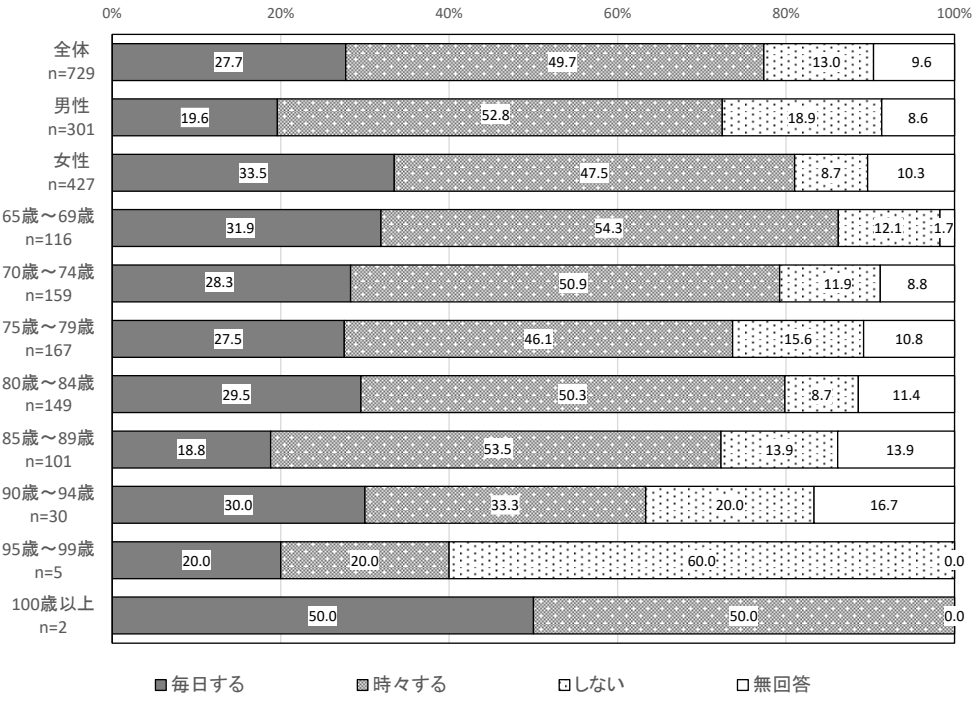


9-4．間食はするか

問9-4：間食はしますか。（○は1つ）

全体では、「時々する」が49.7%となっています。

「毎日する」と答えた割合は、性別では女性の方が33.5%と高く、男性は19.6%となっています。年齢別では65～69歳が31.9%と最も高く、次いで90～94歳が30.0%となっています。



☆問9-4において「毎日する」「時々する」と回答された方にお伺いします。

9-4．①間食の内容（一部抜粋）

和菓子、洋菓子、パン、アイス、チョコ、煎餅、ナッツ類、果物、麺類、駄菓子、ヨーグルト、チーズ、のど飴、ピザトースト、ドライフルーツなどの他、軽食という回答もありました。

（10）介護保険制度に関して、意見・要望

10. 介護保険制度に関して、意見・要望（一部抜粋）

問 10：介護保険制度に関して、意見・要望がありましたらご自由にご記入ください。

・独居で自立できなくなった時、在宅か施設かの選択ができない状況である事が残念です。

・とても良い制度ができたと思う。経済的弱者も遠慮なく使える制度であれば良いと思う。必要な人に届く制度になるように。

・介護保険制度があるから、いざ困った時に安心できる。

・介護保険には加入しているが、制度やサービス等の知識がない。介護が必要になった時、何をすればいいのかわからない。勉強できる機会があれば参加したい。

・介護の認定の基準が理解できない。どうしたら認定される？介護保険を払っているのに、入院したら何ももらえず死ぬ人がたくさんいるのはどうしてなのか？払い損にならない為にはどうしたら良いのか？

・無駄のないよう、大切に使いたいです。

・幸い普通に暮らせる事に感謝していますが、いつ何が起こるかわかりませんので、自分でできる限り予防をして過ごしています。

・介護保険制度は国が定めた制度であり、私達は支払う義務がありますが、勝手に決められた事なので、還付金の様なものがあっても良い気がする。

・買物の時、利用できる車があると助かります。

・現在施設等に関心がなかったが、今後どのような状況になるのかを見聞きして、今後の参考にしたい。

・アンケートを記入してみて、いざとなった時どこに相談して良いかわからな事が不安になった。

・記入中、自らいろんな事（地域活動等）に参加が必要だと思いました。免許がないので参加する為の交通手段がなく、つい億劫で家にこもりがちです。

・介護保険の対象になる前に、運動や、病気の早期発見、早期治療に前向きになれば保険対象者はまだまだ減り財政的にも今よりゆとりができるのではないのでしょうか。

・介護従事者による虐待のニュースを耳にする事が多くなり、被介護者になった時のことが心配です。介護従事者の待遇改善がなされ、双方が不安なく過ごせる環境を作ってもらいたい。

・介護保険料が高額。軍事費を減らし、子育てや社会保障費に充てるべき。

・現在は介護保険を受けてはいませんが、いつ受ける事になっても不思議ではありません。よろしくお願いします。

・年金で暮らしている老人ですが、介護保険料が高すぎる。まだ一度も使っていないのに、異常だ！

・一人暮らしには不安が伴います。普段元気でも急な病気の時、家事支援を受けられませんか。掃除、洗濯、ペットの世話、食事作りなど。

・年金の額に対して保険料が高い。

・現在、元気にしており気にはしていませんでしたが、自分や夫が介護が必要な場合、窓口がわからない事に気づきました。

・現在、介護や介助の必要性は無く生活していますが、必要となる状況は目前に迫っていると感じています。保険制度の内容等には、在宅サービス、施設サービスの大別しかわかりません。

・年金のみの生活は、経済的に大変です。

・将来、介護施設に入所の時、待ち年数が長いと困る。認定もだんだん厳しいようなので不安。なるべく長く、在宅で暮らしていきたいが、いろいろなサービスを受けられるのだろうかと不安です。

・高い保険料を払っても、自分はその保険料を使用できるのかが問題。突然に亡くなった場合は、掛けた保険料はどうなる？

・透析の為自分の車を使っている。利用者に交通費の援助は無いのでしょうか？

・その立場にならないと制度の理解は難しいと思います。制度の周知、相談の窓口等は定期的開催を今後も続けて頂けると幸いです。

・現実に介護保険制度を使うにあたって、スタートの時からの具体的な例をたくさん知りたいです。シンプルにわかりやすくして欲しいと思います。

・自分で物事ができなくなれば、施設入所を考えていますが、テレビや新聞等で多発している虐待等が不安です。農業なので、多忙な家族に迷惑をかけたくない気持ちです。ただ、入所について看護需要が全くわからない不安です。

・今まで利用の機会がなかったので、使用の仕方がわからない。

・調査結果を集計したら、調査を依頼した人、または町民に知らせて欲しい。

・あまり内容がわからないので、少し勉強する機会があったら出席してみたい。

・この町の人達が何に苦しんでいるのか、何を求めているのか、どこをどのように変えていったらいいのか、もっと住民の声を聞き入れて頂きたいです。

・独居老人です。これから迎える、避けられない老いに、介護を受ける不安を感じています。

・自分の家族が介護を必要とした時に要望が出てくるのかと思います。

・介護が必要になった時に、何が利用できるのか？どこに相談したらいいのか？わからないので、どうしたら良いのでしょうか？

・町の広報誌で、問答集などの形で介護保険制度について掲載してはどうか？

・自分が介護を受けた時の金額がいくらなのか？保険の支払いがいくらなのか？

・介護保険がどのように使われているのか、よくわかりません。

・年をとって行く毎に何かとお世話になる事が多くなると思いますが、少しでも長く身の周りの事は自分でやって行きたいと思っています。

・使える範囲を広く取って欲しい。介護度を得るまでのハードルが高すぎる人もいる事を知って欲しい。

・老人施設の中身を知りたい。見学したい。

・いつでも、困った時には電話で相談できると思っていますので、安心して心強い思いでいます。

・徐々に保険料が上がっていき、将来不安。

・介護保険制度の内訳など、詳しく資料などは欲しい。

・認知症は明日は我が身の精神で、世間体とかプライドとか気にせず、本音で語り合える場所は地域の人達の支え合う力は大変大きいと思います。

・どこで相談したり、聞いたりすることがわからない。

・本当に何を望んでいるのかを知り、住民生活に目を向けて欲しい。

・健康福祉センターの管制の役所の皆さんが、私は一番大変な立場にいる人だと思いました。

・具体的な事はまだ考えていません。

・80 歳過ぎたら希望する介護を利用できる様にして欲しい。

・何もわからない。どうなるかも不安があります。毎日生活していく事も大変なのに、まだ考えられない。

・80 歳以上の高齢の私達について、時々電話でもいいし、生活情報について意見交流があれば理想的です。

・本来、必要のない人に対して、介護保険を使用している実態があります。

・皆様とても優しく接してくださり、感謝しております。

・介護保険は必要かどうか。人口が減少している現在、財政が苦しくなっていると思うので、人口が増える政策が必要。

・どのような時に介護保険が使用されるのか良くわかりません。どのような人にお聞きすると良いのですか？

・コロナ禍でできなかった脳の検査、口腔がんの検査や認知症のテスト、検査する方法などを考えてもらいたいと思います。

・福祉バスを１年半くらい前より利用させていただいております。とても助かっています。

３ 調査のまとめ

（１）家族や生活状況について

●本調査への回答者は、年齢は 70 代が最も多く、家族構成は夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）が最も多い。
●介護・介助は必要ない方が 75.7%と最も多い。
●何らかの介護を受けている回答者の中で、配偶者（夫・妻）の介護、介助を受けている方は 28.6%と最も多い。

（２）からだを動かすことについて

●日常的な動作の各項目について、女性の方が「できない」「不安」との回答が多く、外出頻度も女性の方が少ない傾向にある。
●外出を控えている理由としては、全体を通して足腰の痛みとの回答が多い。

（３）食べることについて

●入れ歯の手入れについて、毎日している方は 89 歳以上で９割を超えている。
●半年間で体重減少があった方の割合は、95～99 歳で最も高くなっている。
●共食の機会がほとんどない方の割合が高いのは、90 代以上である。

（４）毎日の生活について

●食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れなどについては女性の方が出来る・しているが、新聞を読んでいるのは男性の方が多い。
●家族や友人の相談にのっている割合は、年齢が上がるにつれて低下している。
●趣味がある方は全体で６割以上、生きがいがある方は女性の方が 58.1%と高くなっている。

（５）地域での活動について

●全体として不参加が顕著だが、ボランティア、趣味関係、町会・自治会では 75～79 歳の参加率が比較的高い。
●健康づくり活動や趣味などのグループ活動への参加意思は、男女共に半数を超える。

（６）たすけあいについて

●心身の世話をしてもらったり、してあげたりする相手として、全体では配偶者が最も多い。
●家族や友人・知人以外での相談相手はいない方が多く、95～99 歳で顕著。
●１か月に会った友人・知人の数が 10 人以上の方は、65～69 歳が最も多い。
●よく会う友人・知人との関係は、近所・同じ地域の人が最も多く、次いで、趣味や関心が同じ友人となっている。

（７）健康について

●自分の健康状態を主観的に「よい」と思う方は、女性の方がわずかに多く、年齢別では 95～99 歳で６割を超える。
●幸福度を満点と答えた方は女性の方に多く、年齢別では 85～89 歳で最も高い割合となっている。
●１か月間の気分の落ち込みなどについては女性の方が多く、年齢別では 85～89 歳で顕著。また、気分の落ち込みがあった方は、外出が減少傾向にある。
●飲酒と喫煙については男性の方が多く、男女で大きな差がみられる。
●治療中、後遺症のある病気のある方の中で、「高血圧」が最も多い。

（８）認知症にかかる相談窓口の把握について

●認知症に関する窓口の認知について、57.2%が知らないと回答している。

高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査結果報告書】

令和　5　年　10　月

洞爺湖町